

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 第 1 回 教育連携委員会
議事次第

日 時：2024 年 5 月 8 日（水）9:30～10:30

場 所：オンライン会議（ZOOM）

委員校：神戸大学（委員長校）・大手前大学（副委員長校）

大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学
甲南大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学
神戸芸術工科大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学
神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学
兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学

計 21 校

I. 開会

1. 委員長・副委員長挨拶
2. 委員紹介 (資料 1)
3. 大学コンソーシアムひょうご神戸について (資料 2)

II. 協議事項

1. 2024 年度事業計画（詳細）・予算について (資料 3)
2. 単位互換事業における「追加科目」の承認について
3. その他

III. 報告事項

1. 単位互換事業について (資料 4)
2. 多様な学修機会の提供事業（公開講座等の開放）について (資料 5)
3. 大学 e ラーニング協議会（UeLA）共通基盤教育システム試行運用について (資料 6)
4. その他

IV. 意見交換

1. 単位互換・共同開講に関するニーズについて (資料 7)
2. その他

V. 連絡事項

1. 定時総会 日時：6 月 5 日（水）15:00～16:30
2. 2024 年度 教育連携委員会の開催予定・主な議題について
第 2 回（10 月）：2024 年度プラットフォーム型申請に向けた実績と自己評価（案）について
第 3 回（12 月）：2024 年度事業自己評価（案）について
第 4 回（翌 2 月）：2025 年度事業計画・予算（案）
第 5 回（翌 3 月）：2024 年度事業報告・決算（案）

以上

<配布資料>

資料 1-1 : 2024 年度 教育連携委員会 委員名簿

資料 1-2 : 2024 年度 第 1 回教育連携委員会出席者名簿

資料 2-1 : 2024 年度 正会員一覧

資料 2-2 : 2024 年度 賛助会員一覧

資料 2-3 : 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

資料 3 : 教育連携委員会 事業計画 (詳細)・予算 (案)

資料 4-1 : 単位互換事業について

資料 4-2 : 単位互換事業受講者事後アンケート

資料 4-3 : 2024 年度単位互換事業【二次募集】の開放科目選定のご依頼

資料 4-4 : 2025 年度単位互換事業に係るポスター・チラシの制作について

資料 5-1 : 「加盟校が実施する多様な学修機会の提供事業セミナー」情報共有の仕組み

資料 5-2 : コンソ加盟校 公開講座等 情報提供フォーム

資料 6-1 : 共通基盤教育とは

資料 6-2 : 共通基盤教育システム (CIST-Solomon) とは

資料 7 : 2023 単位互換・共同開講に関するニーズ調査 (まとめ)

参考資料 1 : 大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期 (2022～2026)

参考資料 2 : 事業委員会の運営に関する申し合わせ

参考資料 3-1 : 2024 単位互換事業マニュアル (教職員用)

参考資料 3-2 : 2024 単位互換事業マニュアル (学生用)

参考資料 3-3 : 2024 年度単位互換事業マニュアル フローチャート

参考資料 3-4 : 2024 年度科目一覧表

参考資料 3-5 : 2024 年度単位互換開放科目シラバス 入力様式

参考資料 3-6 : 2024 年度単位互換事業・履修申込状況

参考資料 4-1 : 教材共有と共通基盤教育システム

参考資料 4-2 : CIST-Michael_manual (第 2 版)

以上

2024年度大学コンソーシアムひょうご神戸 教育連携委員会 委員

資料1-1

No.	加盟校数	学校名	所属	役職	氏名
1	1	大手前大学	現代社会学部	学部長・教授	谷村 要
2		大手前大学	地域・社会連携室	課長代理	吉田 倫子
3	2	大手前短期大学	現代社会学部	学部長・教授	谷村 要
4		大手前短期大学	地域・社会連携室	課長代理	吉田 倫子
5	3	関西国際大学	教育福祉学科	教務センター長(准教授)	吉田 武大
6		関西国際大学	教務課	副課長	山城 良太
7	4	関西福祉大学	教育学部	学部長	新川 靖
8		関西福祉大学	教務課	課長	山本 仁
9	5	関西学院大学	教務機構	機構長補佐 国際学部教授	児島 幸治
10		関西学院大学	教務機構事務局		岡本 純子
11	6	関西学院短期大学	教務機構	機構長補佐 国際学部教授	児島 幸治
12		関西学院短期大学	教務機構事務局		岡本 純子
13	7	甲南大学	教務部	部長	小出 武
14		甲南大学	教務部	次長	石野 牧生
15	8	神戸大学	学務部学務課	課長	小西 明美
16		神戸大学	学務部学務課	専門職員	安福 智行
17	9	神戸医療未来大学	教務部	部長	杉野 竜美
18		神戸医療未来大学	教務課	課長	後藤 宣幸
19	10	神戸海星女子学院大学	神戸海星女子学院大学	副学長	尾崎 秀夫
20		神戸海星女子学院大学	教学課	課長	細野 紀子
21	11	神戸学院大学	教務センター	所長	林坂 弘一郎
22		神戸学院大学	教務センター	事務部長	松尾 賢志
23	12	神戸芸術工科大学	芸術工学教育センター	芸術工学教育センター長	大内 克哉
24		神戸芸術工科大学	教務課	チーフ	田中 佐登子
25	13	神戸市看護大学	看護学部	教授	船越 明子
26	14	神戸松蔭女子学院大学	教務課	学長補佐(教務担当)	竹中 康之
27		神戸松蔭女子学院大学	教務課	次長	前原 克敏
28	15	神戸親和大学	学生サービスセンター	教務担当部長	高橋 一夫
29		神戸親和大学	学生サービスセンター事務局	教務担当課長	毛利 豪志
30	16	神戸常盤大学	口腔保健学科	教授	福田 昌代
31		神戸常盤大学	教務課	課長	猿渡 康博
32	17	園田学園女子大学	教学支援部	部長	雑喉 隆宏
33		園田学園女子大学	教学支援部	課長	田村 和也
34	18	園田学園女子大学短期大学部	教学支援部	部長	雑喉 隆宏
35		園田学園女子大学短期大学部	教学支援部	課長	田村 和也
36	19	兵庫大学	教学部教務課	課長代行	柳井 敏男
37	20	兵庫大学短期大学部	教学部教務課	課長代行	柳井 敏男
38	21	兵庫県立大学	高等教育推進機構高等教養教育部	副部長	小宮 一高
39		兵庫県立大学	教育企画部大学教育改革室教育改革課	課長	松崎 総太郎

大学コンソーシアムひょうご神戸 第1回 教育連携委員会 出席者名簿 (2024.05.8) 資料1-2

学校	No	入力者名	所属部署	役職名	出席者名
1	1	神戸大学(委員長校)	学務部学務課	課長	小西 明美
	2		学務部学務課	専門職員	安福 智行
	3		学務部学務課教育推進グループ	主任	東山 紘子
2	4	大手前大学(副委員長校)	現代社会学部	学部長・教授	谷村 要
	5		地域・社会連携室	課長代理	吉田 倫子
3	-	大手前短期大学	現代社会学部	学部長・教授	谷村 要
	-	大手前短期大学	地域・社会連携室	課長代理	吉田 倫子
4	6	関西国際大学	教育福祉学科	教務センター長(准教授)	吉田 武大
	7	関西国際大学	教務課	副課長	山城 良太
5	8	関西学院大学	教務機構事務局		岡本 純子
6	-	関西学院短期大学	教務機構事務局		岡本 純子
7	9	甲南大学	教務部	次長	石野 牧生
8	10	神戸医療未来大学	教務部	部長	杉野 竜美
	11	神戸医療未来大学	教務課	課長	後藤 宣幸
9	12	神戸学院大学	教務センター	所長	林坂 弘一郎
10	13	神戸市看護大学	教務学生課	職員	佐藤 幸市
11	14	神戸常盤大学	口腔保健学科	教授	福田 昌代
12	15	兵庫大学	教学部教務課	課長代行	柳井 敏男
13	-	兵庫大学短期大学部	教学部教務課	課長代行	柳井 敏男
14	16	兵庫県立大学	高等教育推進機構高等教養教育部	副部長	小宮 一高
	17	兵庫県立大学	教育企画部大学教育改革室教育改革課	課長	松崎 総太郎

2024年度 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 正会員一覧
 ◆正会員数 36校(29大学、6短期大学・短期大学部、1高等専門学校)

資料2-1

(敬称略)

NO・BS・E9	法人名	大学・学校名	学長・校長	備考
1	独立行政法人国立高等専門学校機構	1 明石工業高等専門学校	土居 信数	
2	芦屋学園	2 芦屋大学	窪田 幸子	
3	大手前学園	3 大手前大学	平野 光俊	
		4 大手前短期大学	福井 洋子	
4	濱名山手学院	5 関西国際大学	濱名 篤	
5	関西金光学園	6 関西福祉大学	加藤 明	
6	関西学院	7 関西学院大学	森 康俊	
		8 関西学院短期大学	碓氷 ゆかり	2024年度新任
7	甲南学園	9 甲南大学	中井 伊都子	
8	甲南女子学園	10 甲南女子大学	秋元 典子	
9	国立大学法人神戸大学	11 神戸大学	藤澤 正人	
10	都築学園	12 神戸医療未来大学	鎌田 積	
11	海星女子学院	13 神戸海星女子学院大学	石原 敬子	
12	神戸学院	14 神戸学院大学	中村 恵	
13	谷岡学園	15 神戸芸術工科大学	松村 秀一	2024年度新任
14	八代学院	16 神戸国際大学	下田 繁則	2024年度新任
15	神戸市公立大学法人神戸市外国語大学	17 神戸市外国語大学	田中 悟	
16	公立大学法人神戸市看護大学	18 神戸市看護大学	江川 幸二	
17	松蔭女子学院	19 神戸松蔭女子学院大学	徳山 孝子	2024年度新任
18	神戸女学院	20 神戸女学院大学	中野 敬一	
19	行吉学園	21 神戸女子大学	栗原 伸公	
		22 神戸女子短期大学	栗原 伸公	
20	親和学園	23 神戸親和大学	松田 恵示	2024年度新任
21	玉田学園	24 神戸常盤大学	濱田 道夫	
22	神戸薬科大学	25 神戸薬科大学	北川 裕之	
23	頌栄保育学院	26 頌栄短期大学	関田 良	
24	園田学園	27 園田学園女子大学	大江 篤	
		28 園田学園女子大学短期大学部	大江 篤	
25	平成医療学園	29 宝塚医療大学	岸野 雅方	
26	弘徳学園	30 姫路大学	郷間 英世	2024年度新任
27	睦学園	31 兵庫大学	河野 真	
		32 兵庫大学短期大学部	河野 真	
28	国立大学法人兵庫教育大学	33 兵庫教育大学	加治佐 哲也	
29	兵庫県公立大学法人	34 兵庫県立大学	高坂 誠	
		35 芸術文化観光専門職大学	平田 オリザ	
30	中内学園	36 流通科学大学	清水 信年	2024年度新任

◆賛助会員数 45社

	会員名	業種	入会年度	コンソとの連携事業			
				国際交流	学生交流	キャリア	企画運営
1	株式会社 あみだ池大黒	食料品（菓子製造販売）	2022年度		○	○	
2	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社	海外留学プログラムの販売促進	2023年度			○	
3	株式会社ECC	教育関連	2018年度			○	
4	株式会社池田泉州銀行	普通銀行業務	2018年度			○	
5	エム・シーシー食品株式会社	調理食品専門メーカー	2022年度	○		○	
6	株式会社オークハウス	不動産業	2024年度				
7	大阪中小企業投資育成株式会社	投資育成業	2023年度			○	
8	株式会社学生情報センター	不動産	2007年度			○	
9	株式会社グローパルトラストネットワークス	金融・保険・不動産業	2023年度			○	
10	神戸商工会議所	経済団体	2018年度			○	○
11	神戸トヨペット株式会社	自動車販売	2018年度			○	
12	是川ホンダ販売株式会社	自動車販売、点検、整備、保険等	2024年度				
13	株式会社サンエース	商社・住宅（リフォーム）	2022年度			○	
14	株式会社JTB 神戸支店	旅行業	2018年度	○		○	○
15	株式会社シマブンコーポレーション	鉄鋼卸売	2022年度			○	
16	株式会社シュゼット・ホールディングス	製造業（菓子・パン類）	2023年度			○	
17	新明和工業株式会社	メーカー	2023年度			○	
18	医療法人社団星晶会	医療福祉	2022年度			○	○
19	センコー株式会社 阪神主管支店	物流	2022年度			○	
20	総合警備保障株式会社	サービス業（警備）	2023年度			○	
21	株式会社TAT	商社	2016年度			○	○
22	東洋証券株式会社	証券業	2021年度				
23	ナガセケムテックス株式会社	化学メーカー	2022年度		○		
24	株式会社日本ツアーサービス	旅行業	2021年度				
25	日本通運株式会社 大阪支店	陸運業・物流業・倉庫業他	2023年度			○	○
26	日本テクノロジーソリューション株式会社	テクノロジー事業・他	2016年度			○	○
27	株式会社日本ビジネスデータープロセッシングセンター	ITソリューション事業・他	2020年度			○	○
28	株式会社ノーリツ	ガス・石油機器製造	2022年度			○	
29	株式会社ノザワ	製造業（窯業）	2024年度				
30	白鶴酒造株式会社	清酒製造業	2022年度			○	
31	株式会社パソナグループ	総合人材サービス・他	2022年度			○	
32	バンドー化学株式会社	製造業	2019年度			○	○
33	兵庫県経営者協会	経済団体	2020年度			○	
34	富士通Japan株式会社	情報・通信業	2007年度				
35	株式会社ブレックス	運輸業	2018年度			○	
36	丸善雄松堂株式会社	小売業	2007年度			○	○
37	株式会社マルヤナギ小倉屋	食品	2023年度		○		○
38	株式会社みなと銀行	銀行業	2016年度			○	○
39	株式会社山上	商社	2023年度			○	
40	株式会社ヤマシタワークス	製造業	2023年度			○	
41	株式会社立成社	スポーツ・教育	2022年度		○		
42	株式会社レック	冠婚葬祭	2016年度			○	
43	株式会社ロジックアンドサプライズ	外国人材採用支援業・他	2013年度				○
44	株式会社ロック・フィールド	食料	2016年度			○	
45	和田興産株式会社	不動産業	2017年度			○	○

設立

2006年6月12日（2016年4月1日 一般社団法人を設立）

正会員

36校（29大学、6短期大学・短期大学部、1高等専門学校）

特別会員

1団体（独立行政法人 日本学生支援機構）

賛助会員

45社

学生数

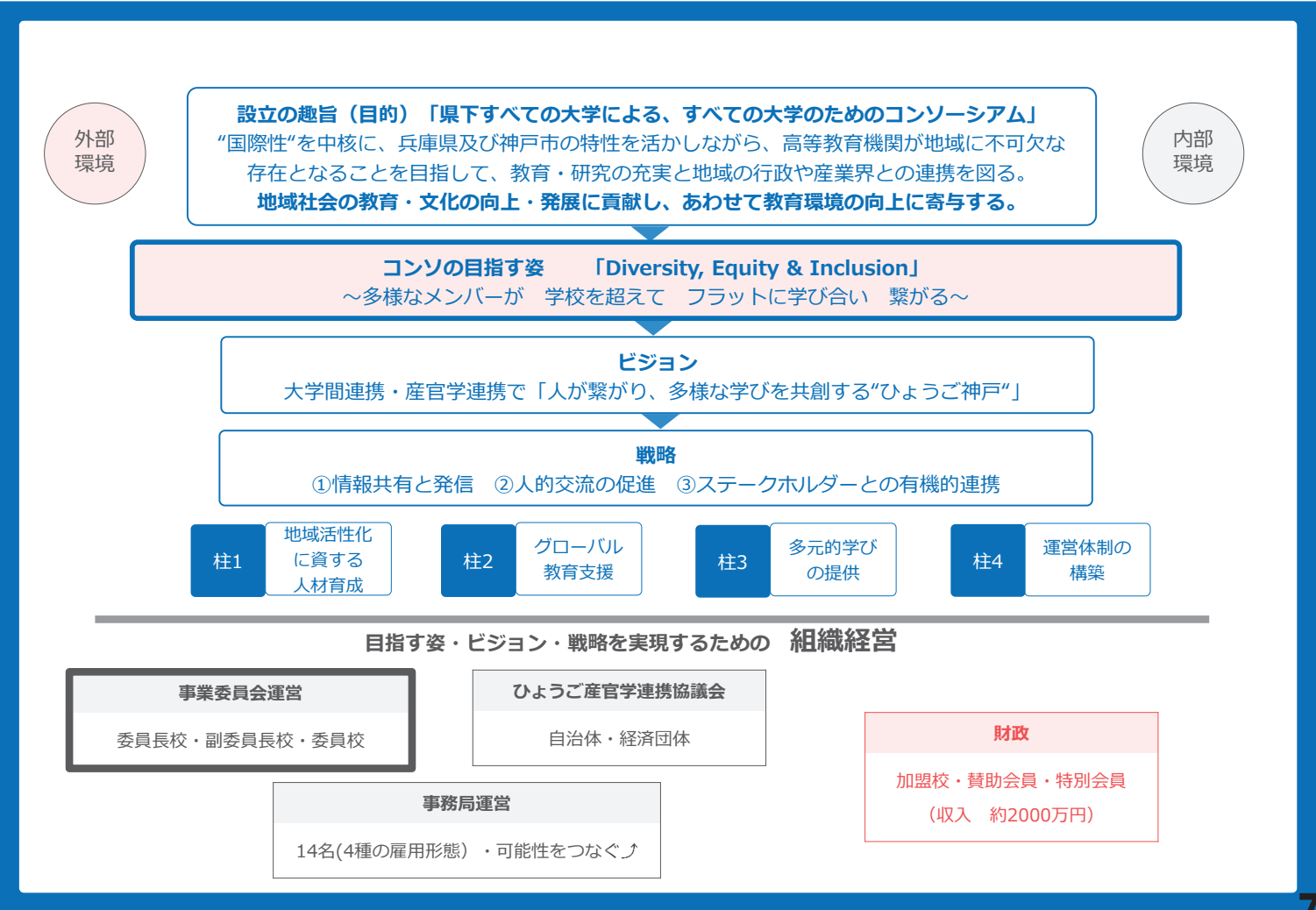
約11万人

趣旨

国際性を中核に、兵庫県の特性をいかし、教育水準の向上と地域振興に貢献

事業

国際交流、学生交流、教育連携、キャリア
高大連携、FD・SD事業を中心に、
大学間連携、産官学連携を展開



一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画第Ⅱ期 基本方針・概要図

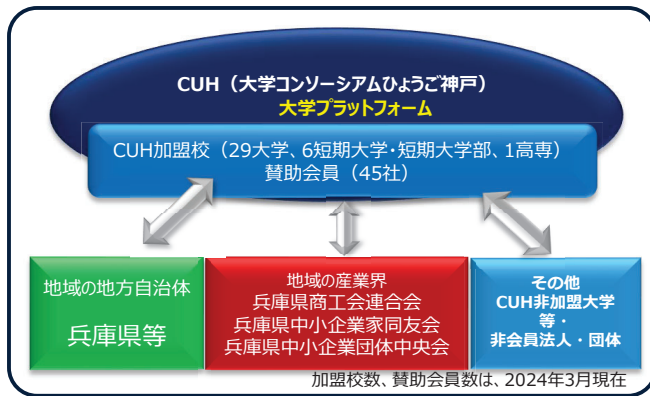
【基本方針】

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期（2017年4月1日～2022年3月31日）における取組内容とその成果を発展的に継承して、中長期計画Ⅱ期（2022年4月1日～2027年3月31日）を策定する。
さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多様な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多様な教育活動に寄与する計画とする。

【ビジョン・目標】 大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

- ・自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発する。
- ・人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する取組を通じて、地域と大学の魅力を県内外に発信する。
- ・大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる活動を展開する。

プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



【取り組みの概要】

- 1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携**
 - ① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上
(加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携)
 - ② 県内大学と高校間の連携による円滑な高大接続
 - ③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
- 2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援**
 - ④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
 - ⑤ 外国人留学生と日本人学生等の交流促進
- 3. 県内大学の教育・研究の質を高める多面的学びの提供**
 - ⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
 - ⑦ 大学間連携による多様な教育コースへの対応
 - ⑧ 県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進
- 4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築**
 - ⑨ 大学資源を活用する地域プラットフォームの形成
 - ⑩ 県内大学が活性化する事業運営体制の整備

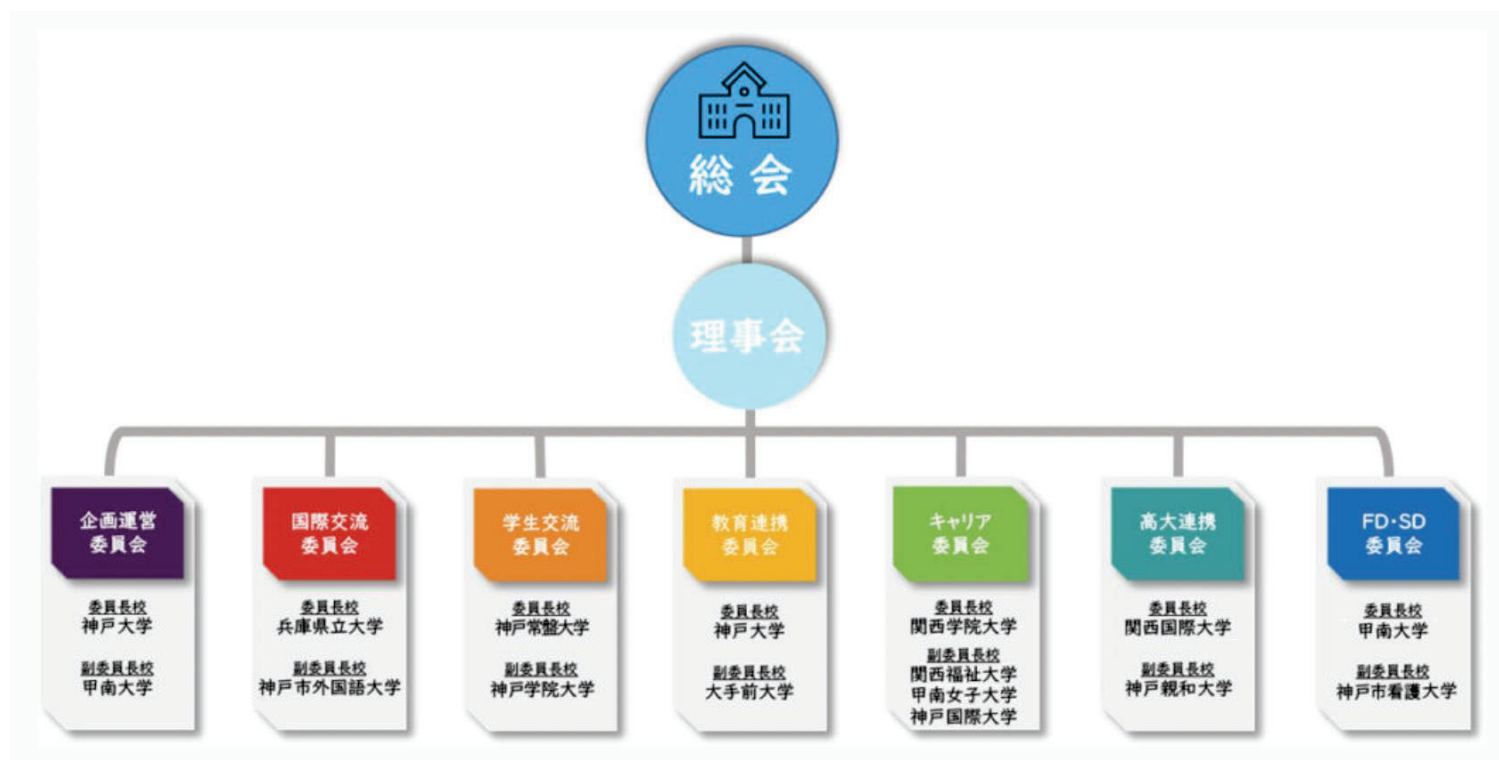
参考：大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページ <http://www.consortium-hyogo.jp/sankangaku/index.html>

© Presentation Design

中長期計画Ⅱ期（2022年度～2026年度）の柱と課題 ＜2024年度＞

「4つの柱」に基づいて、「10課題・20取組」を7委員会(国際交流、学生交流、教育連携、高大連携、キャリア、FD・SD、企画運営)において実施

柱	課題	取組	委員会
1 地域活性化に資する 人材育成のための連携	1 地域の活性化のため 県内企業への就職率の向上	取組1-1 「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プログラム	キャリア
		取組1-2 「尼崎市」大学生等向け職場体験事業	キャリア
		取組1-3 県内企業・団体等の魅力を情報発信	キャリア
	2 県内大学と高等学校間の 連携による円滑な高大接続	取組1 大学と高等学校の意見交換会の実施「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」	高大連携
		取組2 加盟校の魅力を情報発信	高大連携
	3 大学の枠を超えた学生間の 交流・活動促進	取組1 テーマ型の学生交流プロジェクト「WILL BEプロジェクト」	学生交流
2 “ひょうご神戸”の 国際性を生かした グローバル教育支援	4 外国人留学生の受け入れ体制 の強化・定着促進	取組1-1 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	キャリア
		取組1-2 「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業	キャリア
	5 外国人留学生と日本人学生等 の交流促進	取組1 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	国際交流
		取組2 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業	国際交流
	6 大学教職員の研修機会の提供 と交流の促進	取組1 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	FD・SD
		取組2 FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	FD・SD
3 県内大学の 教育・研究の質を 高める 多面的学びの提供	7 大学間連携による多様な 教育コースへの対応	取組1 単位互換事業	教育連携
		取組2 多様な学修機会の提供	教育連携
	8 県内大学を活用した 社会人の学びなおしの推進	取組1 リカレント教育の普及促進に向けた取組	企画運営
		取組2 加盟校のリカレント教育に関する情報発信	企画運営
	9 大学資源を活用する 地域プラットフォームの形成	取組1 大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築	企画運営
		取組2 緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	企画運営
4 県内大学が活性化 する 大学間連携組織 としての 運営体制の構築	10 県内大学が活性化する 事業運営体制の整備	取組1 加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	企画運営



加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

* 事業委員会の運営に関する申し合わせから抜粋

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

(1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。

(2) **国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。**

(3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。

(4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選択制】

① 選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。

② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・ 輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

2023年～2025年の事業委員会 委員長校・副委員長校

中長期計画		I 期	II 期				III 期	
役員改選期		第3期	第4期		第5期		第6期	
事業委員会体制(案)		2年間	1年間	3年間(1年間+2年間)			2年間	
		2020・2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
国際交流委員会	委員長校	神戸大学	兵庫県立大学	兵庫県立大学				
	副委員長校	神戸市外国語大学・神戸常盤大学	神戸市外国語大学	神戸市外国語大学				
学生交流委員会	委員長校	神戸親和女子大学	神戸常盤大学	神戸常盤大学				
	副委員長校	甲南大学	神戸親和女子大学	神戸学院大学★				
教育連携委員会	委員長校	兵庫県立大学	神戸大学	神戸大学				
	副委員長校	大手前大学・兵庫医療大学	大手前大学	大手前大学				
高大連携委員会	委員長校	関西国際大学		関西国際大学				
	副委員長校	神戸松蔭女子学院大学	甲南大学・神戸松蔭女子学院大学	神戸親和大学★				
キャリア委員会	委員長校	関西学院大学		関西学院大学			神戸学院大学★	
	副委員長校	関西福祉・甲南女子大学・神戸国際大学		関西福祉大学・甲南女子大学・神戸国際大学				
FDSD委員会	委員長校	神戸学院大学		甲南大学★			神戸親和大学★	
	副委員長校	兵庫大学・神戸薬科大学		神戸市看護大学★				

★変更大学

キャリア委員会、FD・SD委員会の輪番制について

任期	キャリア委員会	FD・SD委員会
第6期（2026-27）	神戸学院大学	神戸親和大学
第7期（2028-29）	甲南大学	関西学院大学
第8期（2030-31）	関西国際大学	神戸学院大学
第9期（2032-33）	神戸常盤大学	神戸市外国語大学
第10期（2034-35）	神戸市外国語大学	神戸常盤大学
第11期（2036-37）	兵庫県立大学	神戸市看護大学
第12期（2038-39）	神戸市看護大学	神戸大学
第13期（2040-41）	神戸大学	関西国際大学
第14期（2042-43）	神戸親和大学	兵庫県立大学

備考：第15期以降は、状況の変化も想定されるため、第14期の理事校で決定する。

委員長校	神戸大学
副委員長校	大手前大学
委員校 (全:22校)	大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸医療未来大学 神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学 神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、兵庫大学、兵庫大学短期大学部 兵庫県立大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
取組1	単位互換事業の実施
達成目標	各年開放科目数10科目以上
活動指標	送り出し校数・5校/年
取組2	多様な学修機会の提供
達成目標	各年プログラム数5件以上
活動指標	参加者数50名以上/年

目的
加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。 さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

課題⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		
予算額	取組1	単位互換事業
	取組2	多様な学修機会の提供事業
		520,000円
		80,000円

期待される効果
1. 単位互換事業の実施 (1)「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。 (2)コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。 2. 多様な学修機会の提供 (1)加盟校の教育資源を活用する「多元的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。 (2)異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。

【2024年度 教育連携委員会 事業計画(⑦取組1)】

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		
達成目標	各年開放科目数10科目以上		
課題を解決する 取組概要	単位互換事業の実施		
活動指標	送り出し校数・5校/年		
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)	
加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に距離的・時間的制約により履修が困難とされてきた授業について、可能な範囲で教育のICT化の工夫を取り入れる。 1. 2024年度単位互換事業 兵庫県地域特性や各大学の特徴を生かした特色的な科目やフィールドワーク等の実践的な科目など80科目以上を開放科目として実施する。 2. 単位互換包括協定締結大学の拡大 協定未締結大学に対して、継続的に協定締結に向けた依頼を行う。 3. 単位互換事業の広報活動について HP、ポスター等を活用して単位互換事業の広報活動を継続的に行う。 4. 単位互換・共同開講の検討について 2023年度に実施したニーズ調査をもとに、複数校で単位互換制度を活用して、科目を「共同開講」することについて継続して検討する。			
達成目標に対する実績			
活動指標に対する実績			
自己評価基準: 対到達目標 ※		—	
自己評価基準: 対継続性 ※		—	

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
520,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※	自己評価基準: 対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
---	--	---	--------------	--

【2024年度 教育連携委員会 事業計画(⑦取組2)】

課題③	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		
達成目標	各年プログラム数5件以上		
課題を解決する 取組概要	多様な学修機会の提供		
活動指標	参加者数50人以上/年		
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)	
加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供するするとともに、「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を広く加盟校に運用していただきながら、ICTを活用したコンテンツ制作の支援活動を行う。 1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 2024年度においても加盟校の公開講座やセミナー等の多様な学修機会を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放することとする。 2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、ICTを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながる活動を引き続き行う。			
達成目標に対する実績			
活動指標に対する実績			
自己評価基準:対到達目標 ※			—
自己評価基準:対継続性 ※			—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
80,000円				
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
(企画運営委員会で原案作成、理事会承認を経て事務局にて記載、各事業委員会にフィードバック)				

※ 自己評価基準:対到達目標

※
自己評価基準・対継続性

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

【2024年度 教育連携委員会 事業予算】

(単位:円)

		予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
			取組1		取組2			
			単位互換事業		多様な学修機会の提供事業			
			内訳	予算額	内訳	予算額	内訳	予算額
収入	会費収入	700,000		520,000		80,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	700,000	520,000		80,000		100,000	
支出	会議費	10,000					検討委員会開催費	10,000
	旅費交通費	10,000					旅費交通費	10,000
	通信運搬費	33,000					郵送代	33,000
	消耗品費	0						
	新聞図書費	0						
	印刷製本費	140,000	ポスター・チラシ制作費	140,000				
	光熱水料費	0						
	賃借料	0						
	保険料	0						
	謝金	130,000	ポスター・チラシデザイン謝金	80,000	講師等謝金	50,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	4,000					振込手数料	4,000
	諸会費	30,000			eラーニング協議会会費	30,000		
	委託費	333,000	単位互換HP更新費	300,000			各プログラムHPに係る予備費	33,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
	雑費	10,000					委員長校・副委員長校連絡調整等	10,000
	計	700,000	520,000		80,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---

大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業について

1 開放科目と履修登録の現状について

2024 年度募集では、2023 年度に引き続き、集中科目（国内合宿型、集中型実技、実習等特別プログラムなど）に加え、地域性や特色ある科目で実施。

開放科目数と履修者数の推移

年度	開放科目数		履修者数		備考
2010	5 校	19 科目	2 校	2 名	試行
2011	12 校	85 科目	5 校	17 名	本格実施
2012	19 校	96 科目	4 校	22 名	夏期集中講義プログラムの提供開始
2013	19 校	115 科目	8 校	23 名	単位互換協定の締結大学と開放科目の拡大
2014	19 校	118 科目	8 校	31 名	加盟校の約 2/3 が単位互換「科目開放覚書」締結 加盟校からの特徴ある科目（集中講座等）提供開始
2015	6 校	14 科目	6 校	18 名	通期科目の単位互換を取り止め、集中講義に特化
2016	5 校	13 科目	7 校	14 名	学生への周知拡大のため、学生が広報ポスターをデザイン （神戸芸術工科大学に依頼）
2017	13 校	32 科目	4 校	11 名	集中講義に限定せず、特色のある科目に広げて科目開放
2018	11 校	31 科目	4 校	13 名	e-learning 活用検討部会を設けて勉強会
2019	14 校	45 科目	6 校	16 名	大学 e ラーニング協議会（UeLa）との連携（共通基盤教育の案内）
2020	15 校	41 科目	3 校	8 名	新型コロナウイルス拡大防止のため、前期科目開放は中止。 後期 1 科目実施。協定書の見直し
2021	11 校	43 科目	8 校	29 名	コロナ禍での単位互換、29 人中 20 人が非対面。 （オンライン 17 人、オンデマンド 3 人）
2022	15 校	85 科目	8 校	42 名	（対面 31 人、オンデマンド 11 人）
2023	17 校	82 科目	6 校	16 名	（対面 10 人、オンデマンド 3 名、オンライン 2 名、ブレンド 1 名）
2024	18 校	127 科目	9 校	47 名	4 月 30 日現在

2 2024 年度単位互換事業について

(1) 2024 年度「科目開放校」と「科目開放数」について

【1 次募集】 12 校 28 開放科目について、10 校 53 名の履修申込みがあった。
その内、12 校 23 開放科目において、9 校 47 名が履修可となった

(2) 2024 年度「履修者」について

1次募集	科目	申込者(のべ人数)	学生内訳
履修申込	12 校 28 科目	10 校 53 名※	資料 4-2 参照
履修可	12 校 23 科目（表1・2）	9 校 47 名※(表3)	（表4）
履修不可	3 校 6 科目	3 校 6 名※	科目開放校判断(3 名) 科目重複のため取消(1 名) 期間外の申込み(2 名)

※科目毎の履修申込者の総数(のべ人数)

※履修可となった授業形態は、対面 40 人、オンデマンド 7 名(計 47 名) である

表1

申込者のあった「2024 年度 単位互換開放科目一覧」(履修可)			
	大学名	開放科目(重複削除済)	人数
1	大手前大学	企業会計入門	1
2	大手前大学	イメージと物語	1
3	大手前大学	国際社会を知る	1
4	関西国際大学	日本文化論(Introduction to Japanese Culture)	1
5	関西学院大学	AI活用入門 1	3
6	甲南大学	入門マネジメント(前)	1
7	甲南大学	地域政策	1
8	甲南大学	生命化学(後)	1
9	甲南大学	情報英語 (後)	1
10	神戸大学	農場と食卓をつなぐフィールド演習	3
11	神戸大学	データサイエンス基礎学	1
12	神戸学院大学	上級中国語ⅡC(Advanced Chinese ⅡC)	1
13	神戸芸術工科大学	環境デザイン概論	2
14	神戸芸術工科大学	アニメーション作品表現論	3
15	神戸芸術工科大学	ファッションマーチャンダイジング	1
16	神戸芸術工科大学	西洋美術史②	1
17	神戸市外国語大学	医療通訳・コーディネーター入門	18
18	神戸市外国語大学	英米文学・文化研究入門	1
19	神戸親和大学	自然環境と心理	1
20	神戸親和大学	異文化コミュニケーション論	1
21	兵庫県立大学	防災実践講座	1
22	兵庫県立大学	減災復興政策概論	1
23	流通科学大学	投資戦略論	1
	計		47

表2

学校別・履修申込受付(科目数)		
	学校名	科目数
1	大手前大学	3
2	関西国際大学	1
3	関西学院大学	1
4	甲南大学	4
5	神戸大学	2
6	神戸学院大学	1
7	神戸芸術工科大学	4
8	神戸市外国語大学	2
9	神戸親和大学	2
10	兵庫県立大学	2
11	流通科学大学	1
	計	23

表3

学校別・履修申込者数(送り出し)		
	学校名	人数
1	関西学院大学	1
2	神戸学院大学	1
3	神戸芸術工科大学	4
4	神戸市外国語大学	16
5	神戸市看護大	17
6	神戸松蔭女子学院大学	3
7	姫路大学	1
8	兵庫県立大学	3
9	流通科学大学	1
	計	47

表4

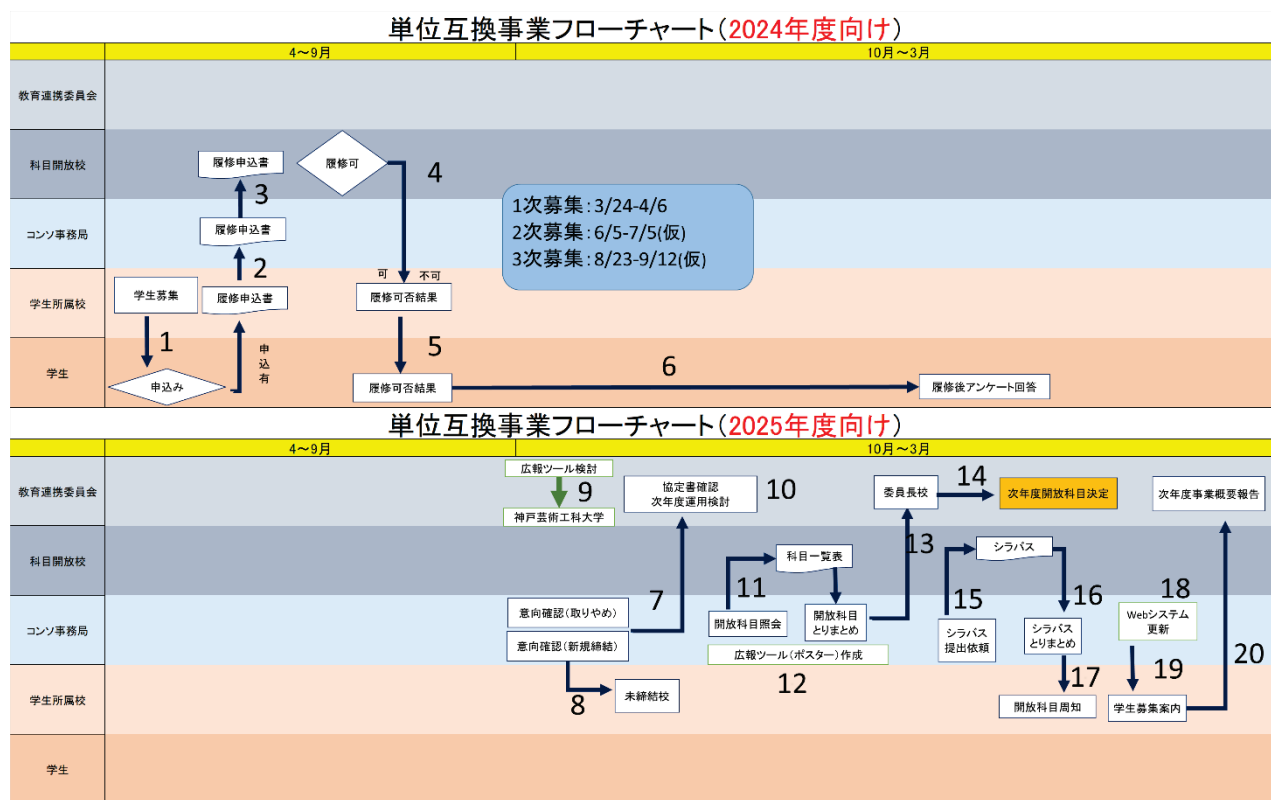
※履修申込者数(実数)		
	学校名	人数
1	関西学院大学	1
2	神戸学院大学	1
3	神戸芸術工科大学	4
4	神戸市外国語大学	10
5	神戸市看護大	17
6	神戸松蔭女子学院大学	3
7	姫路大学	1
8	兵庫県立大学	3
9	流通科学大学	1
	計	41

3 2024 年度からの主な運用変更点について

- (1)対象学生を「1年生の夏季休業」から「単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生」に変更し、履修できる対象学生を拡大した。
- (2)科目開放校の履修登録期限後に、学生所属校から履修申込希望があった場合は個別での相談対応が行えるようにした。
- (3)昨年度に引き続き、チラシの必要枚数を Web アンケートにて集約し、必要枚数を郵送した。
「学内情報サービス」のみで通知する学校もあり、2023 年度 6,500 枚の印刷に対し、2024 年度は 4,000 枚の印刷となった。
- (4) 開放科目数の増加に伴い、チラシ裏面における科目一覧の掲載項目やデザインを変更した。

4 今後の予定（案）

- (1) 単位互換協定締結校への 2 次募集の科目照会：5 月中、学生募集（6 月 5 日～7 月 5 日）、
3 次募集の科目照会：8 月中、学生募集（8 月 23 日～9 月 12 日）
- (2)単位互換包括協定締結大学、科目開放の覚書締結大学の拡大
2024 年 5 月現在、昨年度より 2 校減少（姫路獨協大学・神戸常盤大学短期大学部）し、
32 校が包括協定締結。未締結大学等へ依頼文書を送付する。
- (3)ポスター作成（資料 4-4「2025 年度大学コンソーシアムひょうご神戸単位互換事業に係る
ポスター・チラシの制作について」参照）
- (4)単位互換手続き、マニュアルの運用について（検討事項）
 - ① 2 次募集、3 次募集に係る「追加科目」に対する承認手続きの変更について
 - ② 履修申込の証明写真・学生証添付漏れが発生しているため、マニュアルの記載事項ならびに
履修申込書(記入例)の作成等を検討する。
 - ③ 募集期間が短い大学に対して締切後の問い合わせ・申し込みがあったため、周知方法を検討する。
- (5)その他



5 2023 年度の受講者アンケート抜粋(回答者計 9 名、カッコ内の数字は回答者数)

Q 受講のきっかけとなった媒体等は何でしょうか。(複数回答可)

大学のガイダンス(7)、単位互換事業のポスター(2)、コンソ HP(1)

Q 受講した理由は何でしょうか。(複数回答可)

所属大学にない内容の授業 (8)、所属大学で受けた学びを深めるため(1)

Q 単位互換事業について、利用してよかったですか。

とてもよかった(6)、よかった(3)

- ・所属している学部では学べないが興味のある分野について学ぶことができた。
また、他校の学生との交流の機会にもなった。
- ・自分の大学では受けられなかった文学系の科目を受けることができた。
- ・授業内容が（自分が専門的に）学んでいる分野と関連している内容が多かったので勉強になった。

Q 授業は理解できましたか。

十分理解できた(7)、理解できた(2)

- ・講義で学んだことを実際に自分や他の人が行くと、どのような効果が得られるかを経験することができて、内容が理解しやすくなった
- ・定期的に関連する映像（動画）も見せていただき、より理解しやすかった。
- ・先生方が説明や解説を丁寧に行ってください、常によく理解できた。

Q 今後の単位互換事業に期待することは

- ・もっとこの制度を知ってもらい、より様々な学校の生徒が参加してもらうこと
- ・もう少し専門的な領域に踏み込んだ科目もあれば良いなと思った。
- ・もう少し様々な科目があったらいいなと思います。

以上

大学コンソーシアムひょうこ神戸 単位互換事業 受講者事後アンケート

単位互換事業に関する受講者事後アンケートの回答はこちらからお送りください。

あなたの所属校 必須	大学名 学部名 学科・コース名 年次
氏名 必須	
メールアドレス 必須	
受講した授業について 必須	学校名 授業名
Q1_単位互換事業について、利用してよかったですか。 必須	☐ 1_とてもよかった ☐ 2_よかった ☐ 3_どちらともいえない ☐ 4_あまりよくなかった ☐ 5_よくなかった 上記の選択肢を選んだ理由とどのような学びがあったかをお書きください。
Q2_受講した理由は何でしょうか。(複数回答可) 必須	☐ 1_所属大学にない授業 ☐ 2_所属大学で受けた学びを深めたい ☐ 3_所属大学にはあるが受講できない ☐ 4_その他 その他を選んだ方は理由を記入してください。

Q3_授業は理解できましたか 必須	☐ 1_十分理解できた ☐ 2_理解できた ☐ 3_どちらともいえない ☐ 4_あまり理解できなかった ☐ 5_理解できなかった 上記選択肢を選んだ理由を記入して下さい。
Q4_受講のきっかけとなった媒体等は何でしょうか（複数回答可） 必須	☐ 1_大学のガイダンス・案内 ☐ 2_単位互換事業のポスター・チラシ ☐ 3_大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページ ☐ 4_友人・知人に勧められて ☐ 5_教員に勧められて ☐ 6_その他（ 具体的に ）
Q5_今後、単位互換事業に期待することをご記載下さい。次年度の運用に参考にします。 必須	例）オンライン授業の併用、科目数増加など
Q6_その他、ご意見、感想等がありましたらご記入ください	
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。	

内容確認画面へ

2024 年 5 月 吉日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
単位互換事業 事務ご担当各位

大学コンソーシアムひょうご神戸事務局

2024 年度 単位互換事業【二次募集】の開放科目選定のご依頼

平素より、教育連携委員会が実施する単位互換事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。二次募集の開放科目についてご回答の程宜しくお願い申し上げます。

1. 二次募集（追加）の有無について

一次募集で科目提供いただいた大学・短期大学は募集の継続有無をご回答ください。集中科目・後期開講科目が対象です。

2. 新たな「単位互換事業科目」提供について

新たな開放科目の提供有無をご回答ください。提供がある場合は、シラバスと科目一覧表をご提出してください。

3. 回答方法：下記フォームズよりご回答ください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S32801412/>

4. 回答期限：2024 年 5 月 24 日（金）

※上記日程が厳しい場合は個別相談とさせていただきます

5. 学生への二次募集期間（予定）：6/5（水）～7/5（金）

6. 補足事項

- (1) 開放科目の選定にあたっては、集中開講（国内合宿型、集中型実技・実習等特別プログラム）、兵庫県内の地域特性や各校の特色のある通常開講科目といった、より多くの学生が興味を持ち、履修しやすい科目を中心にご検討いただきますよう、お願いします。
- (2) 開講科目は、各校で取りまとめの上、ご提出をお願いします。
- (3) 学生へ開放科目を案内する際、分野ごとにまとめて広報させていただきます。科目分野欄を設定しておりますので、選択肢よりお選び下さい。なお、いずれにも該当しない場合には「その他」を選択の上、備考欄に分野案を記載してください。

(4) 必ずしも各校一律ではなく、科目ごとに異なる期間設定をして頂くことも可能です。

登録期間を最大限に設定して頂くことにより、余裕をもって学生へ案内を行うことができます。

(5) 夏期休業以降の集中科目・後期開講科目の受け入れ可能な科目については三次募集も行います。

学生への三次募集は 8/24-9/12 を予定しております。

【添付資料】

【資料 1】 2024 年度科目一覧表

【資料 2】 【大学・短期大学名】 2024 シラバス様式

【資料 3】 【大学・短期大学名】 2024 年度科目一覧表

【問い合わせ先】 大学コンソーシアムひょうご神戸 事務局（担当：谷本、中水）

E-mail : info@consortium-hyogo.jp

以上、よろしくお願い申し上げます。

(案)

2024 年 5 月 8 日

神戸芸術工科大学
学長 松村 秀一 様

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
教育連携委員会委員長 小西 明美

2025 年度大学コンソーシアムひょうご神戸単位互換事業に係る
ポスター・チラシの制作について（依頼）

平素は、教育連携委員会の運営にご協力を頂き、感謝申し上げます。

さて、大学コンソーシアムひょうご神戸では、会員校の学生に幅広い科目の履修や学びの機会を提供することを目的に、2010 年度から単位互換事業を実施しております。

本事業では、できる限り多くの学生が参加できるよう、P R ポスターとチラシを関係校に配布しており、2025 年度用のポスター・チラシを制作することとしておりますが、学生の興味を引くためには、学生目線での制作が重要であると考えております。

つきましては、ポスター・チラシ印刷用原稿の制作について、下記のとおり、芸術工学を専攻する貴校の学生にお願いしたいと考えておりますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 依頼内容

2025 年度単位互換事業 P R ポスター及びチラシ印刷原稿の制作
(ポスターサイズ B2、チラシサイズ A4 両面、ポスター・チラシともフルカラー印刷)

2 制作スケジュール (案)

2024 年 12 月 20 日 (金) ポスター・チラシ (表面) 初稿提出 (貴校→コンソ事務局)
2025 年 1 月 24 日 (金) 2024 年度開放科目データ提出
～2 月 4 日 (火) (コンソ事務局→貴校)
2025 年 2 月 11 日 (火) 校了前データ (裏面) 提出 (貴校→コンソ事務局)
～2 月 28 日 (金)
2025 年 3 月 3 日 (月) 校了 (貴校→コンソ事務局)
※上記スケジュールは、双方協議の上変更することがございます。

3 謝金

あり

【担当窓口】

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中水かおる/谷本啓吾
TEL : 078-271-0233 E-Mail : info@consortium-hyogo.jp

「加盟校が実施する多様な学修機会の提供事業セミナー」情報共有の仕組み

2024年度の大学コンソーシアムひょうご神戸（以下「コンソ」という。）教育連携委員会事業「多様な学修機会の提供事業セミナーの公開」については、コンソ加盟校の協力を得て、以下のとおり実施します。

1. 「加盟校が実施する多様な学修機会の提供事業セミナー」の公開について

本事業における多様な学修機会の提供事業セミナーの「公開」とは、加盟校が実施する多様な学修機会を提供する事業セミナーへの参加枠を「自学以外」の「コンソ加盟校教職員ならびに学生へ広く開放する」ことをいいます。

2. 「加盟校が実施する多様な学修機会の提供事業セミナー」の情報収集及び情報提供について

加盟校が実施する多様なセミナーのうち、公開が可能であるセミナーについて、下記のとおり情報の提供を依頼します。

（1）情報収集及び情報提供の担当窓口について

本委員会は、コンソ事務局の所有する「教育連携委員会名簿」に記載の担当部署又は「コンソ担当者一覧」を通じて、上記のセミナーに関する情報の収集・提供を行います。

（2）加盟校からの情報提供について

- ① ご協力いただける加盟校は上記のセミナーに関する情報をコンソ HP 上の「**コンソ加盟校 公開講座等 情報提供フォーム（教育連携委員会：多様な学修機会の提供事業）**」により随時ご提供ください。セミナーの案内チラシ・実施要項・申込用紙等を併せてご提供ください。
- ② なお、セミナー実施後はコンソ HP 「**（実績報告）コンソ加盟校 公開講座等 情報提供フォーム（教育連携委員会：多様な学修機会の提供事業）**」により、「最終参加人数」をご報告ください。併せて、上記セミナーに係る配付資料、報告書及びアンケート結果等を可能な範囲で添付にてご提供ください。

（3）加盟校への情報提供について

本委員会は、上記（2）により提供いただいた情報を取りまとめ、以下のとおり加盟校へ情報を随時提供します。

① 多様な学修機会のセミナーの公開

提供いただいた「情報提供フォーム」の内容をコンソのホームページ上に掲載するとともに、上記（1）の担当窓口等、加盟校教職員へメールにて送付します。

※ 各校においては、適宜の方法により学内に周知いただくとともに、セミナー実施校が示す方法により、直接、お申し込みください。

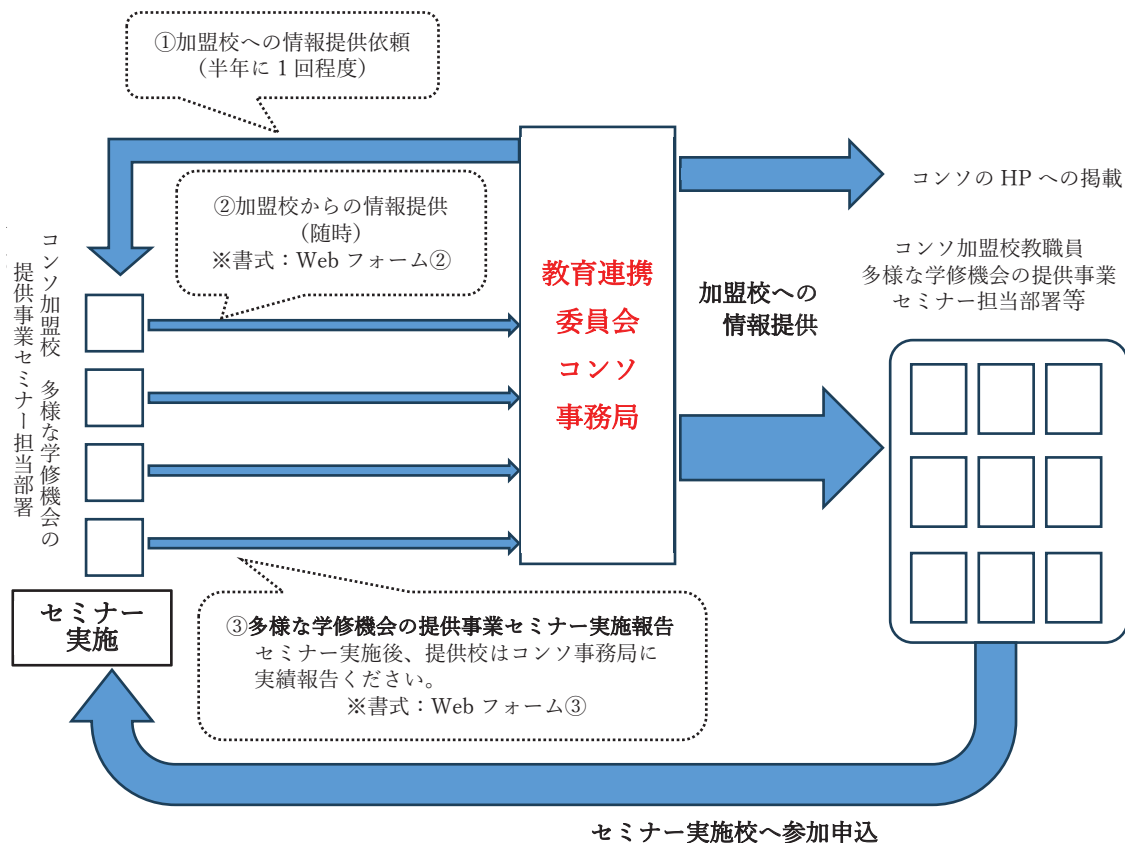
② 上記①のセミナーに係る配付資料、報告書及びアンケート結果等

上記（1）の担当窓口へ適宜の方法により送付します。

※ 学内又は加盟校の教育連携委員会担当者間での情報交換等にご活用ください。

3. その他

◎加盟校が実施する「多様な学修機会の提供事業」セミナーの公開イメージ図



① 加盟校への情報提供依頼（半年に1回程度）

② （情報提供）コンソ加盟校 公開講座等 情報提供フォーム（教育連携委員会：多様な学修機会の提供事業）URL <https://ws.formzu.net/dist/S40396294/>

* 情報提供は、上記フォームにて直接入力ください。

③ （実績報告）コンソ加盟校 公開講座等 情報提供フォーム（教育連携委員会：多様な学修機会の提供事業）URL <https://ws.formzu.net/dist/S36010978/>

* セミナー実施後は、上記フォームにて直接ご報告ください。

4. 問い合わせ先

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸事務局

教育連携委員会担当：中水かおる・谷本啓吾

Eメール info@consortium-hyogo.jp

TEL：078-271-0233 / FAX：078-271-0244

コンソ加盟校 公開講座等 情報提供フォーム（教育連携委員会：多様な学修機会の提供事業）

※セミナーの案内・実施要項・申込用紙等を作成されている場合は、併せて添付ください。
※周知、周知期間を必要としますので、セミナー実施日の1ヶ月前を目安に情報提供ください。

大学名 必須	
セミナー名 必須	
セミナー概要・テーマ (100～150文字程度) 必須	
開催日（西暦：年月日） 必須	
開催時間（24時間表記／ 例：14：30～17：00） 必須	
種別（教職員/学生） 必須	▼
セミナーの形式 必須	☐ 講義形式 ☐ パネルディスカッション形式 ☐ 参加者体験型 ☐ オンライン ☐ その他
オンラインの場合（使用ツール）、その他について 補足事項あれば	
公開について（公開区分） 必須	☐ 全て公開可 ☐ 一部公開可 ※備考欄に詳細を記入ください
（当日配布資料の公開） 必須	☐ 全て公開可 ☐ 一部公開可 ☐ 資料公開不可
（実施後の事業報告書・アンケート結果） 必須	☐ 全て公開可 ☐ 一部公開可 ☐ 資料公開可

セミナー受講対象者 必須	
募集人数（全体） 必須	人
コンソ加盟校参加可能枠 （人数制限がある場合） * ない場合は「制限なし」と記載ください 必須	人
申込期限（年月日） * 先着順の場合は（先着〇人） 必須	
参加費 必須	☐ 有料 ☐ 無料
参加費（有料の場合）	円
申込・問い合わせ先 （担当部署名） 必須	
（ご担当者名）	
メールアドレス	確認用
電話番号	- -
申込サイト等（URL）	
本件ご記入者（コンソ・FDSD委員会からのご確認用）	
備考・連絡事項（加盟校学生または教職員に対する受講支援などあれば、こちらにお書きください。例えば、受講無料、割引等）	
添付ファイルがある場合	ファイルを選択 選択されていません 4Mバイトまで 複数ファイルを送るには

内容確認画面へ

共通基盤教育とは

University e-Learning Association 共通基盤教育とは

eラーニングを活用しよう！

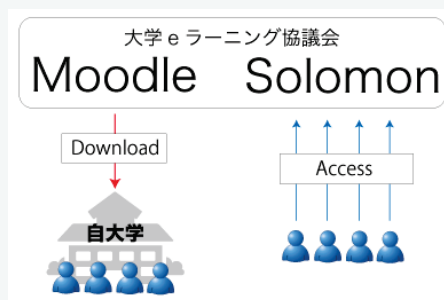
当協会が提供する「共通基盤教育」は、加盟校が制作した基盤教育向けeラーニング教材の共同利用を目的としており、英語、日本語、数学、情報などのリメディアル教材、SPIなどのキャリア支援教材などの全教材を、加盟大学であれば、試験利用期間（1年間程度）は無料で、本格利用に際しては年間7万円で利用することができます。

eラーニングによるリメディアル教育やキャリア支援教育をご検討されている大学は、是非、ご利用をご検討ください。

[利用方法](#)

提供方法

共通基盤教材には、Moodle版とSolomon版の二種類をご用意しております。二種類の違いは以下の通りです。



Moodle版

お好きな教材をDownloadして、各大学で用意したMoodleにリストアしてご利用いただくサービスです。

対象：Moodleをご利用中の大学

Solomon版

本協議会が用意したeラーニングプラットフォームSolomonをクラウドでご利用いただくサービスです。

管理者権限を発行いたしますので、ご自由に学生アカウントを作成しご利用いただけます。

対象：Moodleをご利用でない大学、Moodleを利用しているが教材を追加したくない大学

[デモ版を試す](#)

利用可能な教材



提供科目

- 英語（中学英文法）
- 日本語
- 数学（中学/高校）
- 大学初級数学
- 統計的データ解析
- 情報
- SPI

...他多数



プレイスメントテスト

入学直後の学力を測り、現時点での習熟度を学生に自覚させることを目的としたテストです。Webやマークシートなどを利用して実施します。



到達度テスト

プレイスメントテストの結果に応じて、弱い科目を主体的に学んだ後、このテストで基礎科目の学習の達成度及び自らの学力を確認します。

[利用可能な教材を見る](#)

利用校

本教材は30以上の大学が正式に利用、またはデモ体験を行っています。

[利用校一覧を見る](#)

活用事例

「特色ある質の高い教育プログラム」「キャリア系の学修支援プログラム」「初年次系の学修支援プログラム（入学前教育、リメディアル教育含む）」についての各大学の際立った活用事例を紹介します。

[活用事例を見る](#)

Last modified: 2020年2月19日

[お問い合わせ](#)

© 2009-2023 University e-Learning Association.

1. 共通基盤教育システム（CIST-Solomon）とは

共通基盤教育システム(CIST-Solomon)は、インターネットを利用して学習できる e ラーニングシステムです。インターネットに接続する環境さえあれば、いつでもどこからでも勉強することができます。次のアドレス(URL)をブラウザに入力して、CIST-Solomon のログインページに接続してください。

http://solomon.uela.cloud/



ログインページが表示されますので、アカウント・パスワードを入力してログインボタンを押してください。

2.コース機能紹介

2.1. はじめに

コースは、受講している教材だけが表示されます。

- ① トップメニューの**コース**をクリックすると、下に「一覧（コース一覧）」、「学習状況（コース学習状況）」、「個人コース」、「個人コース学習状況」が表示されますので、「**一覧（コース一覧）**」をクリックします。



- ② 画面左に教員が設定した**コース一覧**が表示されます。



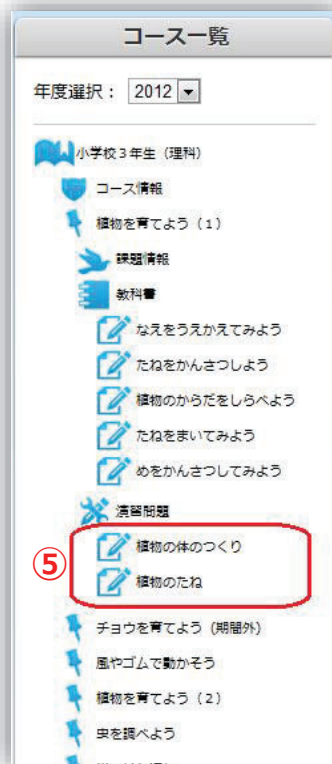
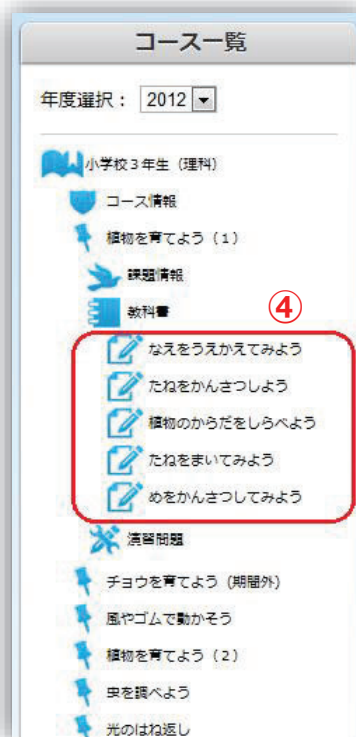
※通常学習機能を用いることで、コース以外の教材を学習することもできます。

2.2. コースの取り組み方

- ① 「コース一覧」の中から、取り組みたい**コース名**をクリック。
- ② 「コース情報」の下に表示される**授業名**をクリック。
- ③ **教科書**または**演習問題**をクリック。



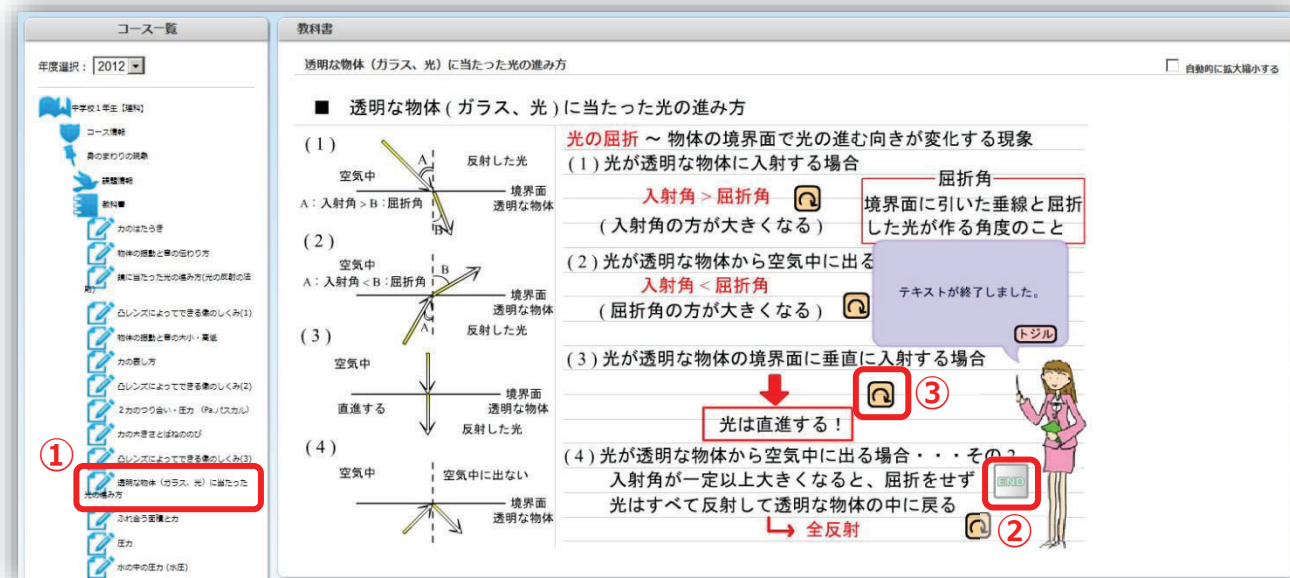
- ④ **教科書**をクリックすると、好きな教材を見ることができます。
- ⑤ **演習問題**をクリックすると、好きな教材の問題を解くことができます。



3.教科書・演習の紹介

3.1.教科書

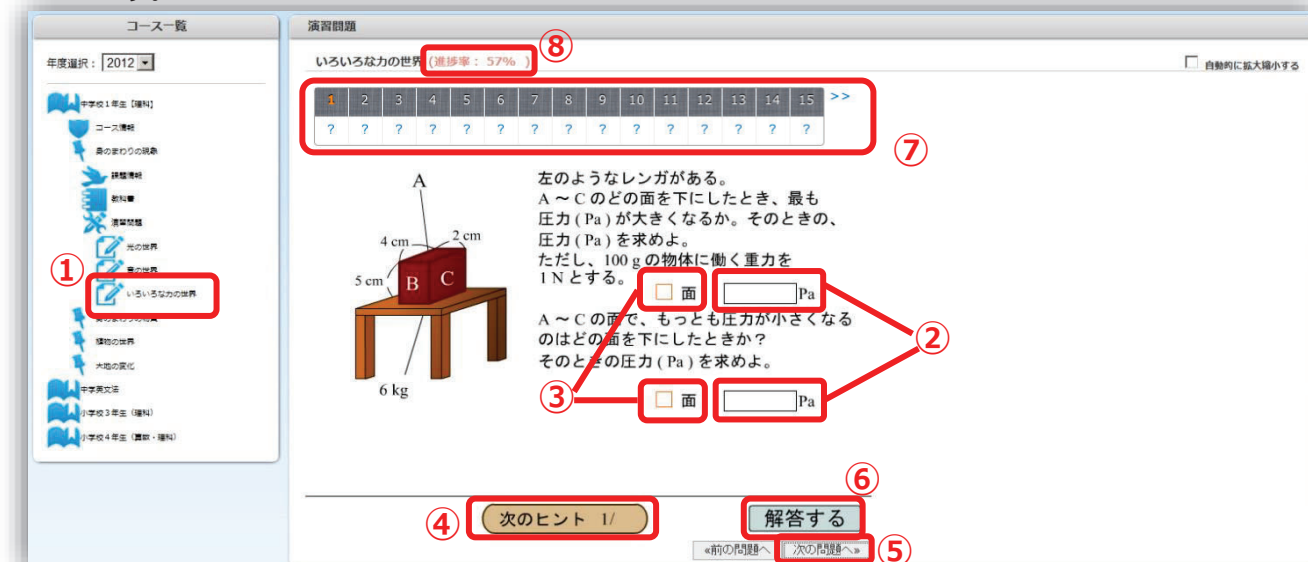
- ① 画面左のコース一覧から、取り組みたい教科書の教材をクリックします。
- ② 最初の画面には、何も書かれていません。
 を押すと、先生の板書のように少しずつ本文が出てきます。本文がすべて表示されると
 が、 に変わり、「テキストが終了しました。」と表示されますので、「トリル」ボタンを押し、次の教科書に進んでください。
- ③  をクリックすると、動画を繰り返すことができます。



The screenshot shows the textbook interface for 'Transparent Objects (Glass, Light)'. On the left is a course list with '透明な物体 (ガラス、光) に当たった光の進み方' selected. The main area displays four diagrams of light refraction at a boundary between air and a transparent object. Diagram (1) shows light entering at an angle where the angle of incidence is greater than the angle of refraction. Diagram (2) shows light exiting where the angle of incidence is less than the angle of refraction. Diagram (3) shows light passing straight through perpendicularly. Diagram (4) shows total internal reflection. Text on the right explains these phenomena, with red boxes highlighting key terms like '入射角' (angle of incidence), '屈折角' (angle of refraction), and '全反射' (total internal reflection). Navigation buttons like 'トリル' (Trill) and 'END' are visible.

3.2.演習

- ① 画面左のコース一覧から、取り組みたい演習の教材をクリックします。
- ② この枠の中に、答えをキーボードで入力します。(この問題では、半角の数字を入力します)
- ③ 四角をクリックすると選択肢が表示されますので、答えを選んでください。
- ④ このボタンを押すことで、問題のヒントを表示できます。
- ⑤ ヒントを見てもわからないときは、このボタンで次の問題に進むことができます。
- ⑥ 解答を入力したら、このボタンを押します。
- ⑦ 正解すると“?”が“○”に変わります。
(ヒントを見て正解すると“△”、不正解だと“×”になります)
- ⑧ 問題をどれだけ正解したかがわかります。全問正解の場合は、“進捗率 100%”と表示されます。



The screenshot shows the exercise interface. On the left, 'いろいろな力の世界' is selected. The main area displays a physics problem about a brick on a table. The problem asks for the pressure on different faces of the brick. A progress bar at the top shows 57% completion. The problem text is in Japanese. Below the text are input fields for the answers, with red boxes highlighting the input areas. Navigation buttons like '次のヒント' (Next Hint) and '解答する' (Submit Answer) are visible. A progress bar at the bottom shows the current question number and total questions.

●e ラーニングシステムの使用上の問題・操作に関する問い合わせ

大学 e ラーニング協議会 CIST-Solomon 担当

e-mail: uela-solomon@googlegroups.com

2023単位互換・共同開講に関するニーズ調査（教育連携委員会） 回答まとめ

資料 7

実施期間：2023年12月12日～25日 対象：教育連携委員会委員校23校

回答校：19校

質問4項目（Q1-2～Q2-3）に関するアンケート結果は下記の通り。

- ・「共同開講」への関心については「とてもある」1校、「どちらかといえばある」1校、「その他（学内で検討、今後の状況次第）」6校であり計8校が検討の余地がある状況。
- ・他の11校は（関心が）「ない」8校、「その他（検討する状況にない）」3校であった。

No	学校名 (略不同)	Q1-1 貴学では、コンソーシアムを活用した「共同開講」について、関心がありますか？	Q1-2 上記を選択した理由をご記載ください。	Q2-1 「単位互換」の開放科目において、複数校による「共同開講」科目を設置する場合、どのようなテーマがあればよいと考えますか。	Q2-2 コンソンの単位互換を活用して、貴学において複数校で科目を「共同開講」すると想定した場合、「利点」についてお教えください。	Q2-3 コンソンの単位互換を活用して、貴学において複数校で科目を「共同開講」すると想定した場合、「課題」についてお教えください。
1	甲南大学	とてもある	私立大学等改革総合支援事業の申請の際の取組として共同開講があるため。	教養科目として地域を学ぶ科目など。	本学だけでは開講できない分野の学びを提供できる。	大学間の調整など開講に係る業務の調整などの体制の整備。
2	神戸松蔭女子学院大学	どちらかといえばある (関心のある他大学があれば、一緒に検討したい)	興味はあるが、現実的に実現はハードルが高いと考える。	「神戸」に関する地域性に特化した科目。	異なる専門領域を持つ他大学の教員・学生との交流により刺激になり、学習意欲が高まる。	立地によっては移動時間がかかる。大学間で授業運営に関するルールが異なること。
3	関西国際大学	その他 (学内で検討、今後の状況次第)	まずは学内で検討してみたいと思います。	兵庫学・阪神学（地域を学ぶ科目）。	他大学の学生さんの多様な考え方に触れることができる点かと思えます。	学内で認めるかどうかの協議を行う必要があります。
4	大手前大学	その他 (学内で検討、今後の状況次第)	現状が把握できないので、今後の状況次第で検討します。			授業運営の方法。
5	大手前短期大学	その他 (学内で検討、今後の状況次第)	いわゆる教養科目群。	いわゆる教養科目群。		担当教員の学割変更、履修修限、時間割、指定規則変更承認申請など。
6	神戸常盤大学	その他 (学内で検討、今後の状況次第)	まだ具体的な要望がないため、何とも言えない状況。	兵庫県地理的、歴史的、産業などの特色に関するテーマが考えられます。	本学単独ではリソース的に実施できない多様な授業を学生に提供できること。	東西部のキャンパスの学生にとっては、フィールドワークや対面授業をする場合の移動負担（時間的、金銭的）が考えられます。
7	兵庫県立大学	その他 (学内で検討、今後の状況次第)		防災士等自大学で取得できない資格が取ればありがたい。		
9	神戸医療未来大学	その他 (検討する状況にない)				
10	関西学院大学	その他 (検討する状況にない)	コンソーシアムを活用した「共同開講」について、積極的に検討する状況にはないため。	特になし。	特になし。	特になし。
11	姫路獨協大学	その他 (検討する状況にない)	本学ではまだ共同教育課程の構成・実施に関しての必要な基本的な方針が決まっていないため。			・本学では「共同開講」についてはその他の回答をさせていただいていますので「課題」について記載することに抵抗を感じますが、不明な点を挙げさせていただきます。 ・共同開講課題としてマイノリティな大学で全授業を開講するのか、共同開講する大学でオムニバス形式で開講するのか。 ・通常履修生が9名の場合、開講されないが他大学の学生がいる場合共同開講することになる。担当する教員(非常勤の場合)の費用はどうなるのか。
12	関西福祉大学	ない				
13	神戸大学	ない	共同開講の希望が見込めないため。			
14	神戸海星女子学院大学	ない	2026年度を以て閉学を予定しているため。	「地域を学ぶ科目」から発展し、地域と連携して地域興しを目的とするような科目も面白いかもしれません。	例に挙げてくださいことが利点だと思います。	申し訳ありませんが、閉学が決定しておりますので、開講は難しいです。
15	神戸学院大学	ない	学内で、「共同開講」の認識が不十分なため。	神戸大学で農業や海洋に関する科目を開講していただいているので、関連した「環境問題」をテーマにしてもよいかもしれません。	同じ分野・テーマで、異なる専門領域の科目を各校がリレー講座で体系化できれば、多面的な学びを学生が得ることができると。PBL科目は他大学の多様な学生との学びが学生の成長に寄与する。..	教員同士のマッチングが難しい。 履修者が見込めるかどうかの判断が難しい。
16	神戸芸術工科大学	ない	同じようなジャンル開講の科目がないため難しいと思います。	現段階では思いつきません。	現段階では思いつきません。	実施場所をどこにするかと関係する大学間での調整。
17	神戸親和大学	ない			およそ本学で開講できそうにない科目を提供していただけること。	本学から提供できる専門分野、講師が定しいこと。
18	兵庫大学	ない	現段階で共同開講についての検討を行っていないため。	宗教に関する複数の地域（宗教的拠点）について学ぶ科目	科目の構想段階で複数の地域、分野などの多角的な意見交換ができるのではないかと。	共同開講とすることのコンセプトについて、理解の差や積極性が大学ごとに異なるのではないかと。
19	兵庫大学短期大学部	ない				

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 中長期計画Ⅱ期
(2022年度～2026年度)

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の中長期計画Ⅰ期(2017年4月1日～2022年3月31日)における取組内容とその成果を継承して、中長期計画Ⅱ期(2022年4月1日～2027年3月31日)を策定する。さらに、今後も想定される災害やコロナ禍における社会環境の変化への迅速な対応、人口減少社会・少子超高齢化社会、18歳人口の減少における大学をめぐる状況にも留意し、大学単独で取り組むには困難な課題について、大学プラットフォームの多元的な資源を活用して取り組む。大学間連携・産官学連携での人的交流ならびに人材育成、加盟校の多元的な教育活動に寄与する計画とする。

[ビジョン・目標]

大学間連携・産官学連携で「人がつながり、多様な学びを共創する“ひょうご神戸”」

兵庫県内の大学が連携して、地方自治体、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを発するとともに、人生100年時代を迎え、多様な学びを提供する大学コンソーシアムひょうご神戸の取組を通じて、兵庫県と加盟校の魅力を県内外に発信する。兵庫県内の若者人口の増加、大学教育・地域創生への貢献が明確に可視化される活動を展開する。

大学間連携組織の特徴を生かした産官学連携のあり方として、「人」を繋ぐ、「組織」を繋ぐ、「情報」を集約できる場をめざす。

大学コンソーシアムひょうご神戸が、大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築する。そのために以下の4つの柱での取組事業を実施する。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携
2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援
3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

[体制] プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は、2024 年4月現在

[具体的な取り組み内容]

上記の課題を踏まえ、中長期的な目標を設定し、①情報の共有と発信②人的交流の促進③ステークホルダー（地方自治体・企業・地域・高等学校等）との有機的連携の3つを重点項目として取り組む。

1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携

①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上

（加盟校学生と県内企業とのマッチングに向けた連携）

【取組1】大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上

（内容）兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業への就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。

（担当）キャリア部門

【取組2】県内企業・団体等の魅力を情報発信

（目標）情報公開企業・団体数120社以上

（内容）地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公表するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。

（担当）キャリア部門

②県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

【取組1】大学と高等学校の意見交換会の実施

（目標）各年参加校数20校以上

（内容）教育委員会等と連携して兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高等学校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行い、兵庫県下の高大連携を深める。

（担当）高大連携部門

【取組2】加盟校の魅力を情報発信

（目標）各年情報提供先数 高等学校等 200 か所以上

（内容）加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

（担当）高大連携部門

③大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進

【取組1】テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

（目標）各年参加者数 50 名以上

（内容）他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクトを実施する。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

（担当）学生交流部門

【取組2】加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

（目標）情報公開数 200 取組以上

（内容）加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開する。各年、継続的に事例紹介を重ねることにより、本計画期間内で 200 取組以上を紹介する。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。

（担当）学生交流部門

2. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル教育支援

④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進

【取組1】留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の 70% 以上。

（内容）“ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。

（担当）キャリア部門

⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進

【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施

（目標）本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合
：参加学生の80%以上（期間中2回測定）

（内容）兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（日本学生支援機構委託事業）において、大学間連携による国際交流の拠点を、兵庫国際交流会館を起点に大学キャンパス外の地域社会に形成することを推進する。留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。

（担当）国際交流部門

【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

（目標）本プログラムへの参加を通じて、国際理解が深まったことを実感する学生の割合
：参加学生の80%以上（期間中2回測定）

（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワークを生かして、加盟校主催の国際交流イベントの情報を収集し、加盟校間の情報共有を行う。本計画期間内において、段階的に加盟校が主催する国際交流プログラムと連携することにより、大学の枠を超えた加盟校間の留学生・日本人学生等の交流を促進させる。

（担当）国際交流部門

3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供

⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

【取組1】加盟校間でのFD・SDセミナーの公開

（目標）各年セミナー数5件以上

（内容）加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

（担当）FD・SD部門

【取組2】FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

（目標）各年参加者数50名以上

（内容）加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

（担当）FD・SD部門

⑦大学間連携による多様な教育ニーズへの対応

【取組1】単位互換事業の実施

（目標）各年開放科目数10科目以上

（内容）加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。

（担当）教育連携・教務部門

【取組２】多様な学修機会の提供

（目標）各年プログラム数５件以上

（内容）加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、段階的に加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する（ICTを活用したコンテンツ、専門領域や分野横断型のプログラム等）。

（担当）教育連携・教務部門

⑧県内大学を活用した社会人の学びなおしの推進

【取組１】リカレント教育の普及促進に向けた取組

（目標）各年参加者数５０名以上

（内容）加盟校によるリカレント教育の推進・理解促進に向けたセミナー・情報交換会等を開催する。産官学で連携したリカレント教育推進に関するネットワークを構築する。

（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

【取組２】加盟校のリカレント教育に関する情報発信

（目標）各年１０校以上

（内容）大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページで加盟校が開講するリカレント教育に関する取組情報を発信する。

（担当）リカレント教育部門・企画運営委員会

4. 県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

⑨大学資源を活用する地域プラットフォームの形成

【取組１】大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築

（目標）大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充

（内容）兵庫県下で大学間連携のプラットフォームとして、加盟校の大学資源を生かす運営体制を本計画期間内において、段階的に構築する。また、加盟校がすでに有している大学間連携・地域・地方自治体との連携体制の理解促進も図る。

（担当）企画運営委員会

【取組２】緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築

（目標）緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築

（内容）感染症（新型コロナウイルス感染症等）や災害対応等、災害・緊急事態対応等の不測の事態に備えて、定期的に加盟校が蓄積する経験や知見の情報収集を行い、共有す

る。本計画期間内において、段階的に情報共有を重ねることにより、有事の際に速やかに情報共有・情報提供ができる体制の構築を目指す。

（担当）企画運営委員会

⑩県内大学が活性化する事業運営体制の整備

【取組１】加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進

（目標）加盟校の共通課題に協働して取り組む事業運営体制の構築

（内容）加盟校教職員が大学間連携活動に積極的に参画できる事業運営体制を本計画期間内において、段階的に検討・構築する。同じ課題を有する加盟校による小グループで課題の共有、ICTの活用、プロジェクト型での事業推進等のニーズに合わせて、事業運営体制の整備に取り組む。

（担当）企画運営委員会

上記の中長期計画に基づき、各年度毎の事業計画を別途作成し、各プログラムの具体的な活動指標を個別に定めて事業を推進する。なお、中長期計画を実施する計画ならびに担当については、年度毎の見直しにより変更することがある。

以 上

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第 38 条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 正会員の教職員で、原則 2 名(教員 1 名、職員 1 名)。
- (2) 毎年度、第 1 回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は 2 年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないように配慮する。
- (2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選抜制とし、キャリア委員会及び FD・SD 委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3) 6 事業委員会の副委員長校の選考は、選抜制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選抜制】

- ① 選抜制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選抜することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ① 選抜制 4 事業委員会の正副委員長及び輪番制 2 事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。
- ② 選抜制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。
- ③ 1 大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

【経過措置】

- ①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023 年度より選択制及び輪番制を導入する。
- ②委員長校及び副委員長校の任期については、2023 年度からの担当期間を原則として 3 年間（2023 年度～2025 年度）とする。
- ③2026 年度～2027 年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて 2025 年度後期に検討するものとする。

4. 事業委員会の任務

- (1) 事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行い、情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事

- (1) 事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- (2) 事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則 2 名の委員」に拘らず、計 3 名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件(定足数)

- (1) 事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- (2) 委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- (3) 「委任状」の制度は用いない。
- (4) 事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

7. 議決権及び議決数

- (1) 正会員あたり各 1 個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

8. プログラム担当校

- (1) 事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- (2) プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- (3) 委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

9. 事業委員会事務局

- (1) 事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

10. 改廃

- この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019 年4月1日から施行する。

附則

(1)この申し合わせは、2022 年4月 1 日から施行する。

(2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022 年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め 1 年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月 1 日から施行する。

以 上

2024 年度

大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業マニュアル（教職員用）

I. 単位互換事業とは

単位互換制度とは、単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生が、他の加盟大学・短期大学が開放する科目を履修でき、取得した単位が学生所属校の単位として認定される制度であり概要は以下のとおりである。

事業所管委員会	教育連携委員会
事業参画要件	大学コンソーシアムひょうご神戸「単位互換事業における包括協定書」を締結していること
対象学生	単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生
開放科目の選定要件	集中開講科目（国内合宿型、集中型実技・実習等特別プログラム）及び兵庫県地域特性や各校の特徴的な通常開講科目等
学生所属校	包括協定書締結校のうち、学生を送り出す大学・短期大学を示す
科目開放校	包括協定書締結校のうち、科目を開放する大学・短期大学を示す

II. 単位互換事業フロー（No1-6 は 2024 年度、No7-20 は 2025 年度に向けての対応）

No.	内容	時期（予定）	対応者
1	包括協定書締結校において学生募集実施※1	2024 年 3 月 25 日～ 2024 年 4 月 4 日	包括協定書 締結校
2	学生所属校（履修希望学生がいる場合のみ）は「履修申込書類」をコンソ事務局へ提出 （コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）	2024 年 4 月 5 日まで （履修登録期間）	学生所属校
3	コンソ事務局より履修希望学生の「履修申込書・履修学生一覧表」を科目開放校へ送付（コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）	2024 年 4 月上旬 ～中旬 （履修登録期間後）	コンソ 事務局
4	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2024 年 4 月 10 日 （目安）	科目開放校
5	学生所属校から履修学生へ履修可否の連絡	2024 年 4 月中旬	学生所属校
6	当該年度学生所属校へ受講者アンケート実施依頼	2024 年 7 月	コンソ 事務局
	当該年度の前期受講者アンケート提出期限	2024 年 10 月末	学生所属校
	当該年度の後期受講者アンケート提出期限	2025 年 2 月中旬	学生所属校

二次募集・三次募集の詳細は「IV. 履修登録スケジュール」参照

No.	内容	時期（予定）	対応者
7	包括協定書第9条に基づく取りやめ申し入れに係る意向確認	2024年7～11月末	コンソ事務局
8	包括協定書未締結校へ締結依頼文書を送付し、意向確認（依頼文書は委員長校に確認のうえコンソ事務局が送付）	2024年8～11月末	コンソ事務局
9	広報ツール（ポスター・チラシ）の検討	2024年10～11月	委員長校
10	上記7・8の結果を踏まえた次年度包括協定書を取りまとめ、次年度の実施方針を協議	2024年11月末	教育連携委員会
11	上記10の結果を踏まえ、包括協定書締結校へ開放科目（概要込）を照会（シラバス提出期限の事前連絡を兼ねる）	2024年12月初旬～ 2025年1月末	コンソ事務局
12	広報ツール（ポスター・チラシ）の制作	2024年12月下旬（初稿）、2025年3月初旬校了	コンソ事務局
13	上記11の結果を踏まえた次年度開放科目を取りまとめ、委員長校へ報告	2025年2月初旬	コンソ事務局
14	次年度開放科目決定（メール審議）※2	2025年2月初旬～中旬	教育連携委員会
15	上記14に基づき、科目開放校へシラバス（コンソ統一様式）提出依頼	2025年2～3月初旬	コンソ事務局
16	開放科目シラバス取りまとめ	2025年3月初旬	コンソ事務局
17	包括協定書締結校へ開放科目を周知	2025年3月下旬	コンソ事務局
18	webシステム更新（広報ツールデータのwebアップ含む）	2025年3月初旬～下旬 （掲載内容確認含む）	コンソ事務局
19	広報ツールを包括協定書締結校へ納品・学生募集（提出書類等）についての案内	2025年3月下旬	コンソ事務局
20	次年度事業概要報告	2025年3月中旬～下旬	コンソ事務局

※1 学生募集について

※No1の時点（一次募集）で前期分・後期分をまとめて行う。二次・三次募集は、集中講義科目と後期科目について、科目開放校の意向を確認のうえ、希望校があった場合のみ行う。

※一次募集(2024年度)の大手前大学・大手前短期大学、および関西学院大学は申込締め切りが早くなる。
（大手前大学・大手前短期大学は3/27迄、関西学院大学は4/3迄）

※以下の科目開放校において、4/5以降に学生所属校より履修登録期間後の希望があった場合、個別での相談対応とする。

(「科目一覧表」記載の履修登録期限目安)兵庫県立大学 4/6、関西国際大学 4/8、神戸学院大学 4/10、神戸芸術工科大学 4/10、甲南大学 4/11、神戸海星女子学院大学 4/12、神戸女子短期大学 4/12、神戸市看護大学 4/12、神戸親和大学 4/12、神戸市外国語大学 4/14、神戸大学 4/30

※2 開放科目の追加について

基本的にはNo14の時点で当該年度の開放科目を確定するが、包括協定書締結校より開放科目追加の申し出があった場合は、随時、メール審議等において開放科目追加を審議・決定する。

No.1 包括協定書締結校において学生募集

(1) 包括協定書締結校における学内申込期間の設定

- ・留学生は、他大学での授業を支障なく受講できると学生所属校で判断された場合のみ申込を受け付ける。
- ・卒業年次生は、卒業要件ギリギリの状態での履修は避けるよう、履修指導を行うこと。

(2) 申込者が募集人数を超えた場合

各協定書締結校内で募集人数枠以内になるように調整する。

No.2 学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出（コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）

学生から履修申込があった学生所属校は、各期日までにコンソ事務局に、履修申込書・学生証の写し及び履修学生一覧表を原則としてメールと郵送にて提出する。ただし、学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は電子データのやりとりのみも可とする。

各校への提出方法についてコンソ事務局より学生募集を開始する前に包括協定書締結校へ照会を行う。（開放科目照会時）

メール提出（※必須）⇒履修申込書及び学生証写し（Excel データ、PDF データ）・履修学生一覧表（Excel データ） 郵送提出⇒履修申込書・履修学生一覧表原本

※履修申込書については、顔写真が鮮明に写った「学生証の画像データ」と「顔写真」の画像データを添付することとする。

No.3 コンソ事務局より履修申込書・履修学生一覧表を科目開放校へ送付

（コンソ事務局は、必要に応じて委員長校へ状況報告）

コンソ事務局にて、履修申込書及び履修学生一覧表をとりまとめ、各科目開放校へ送付のうえ、必要に応じて委員長校へ状況報告する。

① 履修申込書及び学生証写し（Excel データ、PDF データ）・履修学生一覧表（Excel データ） → メールにて送付

② 履修申込書原本・履修学生一覧表原本 → 追って郵送

ただし、学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は電子データのやりとりのみも可とする。

No.4 科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡

科目開放校は出願のあった申込学生についての履修可否の連絡を学生所属校・コンソ事務局へ

メールにて行う。

（履修可否記入済の履修申込書及び履修学生一覧表をデータ送付）

なお、履修申込書原本については、受入可否を記載の上、科目開放校が保管する。

No.5 学生所属校から履修学生へ履修可否の連絡

学生所属校は速やかに学生へ履修可否の連絡を行う。

履修許可書についてはコンソ統一様式のものを作成せず、必要であれば各大学で発行する。

※履修の可否が確定していない期間の授業については、可能な限り出席するよう申込学生に指導を行うので、科目開放校は出席を拒まないこと。

No.6 当該年度所属校へ受講者アンケート実施依頼

コンソ事務局は学生所属校へアンケート実施を依頼する。学生所属校は受講後の学生に案内を行う。

No.7 包括協定書第9条に基づく取りやめ申し入れに関わる意向確認

包括協定書の有効期限は、原則締結日から1年度であり、その後は締結校から取り止めの意思がなければ自動継続となっていることから、継続意思の確認を行う。

No.8 包括協定書未締結校へ締結依頼文書を送付し、意向確認

包括協定書未締結校に対し、包括協定書締結に係る依頼文書を送付する。

No.9 広報ツールの検討

ポスター及びチラシなどの広報ツールの制作について検討する。

（これまでは神戸芸術工科大学の学生に制作を依頼）

No.10 次年度包括協定書締結校をとりまとめ、次年度の実施方針を協議

- ・ No.7 及び No.8 の結果をふまえ、次年度包括協定書をとりまとめ、教育連携委員会にて次年度の実施方針を協議する。なお、本マニュアルを改訂する必要がある場合は、教育連携委員会開催案内時に改訂案を送付するなど、事前の情報共有に努める。
- ・ 教育連携委員会で新規承認された大学に対し、次年度に向けた包括協定書調印手続きを行う。

No.11 包括協定書締結校へ開放科目（概要込）を照会

包括協定書締結校に対して開放科目を照会し、シラバス提出期限が3月初旬であることも併せて連絡する。

No.12 広報ツールの制作

3月完成を目途に、広報ツール（ポスター、チラシ）を作成する。

No.13 次年度開放科目をとりまとめ、委員長校へ報告

科目開放校はコンソ事務局へ開放科目一覧表を提出する。

提出された開放科目一覧表はコンソ事務局にてとりまとめ、委員長校へ報告する。

No.14 次年度開放科目決定

No.13 で報告された結果をもとに、教育連携委員会にて開放科目を決定する。（メール審議）

No.15 シラバス提出依頼

コンソ事務局より科目開放校へシラバス提出を依頼する。シラバス様式は、コンソ統一様式とし、科目開放校のシラバス様式での提出は認めない。なお、開講期間や時間、補講、試験等は科目開放校の規定を適用する。

No.16 開放科目シラバスとりまとめ

科目開放校はシラバスを作成の上、3月初旬までにコンソへ提出する。なお、科目開放校は、開放科目の詳細など学生に配布できる資料がある場合は、併せて提出する。

No.17 包括協定書締結校へ開放科目を周知

コンソ事務局にて開放科目をとりまとめ、包括協定書締結校へ開放科目の周知を行う。

No.18 Web システム更新

コンソホームページに設置されている単位互換事業ページで開放科目についての情報を公開する。

No.19 広報ツールを包括協定書締結校へ、納品・学生募集（提出書類等）についての案内

広報ツール（ポスター、チラシ）を包括協定書締結校へ納品する。

コンソ事務局より協定書締結校へ学生募集（提出書類等）についての案内を行う。

No.20 次年度事業概要報告

書面にて（3月中旬～下旬頃）、次年度の事業概要の報告を行う。

Ⅲ. 履修に関して

1. 連絡について

(1) 履修・授業・試験・成績等に関する学生からの問い合わせは、学生所属校を通じて行う。

学生所属校を通じて連絡・案内する場合は、各々の定める方法で行う。

授業開始までの、科目開放校での講義を受講する際の注意や試験の実施方法等の案内、学生からの問い合わせは学生所属校を通じて行う。基本的に学生から科目開放校へ問い合わせないように指導すること。

(2) 緊急時の場合は、科目開放校から学生へ直接連絡することがある。また、学生からも科目開放校へ直接連絡することを容認する。

(3) 履修を許可された後については、科目開放校の担当窓口の指示に従うこととする。

2. 履修辞退について

(1) 科目開放校から履修許可が出たのちに、やむを得ない事情により履修辞退の申し出があった場合は速やかに学生所属校より科目開放校とコンソ事務局にメールで「辞退依頼書」写し（PDF データ）を送付した後、原本を科目開放校に郵送する。なお、科目開放校において履修辞退が認められない場合もある。

(2) 科目開放校は「辞退依頼書」を受領した後、科目開放校の規定を適用し、履修辞退を認める場合は、「辞退承認通知」写し（PDF データ）を学生所属校とコンソ事務局に送付した後、原本を学生所属校に郵送する。

※学生所属校と科目開放校双方の合意がある場合は「辞退依頼書」及び「辞退承認通知」については電子データのやりとりのみも可とする。（学生所属校があらかじめ科目開放校に確認するものとする。）

メール提出（※必須）⇒「辞退依頼書」又は「辞退承認通知」写し（PDF データ） 郵送提出⇒「辞退依頼書」又は「辞退承認通知」原本

3. 学生対応について

(1) 履修生専用の身分証はコンソ共通のものは作成せず、必要に応じて科目開放校にて準備する。

(2) また、科目開放校は、履修生が図書館、食堂等の厚生施設を、科目開放校発行の身分証もし

くは学生所属校の身分証の提示により使用できるように取り計らう。

- (3) 各加盟校に単位互換に関する規定や内規等がある場合は、その範囲内で運用することとする。
- (4) 学生の学生所属校は、履修を途中で辞めないように指導する。ただし、特別な事情がある場合は、大学間で履修取り消しを決定の上、コンソ事務局へ報告する。

4. 休校・補講について

- (1) 休講要件等、履修のうえで必要な情報について、学生所属校は科目開放校から情報を入手し、学生へ説明しておくこと。
- (2) 休校・補講やその他授業に関する伝達事項が発生した場合は、科目開放校から学生所属校へ発信する。また、学生への連絡は学生所属校の定める方法で行う。
事前に決定されている休校・補講である場合は授業時に科目開放校担当者から学生へ案内する。ただし、学生には日頃から科目開放校の掲示板などで情報を確認する習慣を身に着けるように指導すること。
- (3) 災害などの場合
災害など、予測ができない状況における休校については、基本的に科目開放校のホームページに情報を掲載する。なお、急を要する場合の連絡については、学生と科目開放校との間で直接対応を可とする。

5. 公欠（公休）について

公欠（公休）等の出欠の取り扱いは、科目開放校の規定を適用する。

6. 試験について

- (1) 定期試験の時間割は、科目開放校から学生所属校へ定期試験通知書を送付する。
- (2) また、学生への連絡は学生所属校の定める方法で行う。但し、学生所属校との試験と重複した場合は、学生所属校の試験を優先させ、科目開放校と協議する。
- (3) 追試験及び再試験については、科目開放校の実施基準を適用する。なお、実施の有無は科目開放校の責任において学生全員に周知することとする。
- (4) 授業期間外に、独自の時間割を設定して定期試験を実施する場合は、原則科目開設曜日・時限での実施とする。

7. 成績通知について

- (1) 科目開放校は、定められた期日までに学生所属校へ送付し、評価の確認は関係する大学担当間で行う。その際の成績通知は自由形式とするが、必ず 100 点満点に換算した「素点」を加える。
- (2) 定められた期日より早い送付を希望する大学は、個別に各大学へ依頼する。
- (3) 学生への通知は、学生所属校よりそれぞれの大学の定める方法で行う。
(学生から直接科目開放校へは問い合わせないこと)

IV. 履修登録スケジュール

	No	事項	日程案
一次募集	1	コンソ事務局より包括協定書締結校へ開放科目（概要込）照会	2023 年 11 月 30 日～2024 年 1 月 31 日
	2※	コンソ事務局より包括協定書締結校へポスター・チラシ表面デザイン共有	2023 年 12 月 25 日
	3	開放科目決定（コンソ事務局より委員長校・副委員長校へメール審議）	2024 年 2 月 5 日～2 月 9 日
	4	科目開放校よりコンソ事務局へシラバス提出	2024 年 2 月 12 日～3 月 1 日
	5	コンソ事務局にてシラバスのページ更新	2024 年 3 月 2 日～3 月 11 日
	6※	ポスター・チラシデザイン完成	2024 年 3 月 4 日
	7	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（1 回目）	2024 年 3 月 12 日～3 月 15 日
	8	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（予備）	2024 年 3 月 19 日～3 月 22 日
	9※	コンソ事務局にてポスター・チラシ印刷し送付。 包括協定書締結校にて掲出	2024 年 3 月 20 日
	10	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ一次募集開放科目周知	2024 年 3 月 25 日
	11	包括協定書締結校にて学生募集、受付	履修登録期間：2024 年 3 月 25 日～ 2024 年 4 月 4 日（案）
	12	学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出	メール：4 月 5 日 午後 12 時まで 郵送：4 月 8 日 午後 15 時まで
	13	コンソ事務局より、科目開放校へ履修申込書類を送付	2024 年 4 月上旬～中旬（履修登録期間 後）
	14	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2024 年 4 月 10 日（目安）
	15	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える
	16	アンケート実施依頼	2024 年 7 月
二次募集	1	包括協定書締結校へ二次募集科目照会	2024 年 5 月中旬～5 月下旬
	3	開放科目決定（コンソ事務局より委員長校・副委員長校へメール審議）	2024 年 5 月下旬
	4	科目開放校よりコンソ事務局へシラバス提出	2024 年 5 月中旬～5 月下旬
	5	コンソ事務局にてシラバスのページ更新	2024 年 5 月中旬～5 月下旬
	7	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（1 回目）	2024 年 5 月下旬
	8	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（予備）	2024 年 5 月下旬
	10	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ一次募集開放科目周知	2024 年 6 月上旬
	11	包括協定書締結校にて学生募集、受付	履修登録期間：2024 年 6 月 5 日～7 月 5 日（案）
	12	学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出	メール：7 月 8 日 午後 12 時まで 郵送：7 月 9 日 午後 15 時まで（案）
	13	コンソ事務局より、科目開放校ごとに履修申込書類を送付	7 月上旬
	14	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2024 年 7 月中旬
	15	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える

	16	アンケート実施依頼	2024 年 10 月末
三次募集	1	包括協定書締結校へ三次募集科目照会	2024 年 7 月中旬～8 月上旬
	3	開放科目決定（コンソ事務局より委員長校・副委員長校へメール審議）	2024 年 8 月上旬
	4	科目開放校よりコンソ事務局へシラバス提出	2024 年 7 月中旬～8 月上旬
	5	コンソ事務局にてシラバスのページ更新	2024 年 8 月上旬
	7	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（1 回目）	2024 年 8 月上旬
	8	科目開放校にてシラバス HP 掲載内容確認依頼（予備）	2024 年 8 月上旬
	10	コンソ事務局より、包括協定書締結校へ一次募集開放科目周知	2024 年 8 月中旬
	11	包括協定書締結校にて学生募集、受付	履修登録期間:8 月 23 日-9 月 12 日 (案)
	12	学生所属校は履修申込書類をコンソ事務局へ提出	メール:9 月 13 日 午後 12 時まで 郵送:9 月 16 日 午後 15 時まで(案)
	13	コンソ事務局より、科目開放校ごとに履修申込書類を送付	2024 年 9 月中旬
	14	科目開放校から学生所属校・コンソ事務局へ履修可否の連絡	2024 年 9 月下旬
	15	申込学生への通知	通知受領後、速やかに伝える
	16	アンケート実施依頼	2025 年 2 月

※一次募集時のみの対応

V. 単位互換事業協定書締結校（2023. 11 月現在）

No	学校名	協定書	No	学校名	協定書
1	芦屋大学	○	20	神戸女子短期大学	○
2	大手前大学	○	21	神戸親和大学	○
3	大手前短期大学	○	22	神戸常盤大学	○
4	関西国際大学	○	23	神戸常盤大学短期大学部	○
5	関西福祉大学	○	24	神戸薬科大学	○
6	関西学院大学	○	25	園田学園女子大学	○
7	聖和短期大学	○	26	園田学園女子大学短期大学部	○
8	甲南大学	○	27	宝塚医療大学	○
9	甲南女子大学	○	28	姫路大学	○
10	神戸大学	○	29	姫路獨協大学	○
11	神戸医療未来大学	○	30	兵庫大学	○
12	神戸海星女子学院大学	○	31	兵庫大学短期大学部	○
13	神戸学院大学	○	32	兵庫県立大学	○
14	神戸芸術工科大学	○	33	芸術文化観光専門職大学	○
15	神戸国際大学	○	34	流通科学大学	○
16	神戸市外国語大学	○			
17	神戸市看護大学	○			
18	神戸松蔭女子学院大学	○			
19	神戸女子大学	○	合計		34 校

以上

2024 年度

大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換制度マニュアル（学生用）

Ⅰ. 単位互換制度とは

単位互換制度とは、単位互換協定に加盟している大学・短期大学に所属する学生が、他の加盟大学・短期大学が開放する科目を履修でき、取得した単位が所属する大学・短期大学（以下「所属校」という。）の単位として認定される制度です。

年間で履修できる科目数や取得できる単位数は、各自の所属校によって取り扱いが異なりますので、事前に所属校で確認してください。

なお、受講料は無料ですが、受講科目によっては、所定の実習費や材料費等が必要になる場合があります。

【非対面形態の開放科目を履修するうえでの留意点】

2024 年度は、オンライン型やオンデマンド型など、非対面形態での開放科目を提供しますが、履修に必要な ICT 環境（受信端末や Wi-Fi 等）は履修者自身で整えることを前提としています。

履修にあたっては、履修前に必ず以下の点を確認するようにしてください。

- ・自身の ICT 環境に不安がある場合は、所属校を通じて科目開放校に履修に必要な ICT 環境を確認する。
- ・自身で ICT 環境を整えられない場合は、所属校が有する通信設備（コンピューター室等）を利用できるか確認する。

Ⅱ. 履修手続について

1. 申込期間

単位互換科目は、履修登録期間（3 月下旬から 4 月上旬ごろ）に、前期分後期分取りまとめて履修申込期間を設けています。なお、科目開放校の都合により、夏期・後期科目の募集を追加で行う場合もあります。

2. 申込手続き

所属校で出願受付を行います。なお、所属校ごとに申込期間が異なりますので、詳細については必ず所属校にご確認ください。また、卒業年次生の履修について、卒業要件単位を満たすための履修は認めません。

- ・一次募集（前期申込）：3/25（月）～4/4（木）（全科目対象※1）
- ・二次募集：5 月頃（夏季集中講義・後期・秋学期開講科目対象）
- ・三次募集：8～9 月頃（後期・秋学期開講科目対象）

※一次募集を原則としておりますので、できるだけ一次募集（前期申込）期間に手続きを行ってください。

※一次募集の大手前大学・大手前短期大学、および関西学院大学は申込締め切りが早くなりますので、ご注意ください。（大手前大学・大手前短期大学は 3/27 迄、関西学院大学は 4/3 迄）

※以下の大学については、前期申し込み期間以降でも受け付けできる可能性があります。

詳細は、所属校にてご確認ください。

（履修登録期限の目安）

兵庫県立大学 4/6、関西国際大学 4/8、神戸学院大学 4/10、神戸芸術工科大学 4/10、甲南大学 4/11、神戸海星女子学院大学 4/12、神戸女子短期大学 4/12、神戸市看護大学 4/12、神戸親和大学 4/12、神戸市外国語大学 4/14、神戸大学 4/30

- ①申込期間内に、履修申込書に必要事項を記入し、所属校担当窓口へ提出してください。履修申込書は1科目につき1枚提出とします。提出の際は顔写真が鮮明に写った学生証のコピーを添付してください。
なお、申込書は大学コンソーシアムひょうご神戸 HP よりダウンロードできます。

<https://www.consortium-hyogo.jp/compatible/>

※履修許可後の受講辞退は原則認めません。履修計画をしっかりと立てて申し込みを行ってください。

- ②履修の可否について、申し込みから約2～3週間後に所属校を通じて通知します。科目開放校に直接問い合わせをしないようにしてください。※履修可否の連絡日については一部例外あり

3. 仮受講について

通年科目または前期科目の場合、申し込みして履修許可通知があるまでに多くの科目で授業が開始されます。これらの科目に申し込みした場合は、履修可否通知があるまでその申込科目を仮受講してください。なお、履修が許可されるまでの期間は、科目開放校での講義を受講する際の注意や試験の実施方法等の案内などの問い合わせは所属校を通じて行います。問い合わせがある場合は、まず所属校の担当窓口へ連絡してください。

ただし、科目開放校の施設などの諸条件から、申込者が授業定員を超えた場合、履修不可となる場合があります。

Ⅲ.履修について

連絡について

履修・授業・試験・成績等に関する連絡は所属校を通じて行いますが、履修を許可された後については、科目開放校の担当窓口の指示に従ってください。

また、緊急時の場合は科目開放校から直接連絡することがあります。

1. 施設利用について

履修生の身分は、科目開放校発行の身分証もしくは所属校の学生証で証明するものとします。

履修期間中、科目開放校での図書館や食堂等の厚生施設を、科目開放校発行の身分証もしくは所属校の学生証の提示により利用することができます。ただし、使用できる施設は科目開放校の定めるところとします。

2. 休講・補講について

休講や補講、その他授業に関する伝達事項が発生した場合は科目開放校から所属校へ連絡をしますので所属校からの連絡に従ってください。また、災害など急を要する場合の連絡については、科目開放校のホームページを確認の上、直接連絡をしても構いません。

3. 公欠(公休)について

公欠(公休)等の出欠の取り扱いは、科目開放校の規定を適用します。

4. 試験について

定期試験は原則、授業と同一曜日・時限で実施されます。

なお、定期試験時間割は科目開放校から所属校へ通知されますので、所属校へ確認するようにしてください。定期試験は所属校の試験を優先させ、開放科目と重複が生じた場合は所属校窓口へ相談してください。

い。追試験・再試験については、科目開放校の実施基準を適用します。試験終了後、「受講者事後アンケート」に必ず回答してください。

5. 成績通知について

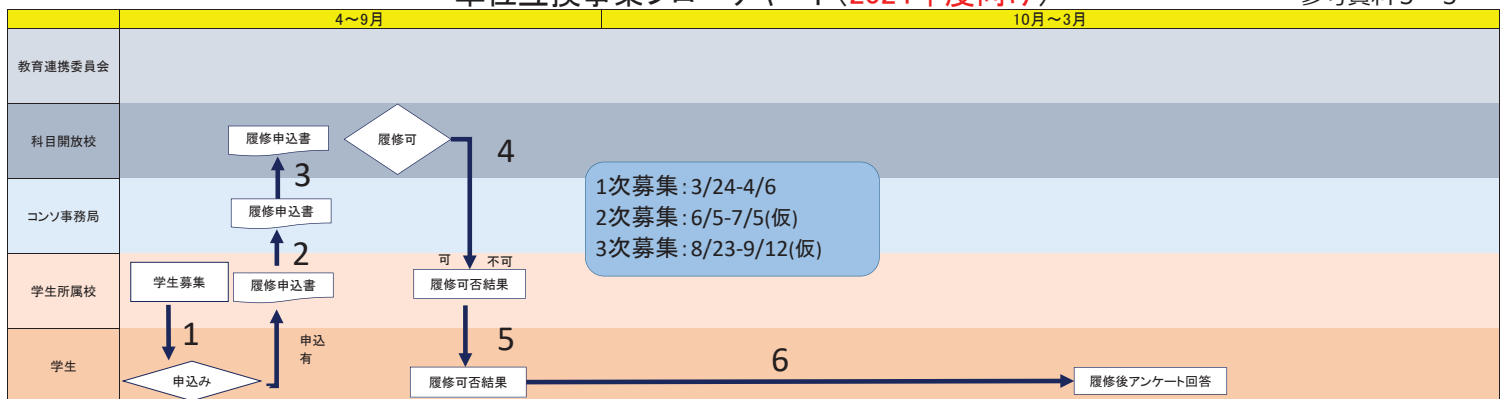
成績通知は所属校より行われます。単位の認定については、科目開放校から通知された成績を所属校の規定に基づき、認定を行います。

成績評価に関する問い合わせについては、科目開放校に直接問い合わせはせず、所属校の担当窓口へ行ってください。

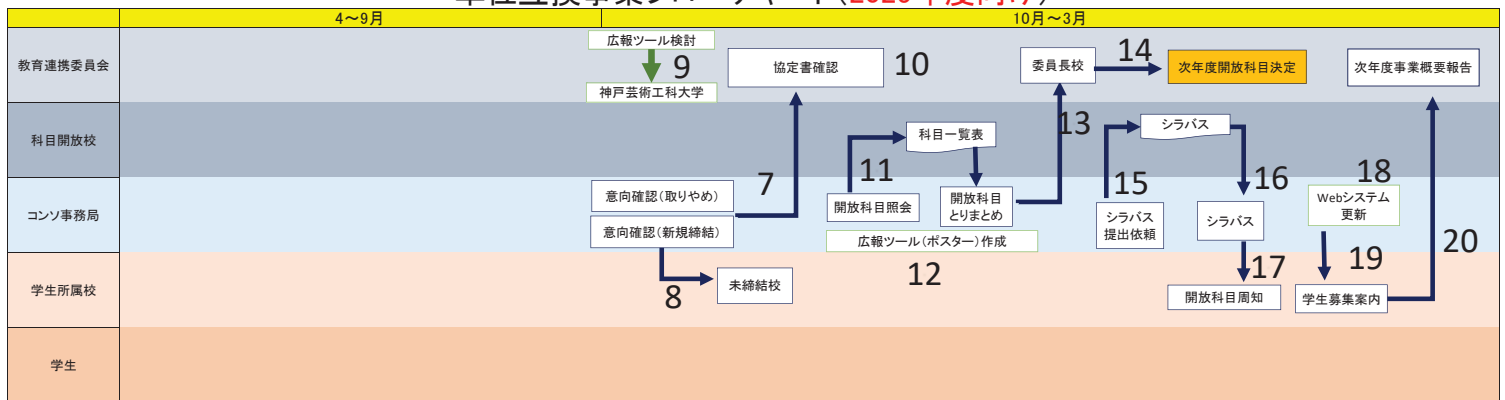
以上

単位互換事業フローチャート(2024年度向け)

参考資料 3-3



単位互換事業フローチャート(2025年度向け)



《 2024年度単位互換事業 科目一覧表》

参考資料3-4

No	二次修業(三次修業)		大学名	開設科目名	分野	担当教	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受入れ人数	開講日曜(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考
	開設科目 (O部)								授業形態	履修上の留意事項	フレンドシップの 提供方法							
1	1		大手前大学	企業会計入門	経済学	坂元 英毅	2	さくら開校キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
2			大手前大学	イメージと物語	文学	大島 浩英	2	さくら開校キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
3			大手前大学	サブカルチャー分析	社会学	石毛 弓	2	さくら開校キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
4			大手前大学	国際社会を知る	社会学	坂本 真司	2	さくら開校キャンパス	オンデマンド型	オンライン教材を見るための通信環境とPCは履修者が準備		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
5			大手前大学	観光学	社会学	海老 良平	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
6			大手前大学	情報メディアと社会Ⅰ	社会学	谷村 要	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
7			大手前大学	香占学の源	史学	森下 章司	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
8			大手前大学	日本近代の都市	史学	尾崎 耕司	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
9			大手前大学	観光の進化するバ	社会学	海老 良平	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
10			大手前大学	英語の音声	語学	石野 尚	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
11	2		大手前短期大学	地域貢献演習Ⅱ	地域研究	神坂 隆江	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
12			大手前短期大学	IT概論A	情報学	佐々木 英洋	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
13			大手前短期大学	アパレル商品の知識	生活科学	島崎 千江子	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
14			大手前短期大学	民法概説	法学	後藤 英一郎	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
15			大手前短期大学	医療事務基礎Ⅰ	健康・スポーツ科学	小橋 千聖	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
16			大手前短期大学	ビジネス実務演習	経済学	山岸 廣子	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	4月12日～7月29日	3月25日～27日	4月9日	9月3日	特別補講および期末試験：7月30日から8月1日
17			大手前短期大学	インテリアエレメント	建築学	藤本 幹也	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
18			大手前短期大学	IT概論B	情報学	佐々木 英洋	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
19			大手前短期大学	マーケティング基礎	経済学	福井 就	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
20			大手前短期大学	建築の歴史	建築学	藤本 幹也	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
21			大手前短期大学	家族の法律	法学	戸田 秀昭	2	さくら開校キャンパス	全て対面	対面授業においても通信環境とPCが必要		通常	3名以内	9月20日～1月27日	9月3日～5日	9月13日	3月3日	特別補講および期末試験：1月28日から1月31日
22				関西国際大学	文化人類学	文化	清水 拓野	2	神戸山手	全て対面	英語での授業に対応できること		通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬
23			関西国際大学	災害と安全(危機管理)	防災	遠光 透子	2	神戸山手	全て対面			通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬	
24			関西国際大学	日本事情(日本社会)	史学	伊藤 尚	2	神戸山手	全て対面			通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬	
25			関西国際大学	日本文化論	文化	上村 和美	2	神戸山手	全て対面			通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬	
26			関西国際大学	地域研究(北米圏)	地域研究	遠藤 孝生	2	神戸山手	全て対面			通常	5名程度	4月8日～7月29日の期間内	3/27～4/8	4/11	8月下旬	
27			関西国際大学	国際政治学	政治学	赤田 好史	2	神戸山手	全て対面			通常	5名程度	4月8日～7月29日の期間内	3/27～4/8	4/11	8月下旬	

No	二次募集/三次募集		大学名	開講科目名	分野	担当教	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受入れ人数	開講日割(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考							
	開講科目 (O印)								視覚映像	履修上の留意事項	フレンド型のみ記載														
											履修方法														
28			関西学院大学	ホテル営業論	経営学	赤田 好史	2	神戸山手	全て対面			通常	5名程度	4月8日～7月29日の期間内	3/27～4/8	4/11	8月下旬								
29			関西学院大学	観光施設デザイン論	建築学	赤田 好史	2	神戸山手	全て対面			通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬								
30			関西学院大学	フードツーリズム論	経営学	赤田 好史	2	神戸山手	全て対面			通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬								
31			関西学院大学	教育制度論	教育学	吉田 武大	2	尼崎	全て対面			通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬								
32			関西学院大学	防災教育	防災	松尾 初恵	2	尼崎	全て対面			通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬								
33			関西学院大学	防災・復興組織論	防災	林 万平	2	三木	全て対面			通常	5名程度	10月1日～1月28日の期間内	3/27～4/8	4/11	2月下旬								
34	4		関西学院大学	AⅠ活用入門 1	情報学	(代) 日波 弘雄	2	—	オンデマンド型	ログイン時に顔認証を行うため、カメラ機能付きのPCが必要		通常	10名以内	4月8日(月)～7月23日(水)の期間内(予定)	3月25日(月)～4月3日(水)	履修申込書受理後3日以内	8月9日								
35			関西学院大学	AⅠ活用入門 2	情報学	(代) 日波 弘雄	2	—	オンデマンド型	ログイン時に顔認証を行うため、カメラ機能付きのPCが必要		通常	10名以内	9月20日(金)～1月17日(金)の期間内(予定)	3月25日(月)～4月3日(水)	履修申込書受理後3日以内	2月18日								
36	5		関西学院短期大学	子ども家庭支援の心理学	心理学	小山 隼	2	西宮聖和キャンパス	全て対面			通常	若干名	9月20日(金)～2月7日(金)の期間内(曜日・時間未定)	8月22日(木)～8月26日(月)※前期は4/5迄	9月6日(金)	2月26日(水)								
37	6		甲南大学	国際関係論 (前)	国際	小西 幸男	2	岡本	全て対面			通常	若干名	4月5日～7月22日 毎週水曜3限	4月1日～4月11日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬								
38			甲南大学	世界の中の日本Ⅰ (前)	国際	小西 幸男	2	岡本	全て対面			通常	若干名	4月5日～7月22日 毎週水曜2限	4月1日～4月11日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬								
39			甲南大学	入門マネジメント (前)	キャリア	西川 耕平	2	岡本	全て対面			通常	若干名	4月5日～7月22日 毎週月曜4限	4月1日～4月11日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬								
40			甲南大学	日本文学史Ⅰa (前)	文学	廣川 晶雄	2	岡本	全て対面			通常	若干名	4月5日～7月22日 毎週金曜3限	4月1日～4月11日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬								
41			甲南大学	環境生物学 (前)	生物学	本多 大輔	2	岡本	全て対面			通常	若干名	4月5日～7月22日 毎週水曜1限	4月1日～4月11日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬								
42			甲南大学	統計入門	経済学	小山 浩樹ほか	2	岡本	全て対面			通常	若干名	4月5日～7月22日 毎週火曜1限	4月1日～4月11日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬								
43			甲南大学	地域政策	地域研究	石川 路子ほか	2	岡本	全て対面			通常	若干名	4月5日～7月22日 毎週火曜2限	4月1日～4月11日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬								
44			甲南大学	地域金融論	地域研究	南地 伸昭	4	岡本	全て対面			通常	若干名	4月5日～7月22日 毎週金曜3・4限	4月1日～4月11日	履修申込期間の3週間後を予定	9月上旬								
45			甲南大学	生体化学 (前)	化学	日井 健二	2	岡本	全て対面			通常	若干名	9月20日～1月20日 毎週金曜4限	9月19日～9月30日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月5日 冬期休講							
46			甲南大学	現代生活と生体化学 (前)	化学	川上 絢司	2	岡本	全て対面			通常	若干名	9月20日～1月20日 毎週金曜4限	9月19日～9月30日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月5日 冬期休講							
47			甲南大学	世界の中の日本Ⅱ (前)	国際	小西 幸男	2	岡本	全て対面			通常	若干名	9月20日～1月20日 毎週水曜2限	9月19日～9月30日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月5日 冬期休講							
48			甲南大学	実践マネジメント (前)	キャリア	西川 耕平	2	岡本	全て対面			通常	若干名	9月20日～1月20日 毎週月曜4限	9月19日～9月30日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月5日 冬期休講							
49			甲南大学	物理化学基礎 (前)	化学	山本 雅博	2	岡本	全て対面			通常	若干名	9月20日～1月20日 毎週水曜1限	9月19日～9月30日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月5日 冬期休講							
50			甲南大学	数学入門	数学	小山 浩樹ほか	2	岡本	全て対面			通常	若干名	9月20日～1月20日 毎週水曜1限	9月19日～9月30日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月5日 冬期休講							
51			甲南大学	政治学入門 (O) (前)	政治学	池田 佳隆	2	岡本	全て対面			通常	若干名	9月20日～1月20日 毎週水曜4限	9月19日～9月30日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月5日 冬期休講							
52			甲南大学	情報英語 (前)	語学	田中 雅博	2	岡本	全て対面			通常	若干名	9月20日～1月20日 毎週火曜1限	9月19日～9月30日	履修申込期間の3週間後を予定	3月上旬	12月24日～1月5日 冬期休講							
53			神戸大学	農産と食卓をつなぐフィールド演習	農学	大山 憲二 他	1	農学研究科附属食料農林水産学教育センター	全て対面	学生保険等必須		集中	15名程度	8/28～8/30	令和6年4月中	申込書受理後から1週間以内	9月中旬	学生保険等必須							
54			神戸大学	臨海実習Ⅰ	海洋	上井 達也 大田 亮 星野 雅和	1	内海城連帯教育研究センター・マリナサイト	全て対面	履修学生は「学生教育研究災害被害保護」等の保険に必ず加入しておくこと。パソコンを持参すること。		集中	2名	令和7年3月(3日4日)	令和6年12月15日	申込書受理後から1週間以内	3月下旬	オンラインにて参加して実習する。経費：参加費および食費として約10,000円 学生保険等必須 ※新型コロナウイルス感染状況により、中止となる可能性あり							

No	二次募集/三次募集		大学名	開講科目名	分野	担当者	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受入れ人数	開講日割(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考							
	募集科目 (O印)								履修形態	履修上の留意事項	フレンド型のみ記載														
											履修方法														
55	7		神戸大学	臨海実習Ⅱ	海洋	上井 達也 大沼 亮 豊野 雅和	1	内海城国連教育 研究センター・ マリンサイト	全て対面	履修学生は「学生教育研究災害被害保護」等の保護に必ず参加して頂くこと。パソコンを持参すること。		集中	4名	令和6年8月(3日4日)	令和6年6月30日	申込書受領から1週間以内	10月上旬	オフサイトで実施して実施する。経費：参加費および食費として約10,000円 ※学生等必参 ※新型コロナウイルス感染状況により、中止となる可能性あり							
56			神戸大学	データサイエンス基礎学	情報学	山田 明	1	オンライン	オンデマンド型	・オンライン教育を受けるための通信環境とPCは履修者が用意 ・授業はオンデマンドだが、各回の試験について、4.12回の試験にのみ、対面型を参照		通常	50人程度	第4クォーター(12/2~2/4)の期間内、各試験日の詳細についてはシラバスを参照	3次募集(9月ごろ)まで	申込書受領から1週間以内	3月中旬								
57	8		神戸海星女子学院大学	神戸学	地域研究	箕野 聡子	2	本学	全て対面	通常		通常	5名程度 (女性のみ)	2024年9月24(水)~2025年1月27日(水)(詳細は別途連絡)	9/5~10/8前回は4/12迄	履修申込書受領から7日後		履修登録期間については相対可。							
58	9		神戸学院大学	経営戦略論Ⅰ	社会学	田中 康介	2	ポートアイランドキャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	50名	4/9~7/23 毎週火曜4時限 15:30~17:00	4/1~4/10	4/12(金) 予定	9/4(水) 予定	4/30は全曜日科目授業日のため、火曜日科目は授業なし。							
59			神戸学院大学	経営戦略論Ⅱ	社会学	田中 康介	2	ポートアイランドキャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	50名	9/24~1/7 毎週火曜4時限 15:30~17:00	9/1~9/12	9/13(金) 予定	2/21(金) 予定	12/25~1/5冬期休業							
60			神戸学院大学	地域学入門A (神戸学入門)	史学	鶴岡 昌男	2	ポートアイランドキャンパス	フレンド型	シラバスで要確認	原則、対面授業ですが、数回の出張時に授業録画を配信。	通常	10名程度	4/9~7/23 毎週火曜1時限 9:30~11:00	4/1~4/10	4/12(金) 予定	9/4(水) 予定	4/30は全曜日科目授業日のため、火曜日科目は授業なし。							
61			神戸学院大学	上級中国語ⅠC	語学	池田 磨左文	1	有楽キャンパス	全て対面	中国語特定試験4級相当以上の成績能力を有する		通常	制限無し	4/10~7/24 毎週水曜2時限 11:15~12:45	4/1~4/10	4/12(金) 予定	9/4(水) 予定	5/1は土曜日科目授業日のため、火曜日科目は授業なし。							
62			神戸学院大学	上級中国語ⅡC	語学	池田 磨左文	1	ポートアイランドキャンパス	全て対面	中国語特定試験4級相当以上の成績能力を有する		通常	制限無し	9/23~1/20 毎週月曜3時限 13:45~15:15	9/1~9/12	9/13(金) 予定	2/21(金) 予定	9/23授業あり、11/1~11/4大学祭、12/25~1/5冬期休業							
63			神戸学院大学	文章読解Ⅴ	その他	岡村 裕美	2	ポートアイランドキャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	9/25~1/15 毎週水曜1時限 9:30~11:00	9/1~9/12	9/13(金) 予定	2/21(金) 予定	分野：教育 12/25~1/5冬期休業							
64			神戸学院大学	数的思考ⅡB (初級数学)	数学	中村 光宏	2	ポートアイランドキャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	4/11~7/18 毎週木曜1時限 9:30~11:00	4/1~4/10	4/12(金) 予定	9/4(水) 予定								
65			神戸学院大学	数的思考ⅡA (初級数学)	数学	中村 光宏	2	ポートアイランドキャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	9/20~1/17 毎週金曜1時限 9:30~11:00	9/1~9/12	9/13(金) 予定	2/21(金) 予定	11/1~11/4大学祭、12/25~1/5冬期休業							
66			神戸学院大学	現代の医療と福祉Ⅱ	健康・スポーツ科学	高梨 薫	2	ポートアイランドキャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	4/8~7/22 毎週月曜1時限 9:30~11:00	4/1~4/10	4/12(金) 予定	9/4(水) 予定	4/29、7/15授業あり。							
67			神戸学院大学	現代の医療と福祉Ⅰ	健康・スポーツ科学	高梨 薫	2	ポートアイランドキャンパス	全て対面	シラバスで要確認		通常	10名程度	9/20~1/17 毎週金曜2時限 11:15~12:45	9/1~9/12	9/13(金) 予定	2/21(金) 予定	11/1~11/4大学祭、12/25~1/5冬期休業							
68	10		神戸芸術工科大学	環境デザイン概論	建築学	横田、佐野、瀧田、長束、藤山、山之内、萩原、長野、堀、朴	2	本学	全て対面			通常	10名程度	4/10~7/31 毎週水曜2時限	4/1~4/10	4/15頃	9/11頃	実施教室5101							
69			神戸芸術工科大学	自然とデザイン	芸術学	田頭	2	本学	全て対面			通常	5名程度	9/25~1/22 毎週水曜2時限	9/11~9/23	9/27頃	2/25頃	1225							
70			神戸芸術工科大学	イラストレーション論	芸術学	寺門・久本	2	本学	全て対面			通常	5名程度	9/26~1/23 毎週木曜1時限	9/11~9/23	9/27頃	2/25頃	7101							
71			神戸芸術工科大学	アニメーション作品概論	芸術学	原口	2	本学	全て対面			通常	5名程度	4/10~7/31 毎週水曜4・5時限	4/1~4/10	4/15頃	9/11頃	1114							
72			神戸芸術工科大学	まんがメディア文化史	芸術学	川中	2	本学	全て対面			通常	10名程度	9/26~1/23 毎週木曜2時限	9/11~9/23	9/27頃	2/25頃	1106							
73			神戸芸術工科大学	ファッションマーチャンダイジング	芸術学	瀬能	2	本学	全て対面			通常	5名程度	4/9~7/30 毎週火曜2時限	4/1~4/10	4/15頃	9/11頃	6318							
74			神戸芸術工科大学	生薬・工芸デザイン概論	芸術学	沼崎、内井、安藤、現明、金松、田部、延田、金沢、橋、友光、森島、田口、三島、渡辺貴	2	本学	全て対面			通常	5名程度	4/9~7/30 毎週火曜1時限	4/1~4/10	4/15頃	9/11頃	1225							
75			神戸芸術工科大学	西洋美術史②	芸術学	岡本	2	本学	全て対面			通常	5名程度	9/20~1/24 毎週金曜3時限	9/11~9/23	9/27頃	2/25頃	吉武記念ホール							
76	11		神戸市外国語大学	英語学概論2	言語学	山口 治康教授 本多 彰教授	2	本学	フレンド型	第1回~第7回はオンデマンド授業。第8回以降は対面授業。		通常	10名程度	前期(4/8~8/2)	2024/4/8~2024/4/14	履修可否受領から3日後	9月下旬								
77			神戸市外国語大学	英米文学・文化研究入門	文学	井上 詩歩子講師 他(リレー)	2	本学	全て対面			通常	10名程度	前期(4/8~8/2)	2024/4/8~2024/4/14	履修可否受領から3日後	9月下旬								
78			神戸市外国語大学	医療通訳・コーディネーター入門	その他	堀上 雅明特任准教授 他	2	本学	全て対面			通常	10名程度	後期(9/1~2/7)	2024/9/20~2024/9/26	履修可否受領から3日後	3月初旬	分野：通訳							
79			神戸市外国語大学	スポーツ文化論1	健康・スポーツ科学	常行 泰子准教授	2	本学	全て対面	学内外でのフィールドワークや実習(参加費あり)を実施するので、土日祝に集みの授業を行う機会があります。各自で日程調整していただく必要があります。		通常	10名程度	前期(4/8~8/2)	2024/4/8~2024/4/14	履修可否受領から3日後	9月下旬								

No	二次募集/三次募集		大学名	開校科目名	分野	担当教	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受入れ人数	開講日程(予定)	履修登録期間	履修可否結果の通知日	成績発表の時期	備考	
	開校科目 (O印)	開講方法																	
		授業形態							履修上の留意事項	フレンドシップの記載 授業方法									
80			神戸市外国語大学	スポーツ文化論2	健康・スポーツ科学	常行 泰子准教授	2	本学	全て対面	学内外でのフィールドワークや観戦等(参加必須)を実施するので、1台の車や授業を行う機会があります。各自で対応確認していただく必要がります。		通常	10名程度	後期(9/1~2/7)	2024/9/20~2024/9/26	履修可否候補から53日後	3月初旬		
81			神戸市外国語大学	ヨーロッパ地域論入門	国際	並河 崇子教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	前期(4/8~8/2)	2024/4/8~2024/4/14	履修可否候補から53日後	9月下旬		
82			神戸市外国語大学	ヨーロッパ地域論	国際	並河 崇子教授	2	本学	全て対面			通常	5名程度	後期(9/1~2/7)	2024/9/20~2024/9/26	履修可否候補から53日後	3月初旬		
83	12		神戸市看護大学	公衆衛生学	健康・スポーツ科学	神谷 訓康	1	本学	全て対面			通常	10名以内	4月~5月・水曜日3限(全7回)	4/5~4/12	4/8	9月初旬		
84			神戸市看護大学	疫学	健康・スポーツ科学	神谷 訓康	1	本学	全て対面			通常	10名以内	4月~5月・水曜日3限(全7回)	4/5~4/12	4/8	9月初旬		
85			神戸市看護大学	医療・看護制度論	看護学	林千名、花井理紗	1	本学	全て対面			通常	5名以内	4月~5月・水曜日4限(全7回)	4/5~4/12	4/8	9月初旬		
86			神戸市看護大学	看護管理学Ⅰ	看護学	林千名、花井理紗	1	本学	全て対面			通常	5名以内	11月~1月・水曜日2限(全7回)	4/5~4/12	4/8	3月初旬		
87			神戸松蔭女子学院大学	ビジネス中国語A	語学	古川 典代	1	本学	全て対面	中国語検定試験4級相当以上の中国語力を有すること		通常	3名以内	4月8日~8月5日 毎週火曜2限(10:40~12:10)	3月25日~4月5日	4月中旬	9月上旬	女性のみ	
88		神戸松蔭女子学院大学	ビジネス中国語B	語学	古川 典代	1	本学	全て対面	中国語検定試験4級相当以上の中国語力を有すること		通常	3名以内	9月26日~2025年2月8日 毎週火曜2限(10:40~12:10)	3月25日~4月5日	4月中旬	2025年2月下旬	女性のみ		
89		神戸松蔭女子学院大学	韓国語コミュニケーションA	語学	金 智英	1	本学	全て対面	韓国語中級レベルに該当する人		通常	3名以内	4月8日~8月5日 毎週木曜3限(13:10~14:40)	3月25日~4月5日	4月中旬	9月上旬	女性のみ		
90		神戸松蔭女子学院大学	韓国語コミュニケーションB	語学	金 智英	1	本学	全て対面	韓国語中級レベルに該当する人		通常	3名以内	9月26日~2025年2月8日 毎週木曜3限(13:10~14:40)	3月25日~4月5日	4月中旬	2025年2月下旬	女性のみ		
91	13		神戸松蔭女子学院大学	小説と(パフォーマンス)の歴史	芸術学	桥井 智英	2	本学	全て対面			通常	3名以内	4月8日~8月5日 毎週月曜2限(10:40~12:10)	3月25日~4月5日	4月中旬	9月上旬	女性のみ	
92			神戸松蔭女子学院大学	演劇と現代社会	芸術学	桥井 智英	2	本学	全て対面			通常	3名以内	9月26日~2025年2月8日 毎週月曜2限(10:40~12:10)	3月25日~4月5日	4月中旬	2025年2月下旬	女性のみ	
93			神戸松蔭女子学院大学	対人コミュニケーション論	心理学	侍田 昌二	2	本学	全て対面	全ての授業科目でPCを持参してください		通常	3名以内	9月26日~2025年2月8日 毎週金曜4限(14:50~16:20)	3月25日~4月5日	4月中旬	2025年2月下旬	女性のみ	
94			神戸松蔭女子学院大学	神戸論	地域研究	江 弘毅	2	本学	全て対面	全ての授業科目でPCを持参してください		通常	3名以内	4月8日~8月5日 毎週月曜2限(10:40~12:10)	3月25日~4月5日	4月中旬	9月上旬	女性のみ	
95			神戸松蔭女子学院大学	神戸の食と文化	地域研究	江 弘毅	2	本学	全て対面	全ての授業科目でPCを持参してください		通常	3名以内	4月8日~8月5日 毎週木曜1限(9:00~10:30)	3月25日~4月5日	4月中旬	9月上旬	女性のみ	
96		神戸松蔭女子学院大学	インテリア史	建築学	米原 麗子	2	本学	全て対面	PCを持参する 授業科目が異なります (シラバス参照)		通常	3名以内	9月26日~2025年2月8日 毎週火曜3限(13:10~14:40)	3月25日~4月5日	4月中旬	2025年2月下旬	女性のみ		
97	14		神戸女子短期大学	衣生活の知識	生活科学	古田 貴美子 本保 弘子	1	内キャンパス	全て対面	オンライン教材を見るための遠隔環境とPCは履修者が用意		通常	5名程度	10/2(水)~1/8(水)の毎週水曜日(1/1を除く)	9/2~9/5※前期は4/12迄	9/24まで(予定)	2/12(水)予定		
98			神戸女子短期大学	食品科学	生活科学	平田 庸子 中村 智英子	2	内キャンパス	全て対面	オンライン教材を見るための遠隔環境とPCは履修者が用意		通常	5名程度	9/27(金)~1/10(金)の毎週金曜日(11/8、12/27、1/3を除く)	9/2~9/5※前期は4/12迄	9/24まで(予定)	2/12(水)予定		
99		神戸親和大学	保育内容総論	教育学	猪田 裕子	2	鈴鹿台	全て対面			通常	若干名	9月27日(金)~2月7日(金)の期間内	4/12	4/12	2月上旬			
100		神戸親和大学	児童心理学	教育学	金山 健一	2	鈴鹿台	全て対面			通常	若干名	9月27日(金)~2月7日(金)の期間内	4/12	4/12	2月上旬			
101		神戸親和大学	子どもと絵本	教育学	高峰 一夫	2	鈴鹿台	全て対面			通常	若干名	9月27日(金)~2月7日(金)の期間内	4/12	4/12	2月上旬			
102		神戸親和大学	海外教育事情	教育学	森 真理	2	鈴鹿台	全て対面			通常	若干名	4月8日(月)~8月2日(金)の期間内	4/12	4/12	8月下旬			
103	15		神戸親和大学	異文化コミュニケーション論	教育学	新藤 順夫	2	鈴鹿台	全て対面			通常	若干名	4月8日(月)~8月2日(金)の期間内	4/12	4/12	8月下旬		
104			神戸親和大学	防災・安全教育	教育学	中瀬 茂雄	2	鈴鹿台	全て対面			通常	若干名	9月27日(金)~2月7日(金)の期間内	4/12	4/12	2月上旬		
105			神戸親和大学	自然環境と心理	心理学	木下 藤樹	2	鈴鹿台	全て対面			集中	若干名	8/5(月)~8/7(水)	4/12	4/12	8月下旬		
106			神戸親和大学	スポーツ運動学	健康・スポーツ科学	平尾 剛	2	鈴鹿台	全て対面			通常	若干名	4月8日(月)~8月2日(金)の期間内	4/12	4/12	8月下旬		

No	二次募集/三次募集		大学名	開設科目名	分野	担当教	単位数	開講キャンパス	開講方法			開講形態	受入れ人数	開講日数(予定)	開講登録期間	履修可否延長の通知日	成績発表の時期	備考
	開設科目 (O印)								授業形態	履修上の留意事項	フレンド型のみ記載 授業方法							
107			神戸親和大学	子どもから見た世界	心理学	大島 剛	2	鈴葉台	全て対面			通常	若干名	9月27日(金)～2月7日(金)の 期間内	4/12	4/12	2月上旬	
108			神戸親和大学	経済心理学	心理学	辻川 典文	2	鈴葉台	全て対面			通常	若干名	4月8日(月)～8月2日(金)の 期間内	4/12	4/12	8月下旬	
109	16		神戸常盤大学	空間保健推進活動Ⅰ	芸術	鈴木 高史	1	カサノオグサノ カサノオグサノ カサノオグサノ カサノオグサノ	全て対面	必修授業要素を必修のこと		集中	若干名	2024年5月1日～9月30日の期間 内	4月30日(火)まで	5月10日(金)まで	10月下旬予定	
110			兵庫県立大学	災害リスクマネジメント	防災	紅谷 昇平	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			通常	若干名	4/13～6/8 土曜1・2限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	8月下旬	
111			兵庫県立大学	減災復興政策概論	防災	青田 良介	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			通常	若干名	6/8～7/27 土曜1・2限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	8月下旬	
112			兵庫県立大学	まちづくりと減災復興	防災	澤田 雅浩	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			通常	若干名	4/13～6/8 土曜1・2限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	8月下旬	
113			兵庫県立大学	気象・気候変動と災害	防災	谷口 博	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			通常	若干名	6/8～7/27 土曜1・2限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	8月下旬	
114			兵庫県立大学	防災実践講座	防災	浦川 豪	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			集中	若干名	8/27～8/29 1限～5限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	9月中旬	
115			兵庫県立大学	災害と人と健康	防災	松川 杏華	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			通常	若干名	10/5～12/7 土曜1・2限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	2月下旬	
116			兵庫県立大学	防災教育とリスクコミュニケーション	防災	阪本 真由美	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			通常	若干名	10/5～12/7 土曜1・2限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	2月下旬	
117			兵庫県立大学	地震津波と防災・減災	防災	平井 敬	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			通常	若干名	12/7～2/1 土曜1・2限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	2月下旬	
118			兵庫県立大学	自然災害と観光復興	防災	馬場 美智子	2	神戸防災 キャンパス	全て対面			通常	若干名	12/7～2/1 土曜1・2限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	2月下旬	
119			兵庫県立大学	保険論	その他	田中 隆	2	神戸商科キャン パス	全て対面			通常	若干名	4/18～8/5 月曜5限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	8月下旬	保険論
120			兵庫県立大学	健康スポーツマネジメント論Ⅰ	健康・スポーツ科学	松村 浩貴	2	神戸商科キャン パス	全て対面			通常	若干名	4/11～8/1 木曜5限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	8月下旬	
121			兵庫県立大学	地域社会とマネジメント	経営学	小宮 一高	2	神戸商科キャン パス	ハイレックス型	オンライン受講の場合、オンライン教材を閲覧するための 遠隔環境とPCは履修者が 用意		通常	若干名	10/7～2/10 月曜5限	3/25～4/6	履修申込書受付から 3日後	8月下旬	
122			流通科学大学	投資戦略論	経営学	小笠原 宏	2	流通科学大学	全て対面			通常	特になし	前期：4月9日(水)～7月16日 (水)	4/5(金)	4/8	8月16日	火3限
123			流通科学大学	工業技術論	機械工学	持田 信治	2	流通科学大学	全て対面			通常	特になし	前期：4月12日(金)～7月23日 (水)	4/5(金)	4/8	8月16日	金2限
124			流通科学大学	キャリア実践論	キャリア	前川 明	2	流通科学大学	全て対面	3年生対象		通常	特になし	後期：9月25日(水)～1月8日 (水)	9/18(水)	9/20	2月6日	水1限
125			流通科学大学	国際経済論	経済学	竹内 健行	2	流通科学大学	全て対面			通常	特になし	後期：9月26日(木)～1月9日 (木)	9/18(水)	9/20	2月6日	木3限
126			流通科学大学	経営学入門	経営学	今西 珠美	2	流通科学大学	全て対面			通常	特になし	後期：9月27日(金)～1月10日 (金)	9/18(水)	9/20	2月6日	金1限
127			流通科学大学	証券論	経済学	福田 司文	2	流通科学大学	全て対面			通常	特になし	後期：9月23日(月)～1月6日 (月)	9/18(水)	9/20	2月6日	月5限

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 単位互換開放科目 シラバス

参考資料3-5-1

科目名 (英語表記)		担当教員	
定 員		単位数	
学校名		連絡先	
開講学期		開講期間	
曜日・時限		教 室	
履修条件		キャンパス	
授業形態	対面授業 ・ 非対面授業オンライン型 ・ 非対面授業オンデマンド型 ・ 対面, 非対面授業併用型 ・ その他(ご記入願います:)		
授業方法	講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習 ・ 実技		
学習目標			
授業概要			
授業時間学習 以外の学習 (準備学習含む)			
評価方法			
教科書			
参考書			
特記事項			
授業計画			

大学コンソーシアムひょうご神戸
2024 年度 単位互換開放科目 シラバス

参考資料3-5-2

科目名 (英語表記)		担当教員	
定 員		単位数	
大学名		連絡先	
開講学期		開講期間	
曜日・時限		教 室	
履修条件		キャンパス	
授業形態	対面授業 ・ 非対面授業オンライン型 ・ 非対面授業オンデマンド型 ・ 対面, 非対面授業併用型 ・ その他(ご記入願います:)		
授業方法	講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習 ・ 実技		
学習目標	※以下 URL をクリックしてください		
授業概要			
授業時間学習 以外の学習 (準備学習含む)			
評価方法			
教科書			
参考書			
特記事項			
授業計画			

2024年度単位互換事業 履修申込状況

参考資料3-6

1次募集(募集期間3/25-4/4)												
募集校No	科目No	提供校	開放科目名	分類	単位数	授業形態	開講日程(予定)	送り出し校	申込者数(人)	履修可校	履修可(人)	
1	1	大手前大学	企業会計入門	経済学	2	オンデマンド型	4月12日～7月29日	神戸市外国語大学(1)	1	神戸市外国語大学(1)	1	
	2		イメージと物語	文学	2	オンデマンド型	4月12日～7月29日	神戸市外国語大学(1)、神戸芸術工科大学(1)	2	神戸市外国語大学(1)	1	
	3		サブカルチャー分析	社会学	2	オンデマンド型	4月12日～7月29日	神戸芸術工科大学(1)	1	-	0	
	4		国際社会を知る	社会学	2	オンデマンド型	4月12日～7月29日	神戸市外国語大学(1)	1	神戸市外国語大学(1)	1	
2	5	大手前短期大学	I T概論A	情報学	2	全て対面	4月12日～7月29日	神戸市外国語大学(1)	1	-	0	
	6		医療事務基礎Ⅰ	健康・スポーツ科学	2	全て対面	4月12日～7月29日	神戸海星女子学院大学(1)	1	-	0	
	7		I T概論B	情報学	2	全て対面	9月20日～1月27日	神戸市外国語大学(1)	1	-	0	
3	8	関西国際大学	日本文化論	文化	2	全て対面	10月1日～1月28日の期間内	神戸市外国語大学(1)	1	神戸市外国語大学(1)	1	
4	9	関西学院大学	AⅠ活用入門 1	情報学	2	オンデマンド型	4月8日(月)～7月23日(火)の期間内(予定)	神戸市外国語大学(3)	3	神戸市外国語大学(3)	3	
	10	関西学院大学	AⅠ活用入門 2	情報学	2	オンデマンド型	9月20日(金)～1月17日(金)の期間内(予定)	神戸市外国語大学(1)	1	※「AⅠ活用入門 1」と重複履修不可のため取消	0	
5	11	甲南大学	入門マネジメント(前)	キャリア	2	全て対面	4月5日～7月22日 毎週月曜4限	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	
	12	甲南大学	地域政策	地域研究	2	全て対面	4月5日～7月22日 毎週火曜2限	兵庫県立大学(1)	1	兵庫県立大学(1)	1	
	13	甲南大学	生命化学(後)	化学	2	全て対面	9月20日～1月20日 毎週金曜4限	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	
	14	甲南大学	情報英語(後)	語学	2	全て対面	9月20日～1月20日 毎週火曜1限	神戸市外国語大学(1)	1	神戸市外国語大学(1)	1	
6	15	神戸大学	農産と食卓をつなぐフィールド実習	農学	1	全て対面	8/28～8/30	兵庫県立大学(2)、神戸学院大学(1)	3	兵庫県立大学(2)、神戸学院大学(1)	3	
	16	神戸大学	データサイエンス基礎学	情報学	1	オンデマンド型	第4クォーター(12/2～2/4)の期間内 ※試験日等の詳細についてはシラバスを参照	神戸市外国語大学(1)	1	神戸市外国語大学(1)	1	
7	17	神戸学院大学	上級中国語ⅡC	語学	1	全て対面	9/23～1/20 毎週月曜3時限 13:45～15:15	神戸市外国語大学(1)	1	神戸市外国語大学(1)	1	
8	18	神戸芸術工科大学	環境デザイン概論	建築学	2	全て対面	4/10～7/31 毎週水曜2時限	神戸市外国語大学(2)	2	神戸市外国語大学(2)	2	
	19	神戸芸術工科大学	アニメーション作品表現論	芸術学	2	全て対面	4/10～7/31 毎週水曜4・5時限	神戸市外国語大学(2)、流通科学大学(1)	3	神戸市外国語大学(2)、流通科学大学(1)	3	
	20	神戸芸術工科大学	ファッションマーチャンダイジング	芸術学	2	全て対面	4/9～7/30 毎週火曜2時限	神戸市外国語大学(1)	1	神戸市外国語大学(1)	1	
	21	神戸芸術工科大学	西洋美術史②	芸術学	2	全て対面	9/20～1/24 毎週金曜3時限	神戸市外国語大学(1)	1	神戸市外国語大学(1)	1	
9	22	神戸市外国語大学	英米文学・文化研究入門	文学	2	全て対面	前期(4/8～8/2)	神戸芸術工科大学(1)	1	神戸芸術工科大学(1)	1	
	23	神戸市外国語大学	医療通訳・コーディネーター入門	その他	2	全て対面	後期(9/1～2/7)	神戸市看護大学(16)、関西学院大学(1) 神戸芸術工科大学(1)	18	神戸市看護大学(16)、関西学院大学(1) 神戸芸術工科大学(1)	18	
10	24	神戸親和大学	異文化コミュニケーション論	教育学	2	全て対面	4月8日(月)～8月2日(金)の期間内	神戸芸術工科大学(1)	1	神戸芸術工科大学(1)	1	
	25	神戸親和大学	自然環境と心理	心理学	2	全て対面	8/5(月)～8/7(水)	姫路大学(1)	1	姫路大学(1)	1	
11	26	兵庫県立大学	減災復興政策概論	防災	2	全て対面	6/8～7/27 土曜1・2限	神戸市看護大学(1)	1	神戸市看護大学(1)	1	
	27	兵庫県立大学	防災実践講座	防災	2	全て対面	8/27～8/29 1限～5限	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	神戸松蔭女子学院大学(1)	1	
12	28	流通科学大学	投資戦略論	経営学	2	全て対面	前期:4月9日(火)～7月16日(火)	神戸芸術工科大学(1)	1	神戸芸術工科大学(1)	1	
計	12	28						計	53	計	47	

1、2024年度科目開放校と科目開放数について(計18大学127科目)

(1次募集) 科目開放校: 18校、科目開放数 127科目

2、2024年度履修者について

1次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	12校28科目	10校53名※	関西学院大学(1)・神戸海星女子学院大学(1)・神戸学院大学(1)・神戸芸術工科大学(6)・神戸市外国語大学(19) 神戸市看護大学(17)・神戸松蔭女子学院大学(3)・姫路大学(1)・兵庫県立大学(3)・流通科学大学(1)
履修可	12校23科目	9校47名※	関西学院大学(1)・神戸学院大学(1)・神戸芸術工科大学(4)・神戸市外国語大学(16) 神戸市看護大学(17)・神戸松蔭女子学院大学(3)・姫路大学(1)・兵庫県立大学(3)・流通科学大学(1)
履修不可	3校6科目	3校6名※	科目開放校判断(3)、科目重複のため取消(1)、期間外の申込み(2)

※科目毎の履修申込者の総数(のべ人数)

※履修可となった授業形態は、対面40人、オンデマンド7名(計47名)である。

(参考)

1、2023年度科目開放校と科目開放数について(計17校82科目)

(1次募集) 科目開放校: 17校、科目開放数82科目、(2次募集) 科目開放校: 5校、科目開放数13科目、(3次募集) 科目開放校: 5校、科目開放数18科目

2、2023年度履修者について

1次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	5校8科目	6校11名	関西国際大学(1)・神戸海星女子学院大学(2)・神戸学院大学(2)・神戸松蔭女子学院大学(3)・姫路大学(1)・兵庫県立大学(2)
履修可	4校7科目(※)	6校10名	関西国際大学(1)・神戸海星女子学院大学(2)・神戸学院大学(2)・神戸松蔭女子学院大学(3)・姫路大学(1)・兵庫県立大学(1)
履修不可	1校1科目	1校1名	募集期間終了後の応募により(1)
2次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	1校3科目	2校5名	神戸学院大学(4)・兵庫県立大学(1)
履修可	1校3科目	2校5名	神戸学院大学(4)・兵庫県立大学(1)
履修不可	なし	なし	-
3次募集	科目	申込者	学生内訳
履修申込	1校1科目	1校1名	兵庫県立大学(1)
履修可	1校1科目	1校1名	兵庫県立大学(1)
履修不可	なし	なし	-

※履修可となった授業形態は、対面10人、オンデマンド3名、オンライン2名、ブレンド1名(計16名)である。

<ワークショップ>

大学eラーニング協議会

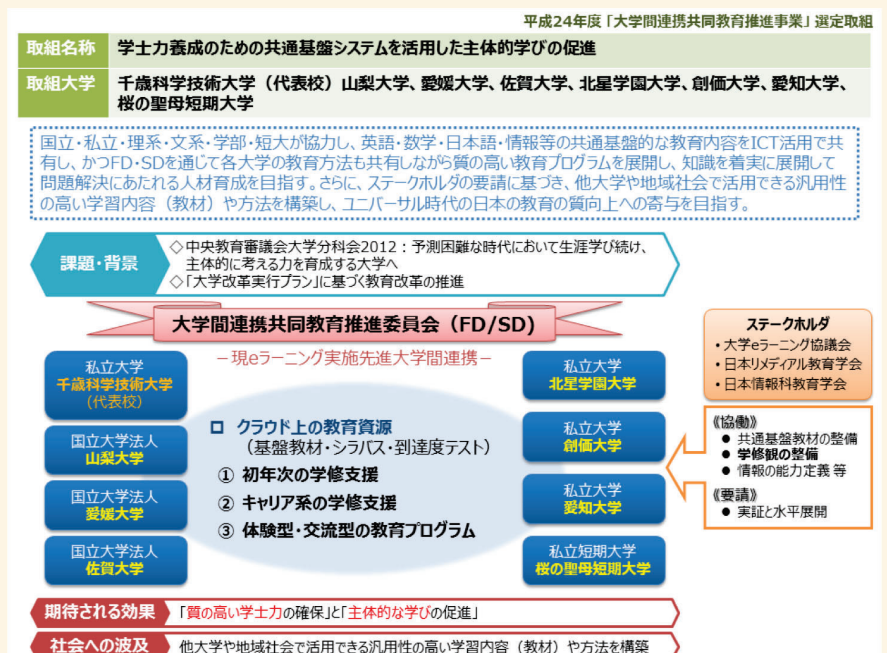
教材共有と共通基盤教育システム

運用方法を中心に, Ver. 20190314

共有教材の整備

入学前後や初年次の基礎教育部分にむけて、
各高等教育機関を中心に横断的に利用できるよう狙って整備

eラーニング先進校の
ワーキンググループ
による開発教材が
ベースとなっている
(文部科学省事業)



教材の種類

分野	単元や内容	種別	数
高校情報	情報活用の実践力 情報の科学的な理解 情報社会に参画する態度	演習	約200問
中学数学	1～3年の基礎的内容	演習 解説	約950問 約300ページ
高校数学	1～3年の基礎的内容	演習 解説	約1850問 約650ページ
大学数学	微分積分（基礎および理系向け） 線形代数 統計学，数理統計，データ解析的解析	演習 解説 解説	約200問 約650ページ 約50ページ

※教材数は整備・再編等により変動するため、目安としてご覧ください

※一部の解説には Adobe Flash プラグインが必要です

⇒ 2018年度は、中学・高校数学の解説の脱Flash化（約800ページ）が進む

教材の種類

分野	単元や内容	種別	数
日本語	漢字（読み・書き），語義， 四字熟語，ことわざなど	演習	約1200問
SPI対策	言語能力・非言語能力	演習	約250問
中学英語	英文法の基礎	演習	約1200問
大学英語	リメディアル英語	演習	約250問

※教材数は整備・再編等により変動するため、目安としてご覧ください

※一部の解説には Adobe Flash プラグインが必要です

教材の種類

- 入学時・2年次の学生の実力を測るためのテスト
(マークシート用・Moodleテスト用)

分野	単元や内容
情報	情報リテラシー (初年次・2年次共通)
数学	数的指向 (文系・短大等むけ) 理系1 (高校数学2Bレベル) の3種類 理系2 (高校数学3Cレベル)
日本語	初年次 1種類 2年次 2種類 (試験時間が異なる)
大学英語	初年次 1種類 2年次 2種類 (リスニングの有無が異なる)
学習観	学びの意欲を自己診断するアンケート (初年次・2年次共通)

教材利用の費用

教材を利用したい教育機関は、大学eラーニング協議会に加盟の上、**教材利用料 (年額7万円)** の費用が必要

- ⇒ 教材の改修、教材配信用の共通基盤教育システム (後述) の費用として充てられる
- ⇒ 利用を検討したい大学には、**原則1年間の無償試用期間**を用意
2018年度は、28機関が利用、10機関が試月中

出版社等の著作権物を用いた、拡張版の教材も用意
(利用の場合は上記と別途に著作利用料が必要)

例：TOEIC対策 **演習・教科書** (要別途費用)

マクミランランゲージハウス社の教材
(TOEIC 200～500, Red～Indigo)
演習約2700問、教科書約200ページ

演習の例 (Moodle)

標準のMoodleテスト形式で利用

問題 1

未解答

最大評点 5.00

🚩 問題にフラグを付ける

✎ 問題を編集する

$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ で、 $\sin \theta = \frac{2}{3}$ のとき、 $\cos \theta, \tan \theta$ を求めなさい。

$$\cos \theta = \frac{\sqrt{【1】}}{【2】}, \tan \theta = \frac{【3】\sqrt{【4】}}{【5】}$$

【1】 :

【2】 :

【3】 :

【4】 :

【5】 :

問題 2

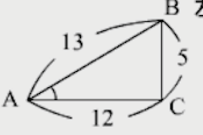
未解答

最大評点 6.00

🚩 問題にフラグを付ける

✎ 問題を編集する

B 左の図のような三角形において次を求めなさい。



$$\sin A = \frac{【1】}{【2】}, \cos A = \frac{【3】}{【4】}, \tan A = \frac{【5】}{【6】}$$

【1】 :

演習の例 (Solomon)

独自のWebシステム（後述）で利用

キャリア支援 > SPI対策 > 言語能力問題 > 二語の関係

二語の関係 (進捗率: 0%) □ 自動的

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?

次の二語の関係を考え、同じ関係のものを選びなさい。

扇風機：羽

A 大工：建築
B 日傘：遮光
C 自転車：タイヤ
D セメント：コンクリート

D

次のヒント1/3 解答す

キャリア支援 > SPI対策 > 言語能力問題 > 二語の関係

二語の関係 (進捗率: 0%) □ 自動

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?

扇風機：羽

→部分の関係 「羽は扇風機の一部である」

A 大工：建築
→仕事の関係 「建築は大工の仕事である」
B 日傘：遮光
→用途の関係 「遮光のために日傘を用いる」
C 自転車：タイヤ
→部分の関係 「タイヤは自転車の一部である」
D セメント：コンクリート
→原料の関係 「コンクリートの原料はセメントである」

問題

解説の例

標準数学 > 高校1年 > 2次関数 > 2次関数の最大・最小

式に文字係数を含む2次関数の最大・最小 ☐ 自動的に拡大縮小する

■ 式に文字係数を含む2次関数の最大・最小

$y = x^2 - 2ax + a^2 + 1$
 $y = (x - a)^2 + 1$

2次関数の方程式の係数に文字が含まれる場合
 例) 2次関数 $y = x^2 - 2ax + a^2 + 1$ ($0 \leq x \leq 2$)
 の最大値・最小値を求めましょう。

左の図からわかるように、 a の値によってグラフは移動し
 1つに定まりません。(頂点は $(a, 1)$ 、軸は $x = a$)
 そこで、 a の値で場合分けをして最大値・最小

また、 $y = f(x) = (x - a)^2 + 1$ とおきます。
 このとき、たとえば $f(0)$ は、 $y = (x - a)^2$
 $x = 0$ のときの y の値を示します。

(I) $a < 0$ のとき

01.基本事項

1 2 3 4 5

▼ 2. 総和

a. $\sum$ の意味：

$$\sum_{k=1}^5 a_k = a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5, \quad \sum_{k=1}^n a_k = a_1 + a_2 + \cdots + a_n$$

b. 自然数のべき乗の公式：

$$\sum_{k=1}^n k = \frac{n(n+1)}{2}, \quad \sum_{k=1}^n k^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1), \quad \sum_{k=1}^n k^3 = \left(\frac{n(n+1)}{2}\right)^2$$

例題 2-1

$\sum_{k=1}^5 (2k+3)$ の値を求めよ。

🔍 解答を開く

閉じる

到達度テストの例

問題 1

- $(\sqrt{6} + \sqrt{2})(\sqrt{6} - \sqrt{2}) = \boxed{\text{ア}}$ である。
- $(x^4 - 3)^2 = x^m - 6x^n + 9$ とするとき、 $m = \boxed{\text{イ}}$ 、 $n = \boxed{\text{ウ}}$ である。
- $x^2 - 2x - 35 = (x + \boxed{\text{エ}})(x - \boxed{\text{オ}})$ である。
- 次の問いに答えよ。

(1) $x = 20$ のとき $y = 10$ であり、 x の値が 4 増加するとき

式は $y = -\frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}}x + \boxed{\text{クケ}}$ である。

(2) 2点 $P(10, 81)$ 、 $Q(20, 151)$ を通る直線の方程式は $y =$

問題 1

未解答

最大評点 1.00

🚩 問題にフラグを付ける

🔍 問題を編集する

情報が持つ性質として、当てはまらないものはどれか。

1つ選択してください：

- ☐ 1 みんなが知っている情報は価値が高い
- ☐ 2 情報は複製が可能である
- ☐ 3 情報は伝達できる
- ☐ 4 情報は人により価値が異なる
- ☐ 5 わからない

問題 2

未解答

最大評点 1.00

🚩 問題にフラグを付ける

🔍 問題を編集する

出力装置であるものはどれか。

1つ選択してください：

- ☐ 1 CPU
- ☐ 2 キーボード
- ☐ 3 プリンタ
- ☐ 4 ハードディスク
- ☐ 5 わからない

マークシートは スキャネット SN-0017 を想定

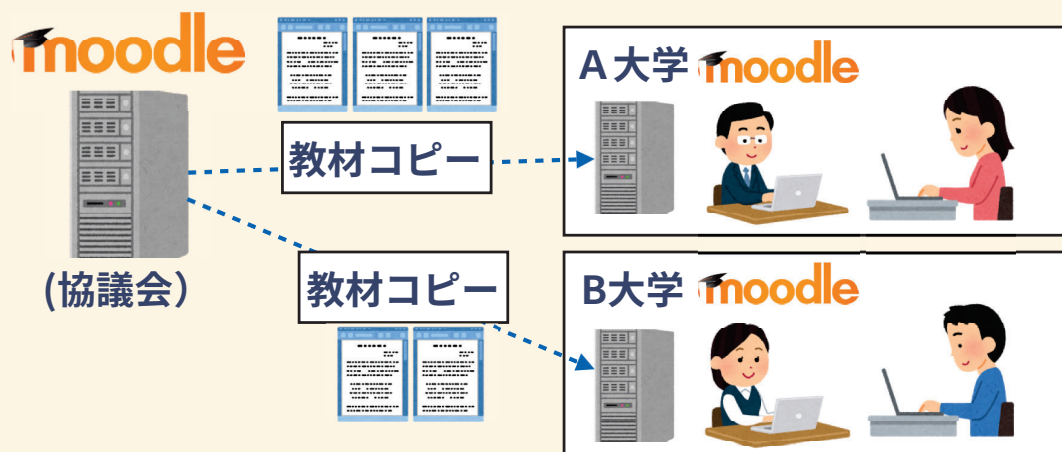
教材の共有・利用 (共通基盤教育システム)

教材の共有・利用方法

- Moodleバックアップでの利用

<https://pubmdl.uela.cloud/moodle25/>

各大学が運用するMoodleに、コースをコピーして利用
(Moodleは ver2.7 以降を想定)



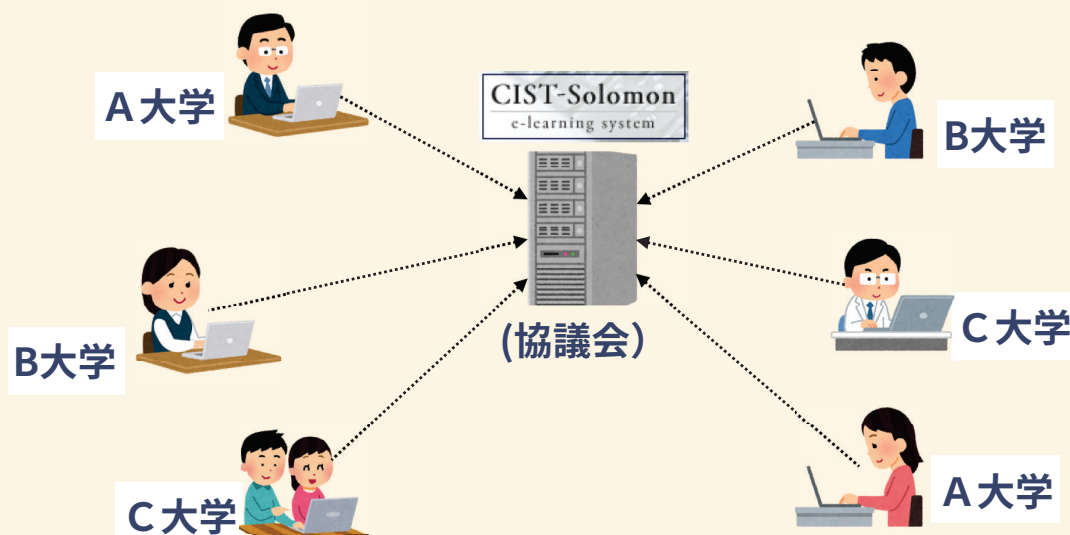
※Moodle, Solomonのいずれかのみ公開を行っている教材があります。
SCORM(v1.2) 形式で配布が可能な教材もあります。

教材の共有・利用方法

- 共通基盤教育システム(Solomon)での利用

<https://solomon.uela.cloud/>

協議会が運営する独自のeラーニングシステムでの利用
大学ごとに学生のユーザや学習管理を行う



※Moodle, Solomonのいずれかのみ公開を行っている教材があります。
SCORM(v1.2) 形式で配布が可能な教材もあります。

共通基盤教育システム (Solomon)

学生が教材を使って学習できるeラーニングシステム

協議会から大学用管理アカウントを配布
各大学は教員・学生ユーザを管理し利用

大学間連携共同教育推進事業
共通基盤教育システム

大学eラーニング協議会 (千歳科学技術大学、山形大学、愛媛大学、佐賀大学、北星学園大学、新潟大学、愛知大学、桜の聖母短期大学)

このシステムについて

利用マニュアル
FAQ

システム利用条件

オペレーティングシステム
OS X Leopard+
Windows 7
Windows Vista SP2

ブラウザ
Google Chrome 18+
Mozilla Firefox 10+
Safari 5+
Internet Explorer 9+

ブラウザプラグイン
Adobe Flash Player 9+
Shockwave Player 10+

ブラウザの設定
javascriptを許可

ログイン

アカウント
Type account name...

パスワード
Type password...

リセット ログイン

開発チーム

千歳科学技術大学
情報・メディア教育センター
小松川研究室

リンク

Get Adobe Flash Player
Get Adobe Shockwave Player

お知らせ

提示日時	更新日時	タイトル
2015.02.06 15時28分	2015.02.13 23時02分	[終了]メンテナンスに際し、システムの停止について (02/13 18:30 ~ 0:00)

Copyright © 2015 Chitase Institute of Science and Technology & University e-Learning Association, Powered by CIST-Solomon

Solomonの主な機能

学生側機能

- ・ コースに取り組む

- ・ 自由に教材に取り組む
- ・ 自らの取組履歴を確認する

教員側機能

- ・ アカウントを管理する

- ・ コースを登録する
- ・ 学生の取組履歴を確認する

※Solomonのコースは、対象学生、期限、教材を選んで学習指示できる機能



演習	進捗率 (%)	正解 (回)	不正解 (回)	ヒント (回)	合計時間 (HH:mm:ss)	評価
総演習数 : 385	平均進捗率 : 0.0	総正解数 : 1	総不正解数 : 3	総ヒント数 : 3	総取得時間 : 00:02:15	
整式とその加減	0	0	0	0	00:00:00	
整式の乗法	0	0	0	0	00:00:00	
因数分解	0	0	0	0	00:00:00	
実数	0	0	0	0	00:00:00	
平方根	0	0	0	0	00:00:00	
方程式と不等式(1次不等式)	0	0	0	0	00:00:00	
方程式と不等式(2次方程式)	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 整式とその加減	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 整式の乗法	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 因数分解	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 実数と絶対値	0	0	0	0	00:00:00	
(応用) 平方根	0	0	0	0	00:00:00	

Solomonの「コース」

- ・ 対象の学生に、期限と教材を選んで学習を指示できる機能（つまり、課題）
- ・ 課題ごとに、学生の取り組みを管理できる
- ・ 課題形式のものならば、様々な取り組みに利用できる（例：授業内外の課題、入学前教育、長期休業期間の宿題…）

コース（授業内外の課題の設定イメージ）

[コース] 数学基礎 (4/1~8/1)	[授業]1 4/1 13:00~15:00 到達度テスト
	[授業]2 4/1~4/8 正の数・負の数
	[授業]3 4/8~4/15 二次関数の最大最小 ・ ・ ・
	[授業]n 7/24~7/31 テスト対策（全範囲）

※教員がコースを設定すると、学生のコース機能に反映される
学生は自らに設定されたコースに取り組める

コースの取り組み管理で みえてくること

- ・ 学習の習慣の有無
- ・ 学習への取り組み方（経過）
- ・ 失速/復調の有無
- ・ etc...

eラーニングシステムを導入することで、
自然と学生の学習が進むわけではない

学生個々の経過を把握しやすくなるツールとして活用
⇒ ツールから得た情報を元に学生にアプローチ

コース利用例：入学前教育

- ・ 推薦入学者などにアカウントを配布し、入学時に向けて学習してもらう
- ・ 学習管理を行い、取り組み状況が悪い入学者にはコンタクトを取る
(例：メール・定期的な登校日)
- ・ 到達度テストなどと組み合わせ、入学者の学力のある程度の把握を狙う例もみられる

**入学前・初年次教育による
代表的な利用形態**

形態A： Moodleのみを利用

入学前教育：各機関既存のMoodleを利用

初年次教育： 同 上

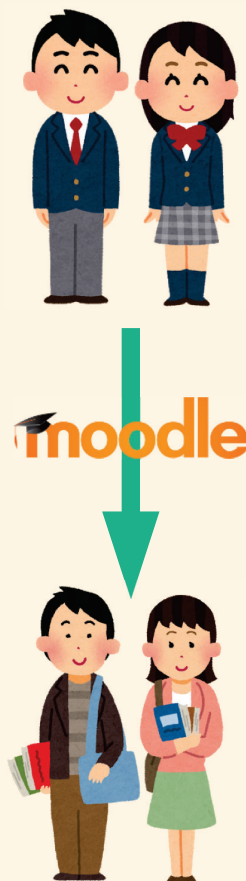
メリット：

入学前と正規のカリキュラムで学習履歴を一元管理でき、学習経過の把握や追跡が容易

デメリット：

入学前の生徒にアカウント発行を要する
⇒ユーザ管理や認証について技術面や運用ポリシーとの整合が必要

全学的なカリキュラムでMoodleを利用する基盤や方針が整っている機関が主に採用



形態B： Solomon, Moodleの分担利用

入学前教育：協議会のSolomon

初年次教育：各大学のMoodle・その他LMS

メリット：

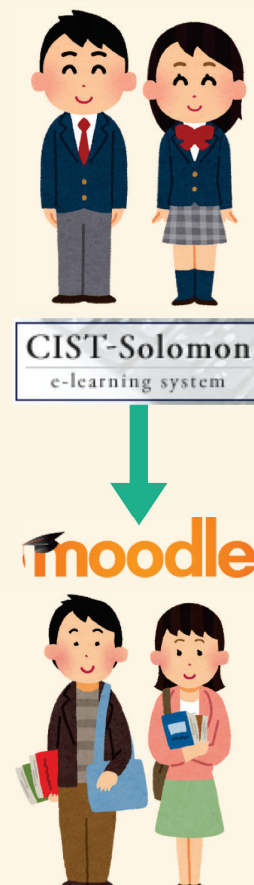
入学予定者はSolomonで独立して学習

各大学の既存のMoodleや認証システムへの影響を抑えて入学前教育を実現可能

デメリット：

入学前後でシステム（学習管理方法）が異なるため、入学前後の学習経過の把握にはデータの突き合わせが必要

入学前教育を一部の学部・担当部局が別に企画・実施する方針の機関が主に採用



形態C：Solomonのみ or 既存システムとの併用

入学前教育：協議会のSolomon

初年次教育：協議会のSolomon（一部他を併用）

メリット：

LMSの導入準備をせずに、共通教材と学習履歴の管理が可能な環境を実現

環境を変えずに入学後のリメディアルも可能

デメリット：

併用の場合は、大学のものとは別に
学生が複数のアカウントを使い分ける必要性

全学的なeラーニングの体制・環境が整備されていない機関、一部科目・授業・資格対策等でのニーズをもつ機関が主に利用



2019年度の主な予定

- ・ 解説の拡充（CHiLO Book）
- ・ 脱Flash化を行った解説（中学・高校数学）の Moodle側への反映
- ・ Moodleのバージョンアップ
（v2.7 ⇒ v3.x, 検討開始、実施）

試用、利用の問い合わせ先

- 大学eラーニング協議会 事務局 (e-mail)
uela_offices@googlegroups.com
- 大学eラーニング協議会
<https://www.uela.cloud/>
- eラーニング共通基盤推進事業
<https://www.uela.cloud/el-kiban/>

CIST-Michael

管理者マニュアル

Chitose Institute of Science and Technology
Information and Multimedia Section

ユーザ管理

アカウントを作る

メニュー

1. アカウント作成

1. フォーム入力

2. アカウント一括作成

1. Excelファイルから一括作成

2. フォームから一括作成

アカウント作成

登録フォームにアカウント情報を入力して個別にアカウントを作成します。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロファイル管理」をクリックします。

画面イメージ 1.1



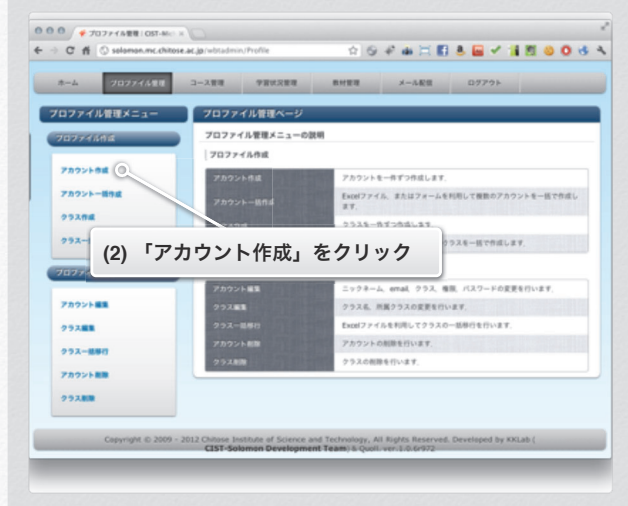
2

セクション 1 アカウントを作る

- (2) 左メニューから「アカウント作成」をクリックします。

- (3) フォームに必須項目を全て入力します。
※【氏名】以外はすべて必須です。
※【Email】がない場合はダミーアドレスを入力します。
- (4) 「次へ」をクリックします。

画面イメージ 1.2



画面イメージ 1.3



3

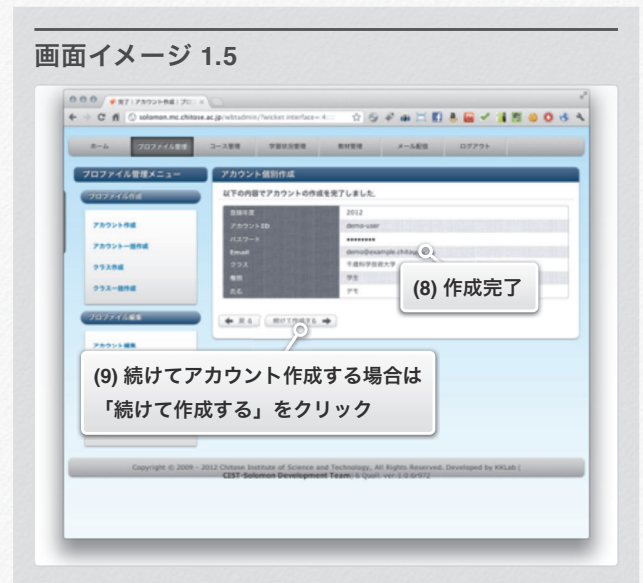
- (5) 入力した情報を確認します。
- (6) 入力した情報でよければ「作成」をクリックします。
- (7) 訂正がある場合は「戻る」をクリックし、手順(3)からやり直します。

画面イメージ 1.4



- (8) 以上でアカウントの登録が完了しました。
- (9) 続けてアカウントの作成を行う場合は「続けて作成する」をクリックします。

画面イメージ 1.5



4

アカウント一括作成

アカウントを複数同時に作成します。

Excelファイルから一括作成

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。

画面イメージ 1.6



- (2) 左メニューから「アカウント一括作成」をクリックします。

画面イメージ 1.7

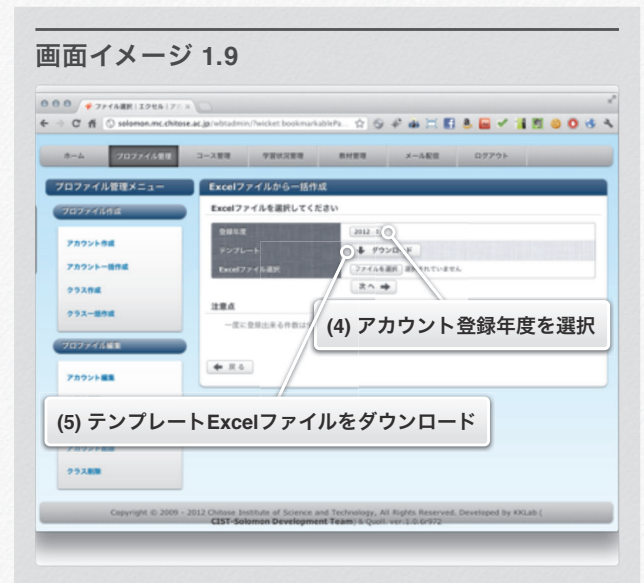


5

(3) 「Excelファイルから一括作成」をクリックします。

(4) アカウント登録年度を選択します。

(5) テンプレートExcelファイルをダウンロードします。



6

(6) ダウンロードしたテンプレートを編集します。

(7) 各列の2行目から各項目を入力します。

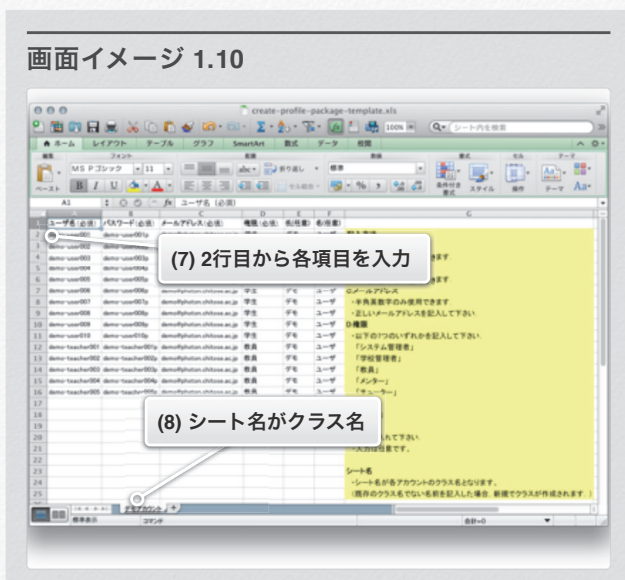
※【氏名】以外は必須項目です

※【Email】がない場合はダミーアドレスを入力します。

(8) 【シート名】がクラス名になります。

(9) 「ファイルを選択」をクリックし
編集したExcelファイルを選択します。

(10) 「次へ」をクリックします。

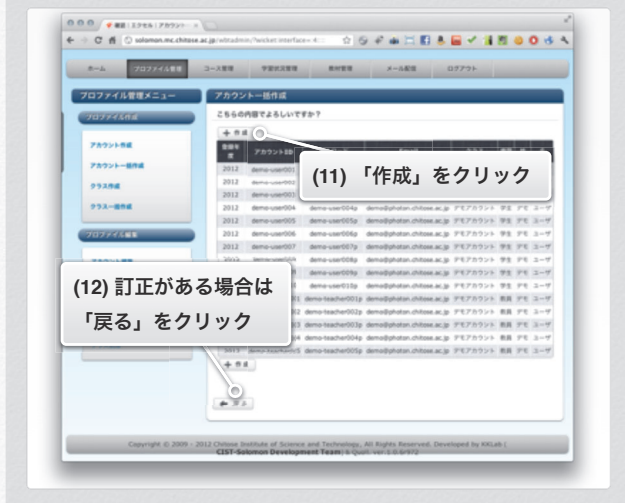


7

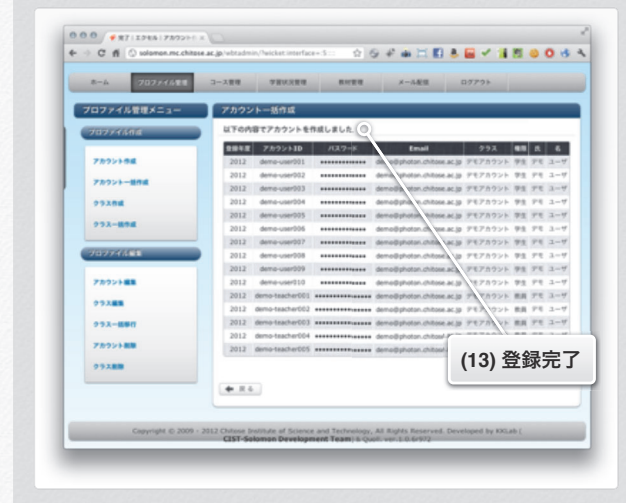
- (11) 登録内容の確認画面が表示されるので、内容が正しければ「作成」をクリックします。
- (12) 訂正がある場合は「戻る」をクリックし、手順(7)からやり直します。

- (13) 以上でExcelファイルを利用したアカウントの一括登録が完了します。

画面イメージ 1.12



画面イメージ 1.13



8

フォームから一括作成

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。

- (2) 左メニューから「アカウント一括作成」をクリックします。

画面イメージ 1.14



画面イメージ 1.15



9

(3) 「フォームから一括作成」をクリックします。

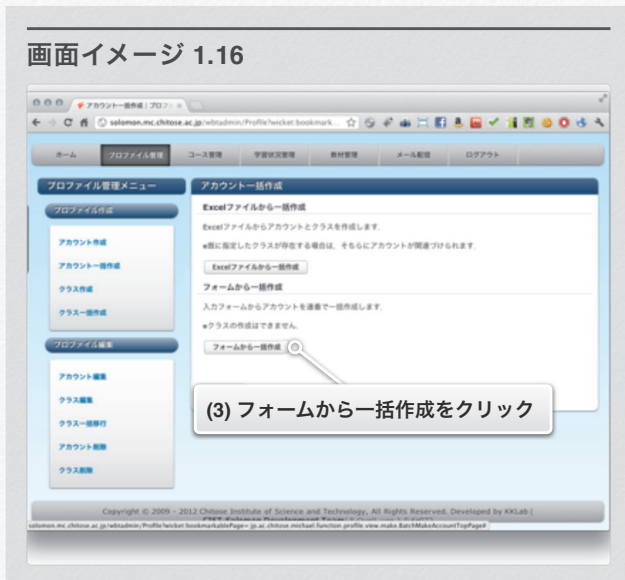
(4) フォームに必須項目を全て入力します。

※すべて必須です。

※【ドメイン名】がない場合はダミーのドメイン名を入力します。

(5) 「次へ」をクリックします。

画面イメージ 1.16



画面イメージ 1.17



10

(6) 入力した情報を確認します。

(7) 入力した情報でよければ「作成」をクリックします。

(8) 訂正がある場合は「戻る」をクリックし、手順(3)からやり直します。

(9) 以上でアカウントの登録が完了しました。

画面イメージ 1.18



画面イメージ 1.19



11

クラスを作る

メニュー

1. クラス作成

1. フォーム入力

2. クラス一括作成

1. Excelファイルから一括作成

クラス作成

登録フォームにクラス情報を入力して個別にクラスを作成します。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。

画面イメージ 1.20



12

セクション 2 クラスを作る

- (2) 左メニューから「クラス作成」をクリックします。

- (3) フォームにクラス名を入力します。

- (4) 「作成」をクリックします。

画面イメージ 1.21



画面イメージ 1.22



13

(5) 以上でクラスの登録が完了しました。

画面イメージ 1.23



14

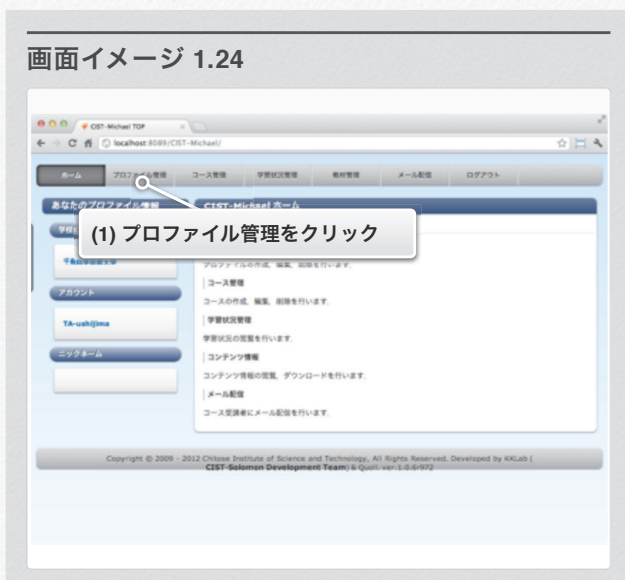
クラス一括作成

クラスを複数同時に作成します。

Excelファイルから一括作成

(1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。

画面イメージ 1.24



(2) 左メニューから「クラス一括作成」をクリックします。

画面イメージ 1.25

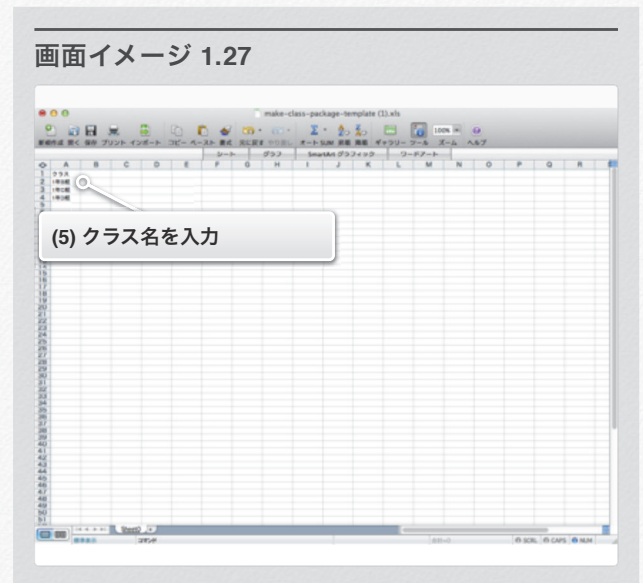
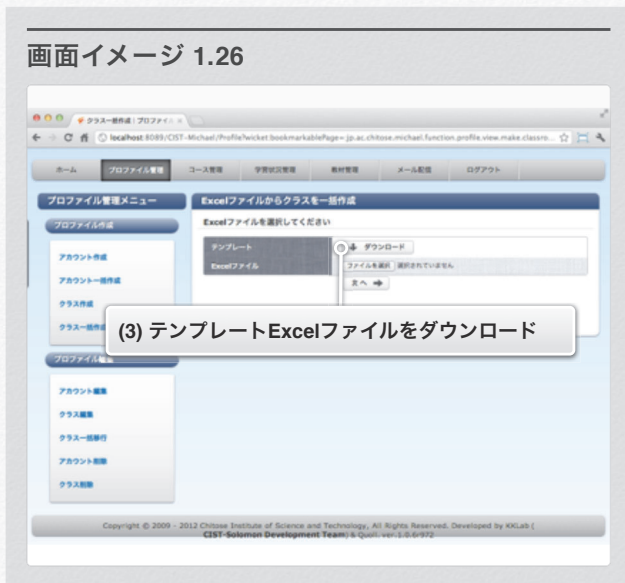


15

(3) テンプレートExcelファイルをダウンロードします。

(4) ダウンロードしたテンプレートを編集します。

(5) A列の2行目からクラス名を入力します。



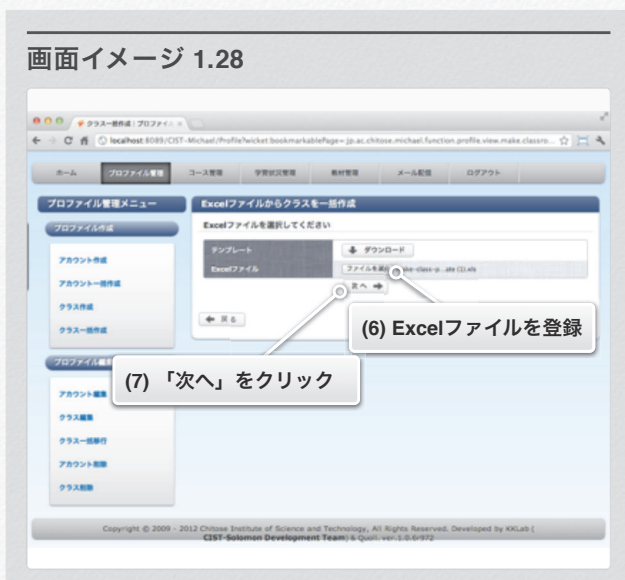
16

(6) 「ファイルを選択」をクリックし
編集したExcelファイルを選択します。

(8) 登録内容の確認画面が表示されるので、内容が正しければ
「作成」をクリックします。

(7) 「次へ」をクリックします。

(9) 訂正がある場合は「戻る」をクリックし、手順(4)からやり直します。



17

- (10) 以上でExcelファイルを利用したアカウントの一括登録が完了します。



セクション 3

アカウントを編集する

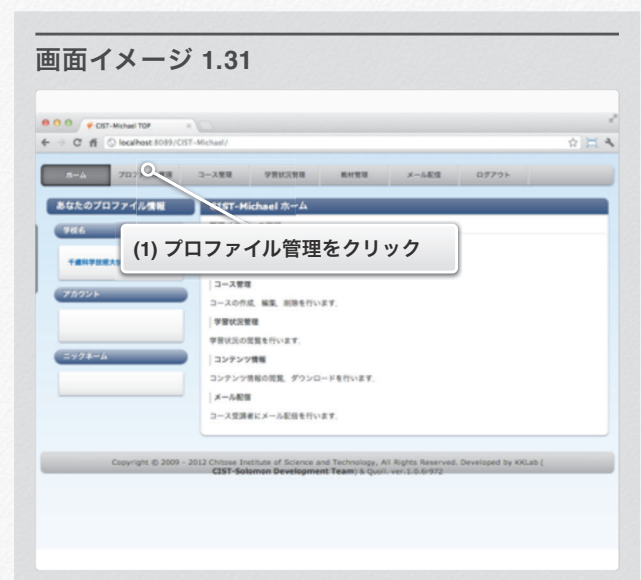
メニュー

1. 自分のアカウント編集
2. 自分のパスワード変更
3. アカウントを選択して編集

自分のアカウント編集

編集フォームにアカウント情報を入力して自身のアカウントを編集します。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。



(2) 左メニューから「アカウント編集」をクリックします。

(3) 「アカウント情報編集」をクリックします。

画面イメージ 1.32



画面イメージ 1.33



20

(4) 変更したい項目をクリックします。
 ※【アカウント】は変更できません。
 ※【ニックネーム】と【e-mail】は
 をクリックすると編集できます。

(5) 入力または選択直後に編集は完了し、
 【更新エラー情報】に編集された項目が表示されます。

画面イメージ 1.34



画面イメージ 1.35



21

自分のパスワード変更

編集フォームに現在のパスワードと新たなパスワードを入力してパスワードを変更します。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。



- (2) 左メニューから「アカウント編集」をクリックします。



22

- (3) 「パスワード変更」をクリックします。



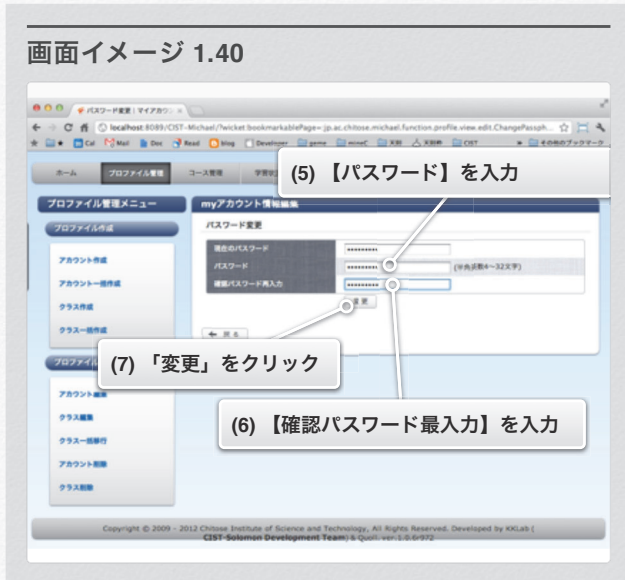
- (4) 【現在のパスワード】に現在利用しているパスワードを入力します。



23

- (5) 【パスワード】に今後利用したいパスワードを入力します。
- (6) 【確認パスワード再入力】に(5)と同じパスワードを入力します。
- (7) 「変更」をクリックします。

- (8) 以上で自分のパスワード変更が完了します。



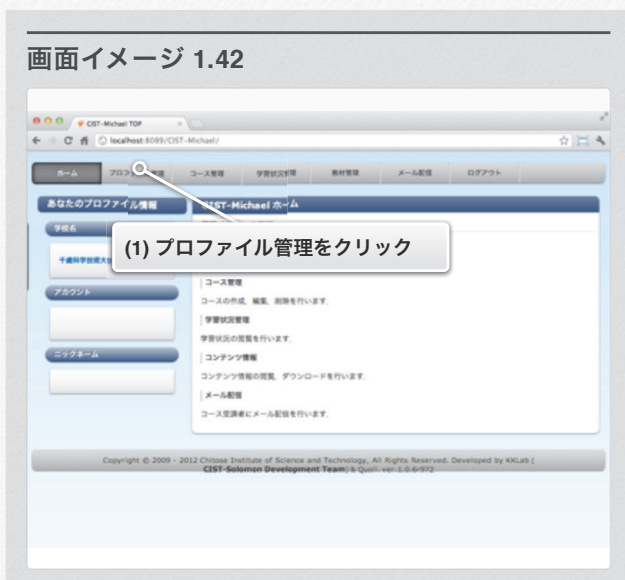
24

アカウントを選択して編集

アカウントを検索フォームを使って選択して、編集をすることが出来ます。

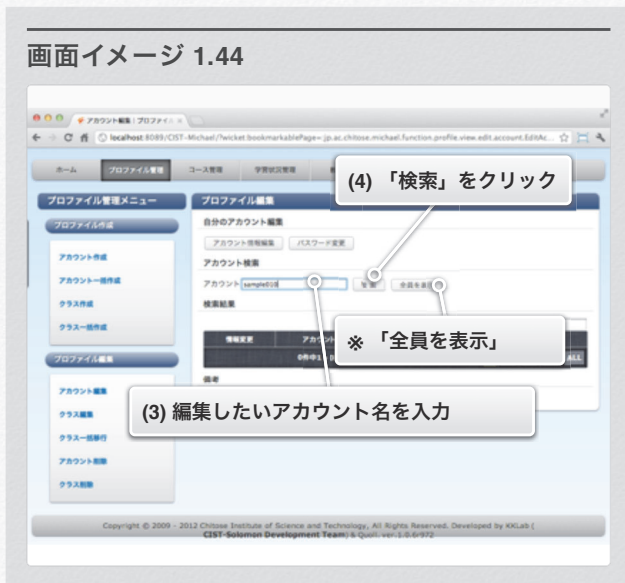
- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。

- (2) 左メニューから「アカウント編集」をクリックします。



25

- (3) 編集したいアカウント名を入力します。
- (4) 「検索」をクリックします。
- ※「全員を表示」をクリックすると全てのアカウントが表示されますが、表示に時間がかかります。



- (5) 変更したい項目をクリックします。
- ※【アカウント】は変更できません。
- ※【ニックネーム】と【e-mail】は  をクリックすると編集できます。



- (6) 入力または選択直後に編集は完了し、
【更新エラー情報】に編集された項目が表示されます。



クラスを編集する

メニュー

1. クラス編集

2. クラス一括移行

1. Excelファイルから一括移行

クラス編集

登録フォームにクラス情報を入力して個別にクラスを作成します。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。

画面イメージ 1.47



28

セクション 4 クラスを編集する

- (2) 左メニューから「クラス編集」をクリックします。

- (3) 編集したいクラスの右にある「クラス移動」をクリックします。

画面イメージ 1.48



画面イメージ 1.49



29

- (4) 各アカウントの移動先のクラスをクリックします。
- (5) 「変更」をクリックします。

- (6) 登録内容の確認画面が表示されるので、内容が正しければ「クラス移動」をクリックします。



30

- (7) 以上でクラスの編集が完了しました。



31

クラス一括移行

クラスを複数同時に移行します。

Excelファイルから一括移行

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。

画面イメージ 1.53



- (2) 左メニューから「クラス一括移行」をクリックします。

画面イメージ 1.54



32

- (3) 移行を行いたいクラスを選ぶ。
- (4) テンプレートExcelファイルをダウンロードします。

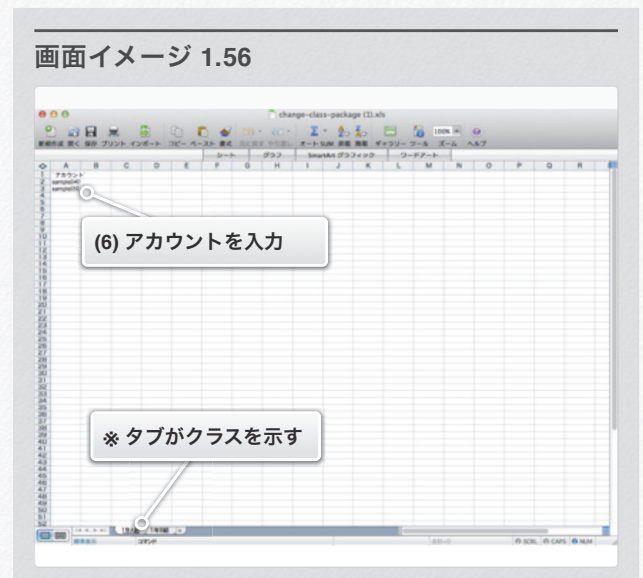
画面イメージ 1.55



- (5) ダウンロードしたテンプレートを編集します。
- (6) 移行したいアカウントを移行先のクラス名のタブのA列の2行目からクラス名を入力します。

※タブでクラスが分かれています

画面イメージ 1.56



95

- (7) 「ファイルを選択」をクリックし
編集したExcelファイルを選択します。
- (8) 「次へ」をクリックします。



- (9) 登録内容の確認画面が表示されるので、内容が正しければ
「登録」をクリックします。
- (10) 訂正がある場合は「戻る」をクリックし、手順(4)からやり直します。



34

- (11) 以上でExcelファイルを利用したクラスの
一括移行が完了します。



35

アカウントを削除する

メニュー

1. アカウント削除

アカウント削除

検索フォームからアカウントを探し選択したアカウントを削除します。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロファイル管理」をクリックします。

画面イメージ 1.60



36

セクション 5 アカウントを削除する

- (2) 左メニューから「アカウント削除」をクリックします。

- (3) 削除したいアカウント名を入力します。
- (4) 「検索」をクリックします。
※「全員を表示」をクリックすると全てのアカウントが表示されますが、表示に時間がかかります。

画面イメージ 1.61



画面イメージ 1.62



37

- (5) 検索結果から削除したいアカウント名をチェックします。
- (6) 「削除」をクリックします。

- (7) 削除内容の確認画面が表示されるので、内容が正しければ「削除」をクリックします。

画面イメージ 1.63



画面イメージ 1.64



38

- (8) 以上でアカウントの削除が完了しました。

画面イメージ 1.65



39

クラスを削除する

メニュー

1. クラス削除

クラス削除

クラスの一覧から選択したクラスを削除します。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「プロフィール管理」をクリックします。

画面イメージ 1.68



40

セクション 6 クラスを削除する

- (2) 左メニューから「クラス削除」をクリックします。

- (3) 削除したいクラスの右の「削除」をクリックします。

画面イメージ 1.69



画面イメージ 1.70



41

- (4) 削除内容の確認画面が表示されるので、内容が正しければ「実行」をクリックします。

※削除するクラスに所属しているメンバー(アカウント)は所属する学校名のクラスに移動します。

- (5) 以上でクラスの削除が完了しました。

画面イメージ 1.71



画面イメージ 1.72



コース管理

2

コースを作る

メニュー

1. コース作成

1. コースを作成
2. Excelからコースを作成

2. コース複製

1. コースを複製

コース作成

コース情報を入力してコースを作成します。

コースを作成

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「コース管理」をクリックします。

画面イメージ 2.1



44

セクション 1 コースを作る

- (2) 左メニューから「コースを作成」をクリックします。

- (3) フォームに必須項目を全て入力します。
※作成するコースをテンプレート化したい場合は、
【テンプレートとして公開】にチェックを入れます。
- (4) コース内で質問機能を利用する場合は、【質問機能の利用】にチェックを入れます。

画面イメージ 2.2



画面イメージ 2.3

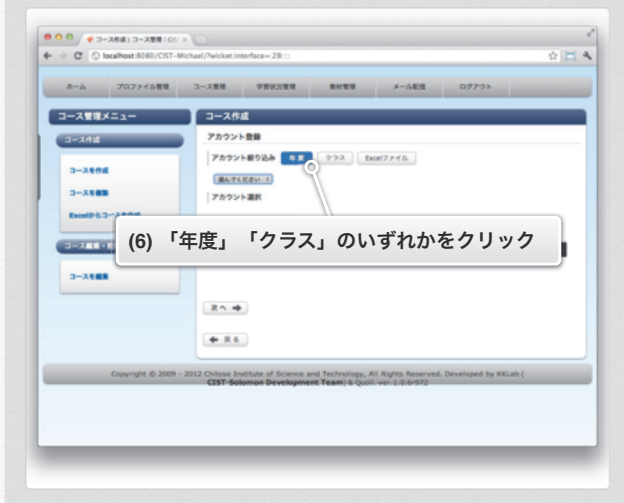


45

※【質問機能の利用】をチェック後、質問機能のメール送信先を一覧から選択します。

- (5) アカウント選択をクリックします。
- (6) 「年度」「クラス」のいずれかをクリックすると、リストが出現します。

画面イメージ 2.4



- (7) リストを選択すると、そのグループのアカウント一覧が表示されます。
- (8) 「アカウント名」をクリックすると、そのアカウントが登録済みアカウントリストに移動します。

画面イメージ 2.5



46

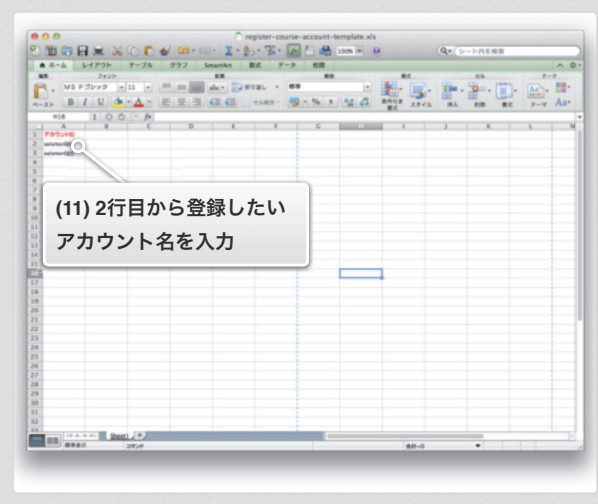
- (9) Excelを利用してアカウントを登録する場合には、「Excelファイル」をクリックします。
- (10) 登録用テンプレートをダウンロードします。

画面イメージ 2.6



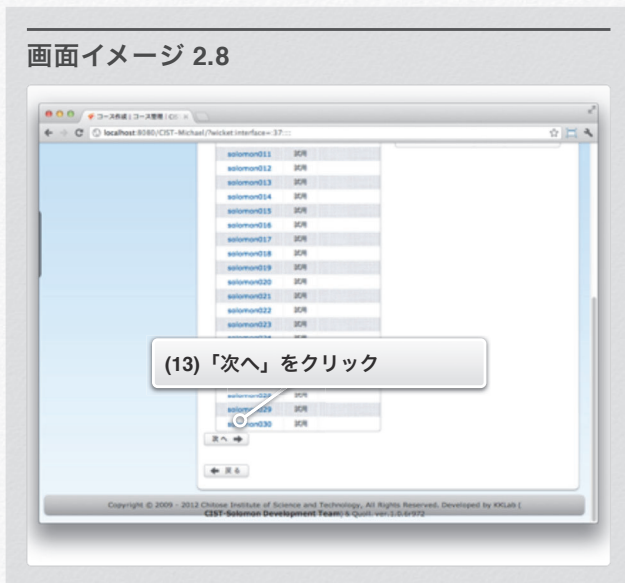
- (11) 2行目から登録したいアカウント名を入力します。
- (12) 作成したExcelファイルを「ファイル選択」ボタンから登録し、「Excelファイルからユーザー登録」をクリックすると、Excelに記入したアカウントが登録済みアカウントリストに移動します。

画面イメージ 2.7



47

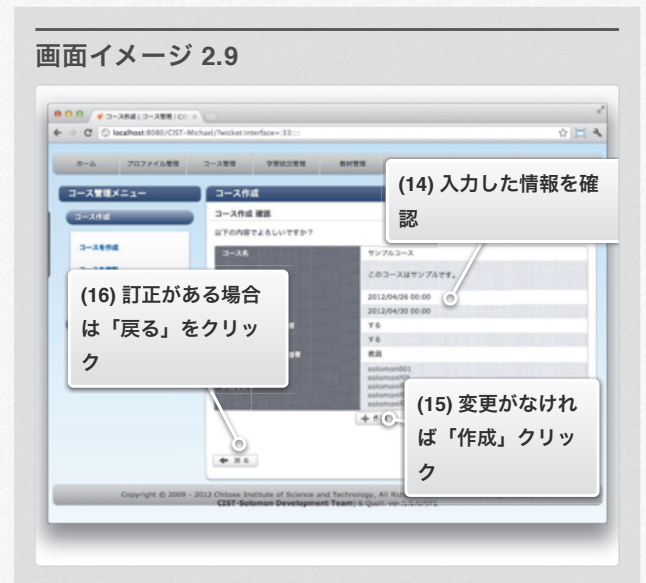
(13) 「次へ」をクリックします。



(14) 入力した情報を確認します。

(15) 入力した情報でよければ「作成」をクリックします。

(16) 訂正がある場合は「戻る」をクリックし、手順(3)からやり直します。



48

(17) 以上でアカウントの登録が完了しました。



Excelからコースを作成

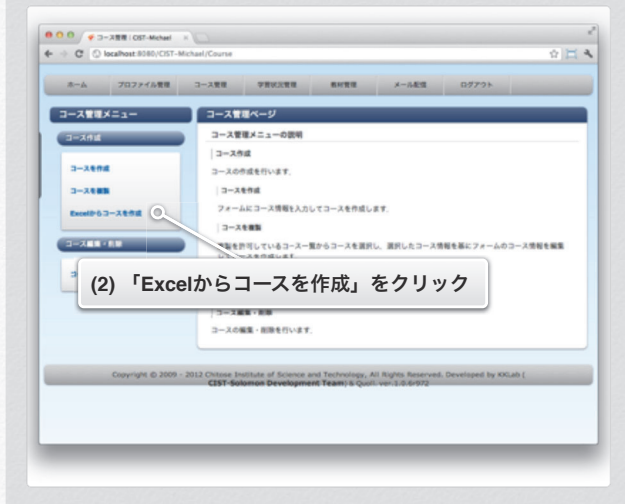
(1) ログイン後、画面上部のメニューから「コース管理」をクリックします。



49

- (2) 左メニューから「Excelからコースを作成」をクリックします。

画面イメージ 2.12



- (3) テンプレートExcelファイルをダウンロードします。

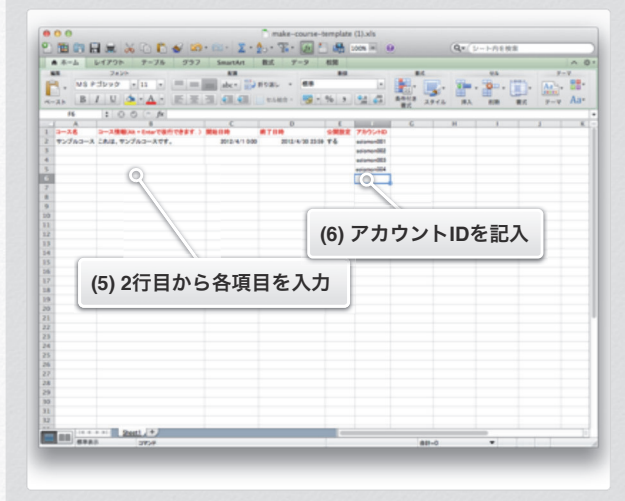
画面イメージ 2.13



50

- (4) ダウンロードしたテンプレートを編集します。
- (5) 各列の2行目から各項目を入力します。
※すべて必須項目です。
- (6) 【アカウントID】を図のように記入することで、複数のアカウントをコースに登録できます。

画面イメージ 2.14



- (7) 「ファイルを選択」をクリックし編集したExcelファイルを選択します。
- (8) 「次へ」をクリックします。

画面イメージ 2.15

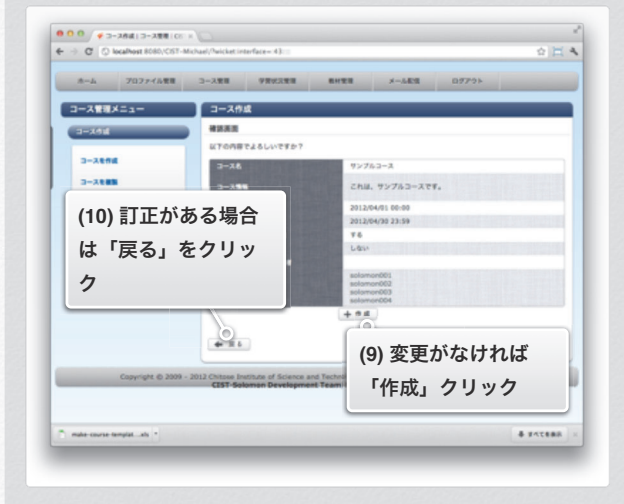


51

- (9) 登録内容の確認画面が表示されるので、内容が正しければ「作成」をクリックします。
- (10) 訂正がある場合は「戻る」をクリックし、手順(4)からやり直します。

- (11) 以上でExcelファイルを利用したアカウントの一括登録が完了します。

画面イメージ 2.16



画面イメージ 2.17



52

コース複製

既存のコースを複製します。

コースを複製

- (1) コース管理をクリック。

- (2) 左メニューから「コースを複製」をクリックします。

画面イメージ 2.18



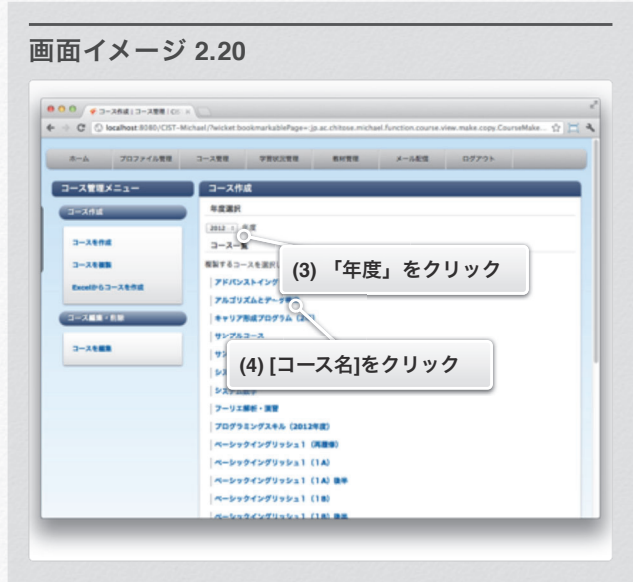
画面イメージ 2.19



53

- (3) 複製したいコースが存在する年度を選択します。
- (4) 複製したいコース名をクリックします。

- (5) 複製内容の確認画面が表示されるので、内容が正しければ「複製」をクリックします。



- (6) 以上でコースの複製が完了します。



コースを編集する

メニュー

1. コース編集

1. コースを編集する
2. 学習評価基準を設定する
3. コースを削除する

2. 授業作成・編集

1. 授業を作成する
2. 授業を編集する
3. 授業を削除する

コース編集

コース情報を入力してコースを作成します。

コースを編集

画面イメージ 2.23



56

セクション 2 コースを編集する

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「コース管理」をクリックします。
- (2) 左メニューから「コースを編集」をクリックします。

- (3) 編集したいコースが存在する年度を選択します。
- (4) 編集したいコース名をクリックします。

画面イメージ 2.24



画面イメージ 2.25



57

- (5) 自分が担当していないコースの場合は、「担当する」ボタンをクリックします。

- (6) コースの担当になると、各種項目が編集可能になります。

画面イメージ 2.26



画面イメージ 2.27



58

- (7) アイコンもしくは、コース情報の文章をクリックすると、選択した文章が編集できます。
- (8) 担当教員を追加や削除するには、「担当教員の追加・削除」をクリックします。

- (9) リストから、担当する教員はチェックを、担当しない教員はチェックをはずします。

画面イメージ 2.28



画面イメージ 2.29



59

(10) 担当教員が正しければ、「決定」をクリックします。

(11) 以上で 担当教員の追加・削除が完了しました。

画面イメージ 2.30



画面イメージ 2.31



60

学習評価基準を設定する

学習評価基準を設定することにより、学生の学習状況をポイントとしてまとめ、ランキングとして学生に掲示します。

(1) 「学習評価基準の一括設定」をクリックします。

※授業ごとに設定することも可能です。

(2) 「学習評価基準」の設定

コース内の授業で、既に学習評価基準を設定しているのであれば「初期値」以外を選択できるようになり、その設定を引用できます。

画面イメージ 2.32



画面イメージ 2.33



61

(3) 「継続ポイント」の設定

コース内で演習や教科書に取り組んだ時間からポイントを算出します。

(4) 必須項目を入力します。

条件を増やす場合は「更に条件を増やす」をクリックします。

画面イメージ 2.34

学習評価基準の設定

初期値 1 の条件を使用する。 [変更]

(3) 継続ポイントの設定

説明
コース内で演習や教科書に取り組んだ時間からポイントを算出します。このポイントからは、テスト数日前に一度に多くの学習を行うよりも、テスト数週間前から継続的に少しずつ学習していたことが分かります。そのため、一日で得られるポイントには必ず上乗換が付き、継続的な学習を促す仕組みになっています。

条件
1日に30分以上の学習で1ポイントを付与する。
●更に条件を増やす
この場合、一日で得られる継続ポイントは1ポイントが最大値となります。

(4) 条件を増やす場合は「更に条件を増やす」をクリック

※条件を増やすと入力するといったため、ヒントの関連

進捗率が初めて50%を超えたときに以下の条件でポイントで与えます。
1. 授業に登録された問題数×0.5 (進捗率)×(1/10)がポイントとして与えられる
2. また、1問あたりヒントの閲覧回数が1回以下かつ、誤答回数が1回以下の場合は、2倍のポイントを与えます
*更に条件を増やす
*ヒント閲覧回数の数え方は、一度の取り組みの中でヒントを一度でも閲覧すると1回としています。誤答回数の数え方は1度の誤答で1回としています。

決定 ➡

(5) 「理解ポイント」の設定

コース内での進捗率と、ヒントの閲覧回数・誤答回数からポイントを算出します。

(6) 必須項目を入力します

条件を増やす場合は「更に条件を増やす」をクリックします。

画面イメージ 2.35

学習評価基準の設定

初期値 2 の条件を使用する。 [変更]

(5) 理解ポイントの設定

説明
このポイントからは、テスト数日前に一度に多くの学習を行うよりも、テスト数週間前から継続的に少しずつ学習していたことが分かります。そのため、一日で得られるポイントには必ず上乗換が付き、継続的な学習を促す仕組みになっています。

条件
進捗率と、ヒントの閲覧回数・誤答回数からポイントで与えます。このポイントからは、ヒントを閲覧する学習や、手当たり次第に答えを入力するといった学習を行わずに学習者自身の力で問題を解いていたことが分かります。そのため、ヒントの閲覧回数や誤答回数も考慮に入っています。
進捗率が初めて50%を超えたときに以下の条件でポイントで与えます。
1. 授業に登録された問題数×0.5 (進捗率)×(1/10)がポイントとして与えられる
2. また、1問あたりヒントの閲覧回数が1回以下かつ、誤答回数が1回以下の場合は、2倍のポイントを与えます
*更に条件を増やす
*ヒント閲覧回数の数え方は、一度の取り組みの中でヒントを一度でも閲覧すると1回としています。誤答回数の数え方は1度の誤答で1回としています。

条件を増やす場合は「更に条件を増やす」をクリック

決定 ➡

62

(7) 入力した内容が正しければ「決定」をクリックします。

画面イメージ 2.36

ホーム | プロファイル管理 | **コース編集** | 学習評価基準 | 教科書管理 | 学習設定 | 進捗状況 | テキスト管理

コース編集

コース情報

項目	値
コース名	Test
コース番号	1000
開始日時	2013/05/10 00:00
終了日時	2013/05/11 00:00
オプションとして公開	なし
他の教科書との関係	なし
他の教科書のコース管理	なし
他の教科書の教科書管理	なし

学習評価基準

このページでは、学習評価基準をポイントとして設定し、ランディング上で学習者に提示する機能に関する設定を行います。これまで、学生は学習状況を確認するときは、学習履歴や問題集の履歴、ヒントを過去履歴、誤答を過去履歴を用いていました。この機能ではそれらの履歴を基に、条件でポイントとして与えられることで、自分の学習状況を分かりやすくします。また、ポイントとランディング上で表示する学習評価基準を関連させ、自分の学習状況を確認する場合があります。以下にランディングで使用するポイントの設定と設定例を示します。

学習評価基準の設定

初期値 1 の条件を使用する。 [変更]

(7) 「決定」をクリック

決定 ➡

(8) 確認画面が表示されるので、問題がなければ「作成」をクリックします。

画面イメージ 2.37

ホーム | プロファイル管理 | **コース編集** | 学習評価基準 | 教科書管理 | 学習設定 | 進捗状況 | テキスト管理

コース編集

以下の内容でよろしいですか？

項目	値
コース名	サンプルコース
コース番号	これは、サンプルコースです。
開始日時	2013/05/24 00:00
終了日時	2013/05/24 00:00
オプションとして公開	なし

(8) 「作成」をクリック

決定 ➡

63

授業作成・編集

授業を作成

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「コース管理」をクリックします。

画面イメージ 2.42



- (2) 左メニューから「コースを編集」をクリックします。

画面イメージ 2.43



66

- (3) 編集したい授業が存在する年度を選択します。

- (4) 編集したいコース名をクリックします。

- (5) 「ここに新しい授業を作成」をクリックします。

画面イメージ 2.44

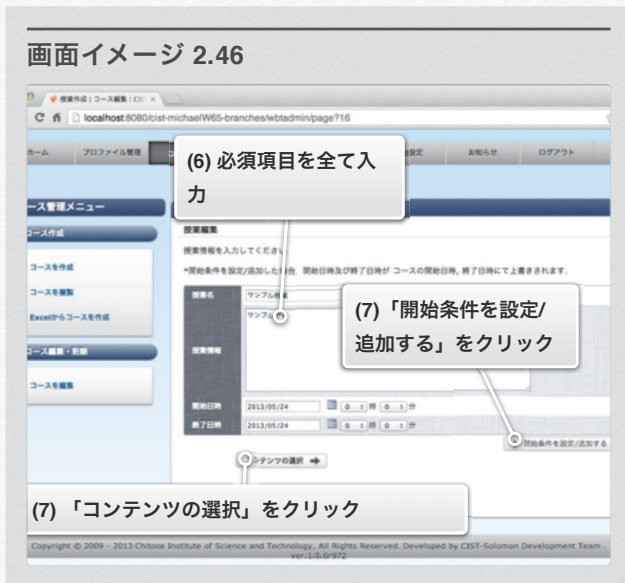


画面イメージ 2.45



67

- (6) フォームに必須項目を全て入力します。
- (7) 授業の開始条件を設定または追加する場合、「開始条件を設定/追加する」をクリック。(8)へ
 ※第2回目以降の授業のみ設定可能
 設定しない場合は、「コンテンツの選択」をクリックします。(10)へ。



- (8) 開始条件の設定を行います。
 条件に使用する授業を選択し、その授業の進捗率や取り組み時間を設定します。AND・ORで進捗率の条件と取り組み時間の条件をANDかORで判断します。
- (9) 「コンテンツの選択」をクリックします。



68

- (10) 授業に登録したい教科書・演習・テストを選択します。



- (11) 登録したい教材の内容が正しければ、「次へ」をクリックします。



69

(12) 授業の内容が正しければ、「確定」をクリックします。

(13) 以上で授業の登録が完了しました。

画面イメージ 2.50



(12) 「確定」をクリック

画面イメージ 2.51



70

授業を編集する

(14) (4)の操作の後のコース編集画面をスクロールすると、授業の詳細が確認できます。

(15) アイコンもしくは、授業情報の文章をクリックすると、選択した文章が編集できます。

画面イメージ 2.52



(14) 「コンテンツを編集」をクリック

(15) アイコンもしくは、授業情報の文章をクリック

※授業の編集方法は、コースの編集方法と同じです。

(16) 授業の収録コンテンツを変更したい場合は、「コンテンツを編集」をクリックします。

※コンテンツの編集は、(8)～(11)の操作と同じです。

(17) 授業の開始条件を設定する場合は、「授業の開始条件を設定/追加する」をクリックします。

※設定方法は(9), (10)の操作と同じです。

71

授業を削除する

- (18) (4)の操作の後のコース編集画面をスクロールすると、授業の詳細が確認できます。
- (19) 授業を削除したい場合は、「この授業を削除」をクリックします。

画面イメージ 2.53



- (20) 削除する授業の内容が正しければ、「削除」をクリックします。

画面イメージ 2.54



72

- (21) 以上で授業の削除が完了しました。

画面イメージ 2.55



73

学習状況管理

3

セクション 1

コース学習状況

メニュー

1. コース学習状況
 1. 進捗率を確認する
 2. 取り組み時間を確認する
 3. テスト結果を確認する
 4. 授業ごと取り組み状況を確認する
 5. 節毎取り組み状況を確認する
 6. 個人コース取り組み状況を確認する

コース学習状況

コースの学習状況を確認することができます。

実名表示をONにすることで、実名と合わせて確認出来ます。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「学習状況管理」をクリックします。
- (2) 左メニューから「コース一覧」をクリックします。

画面イメージ 3.1



- (3) 成績閲覧したいコースが存在する年度を選択します。
- (4) 成績閲覧したいコース名をクリックします。

画面イメージ 3.2



76

- (5) コースの情報を確認できます。

進捗率を確認する

- (6) 「進捗率」をクリックします。
- (7) 進捗率を確認することができます。

画面イメージ 3.3



- (8) 「CSVをダウンロード」をクリックすると、進捗率のCSVファイルをダウンロードすることができます。
※進捗率とは、旧来の達成度のことです。学生が演習の節（コンテンツの最小くくり）ごとに全ての問題を○にしていれば、100となります。

画面イメージ 3.4



77

取り組み時間を確認する

- (9) 「取り組み時間」をクリックします。
- (10) 取り組み状況を確認する事ができます。

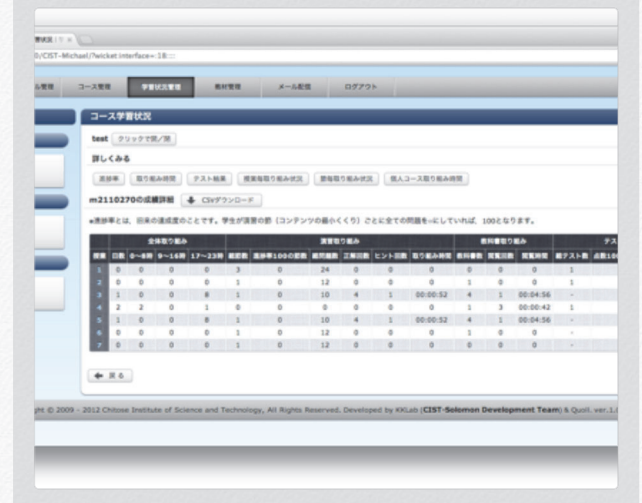
画面イメージ 3.5



指定アカウントの学習状況を確認する

- (12) 【アカウント名】をクリックします。
- (13) 指定したアカウントの学習状況を確認する事ができます。

画面イメージ 3.6



78

テスト結果を確認する

- (14) 「テスト結果」をクリックします。
- (15) テスト結果を確認する事ができます。

画面イメージ 3.7



授業ごと取り組み状況を確認する

- (16) 「授業毎取り組み状況」をクリックします。
- (17) 授業毎の取り組み状況を確認する事ができます。

画面イメージ 3.8



79

節毎取り組み状況を確認する

(18) 「節毎取り組み状況」をクリックします。

(19) 節毎の取り組み状況を確認することができます。

画面イメージ 3.9

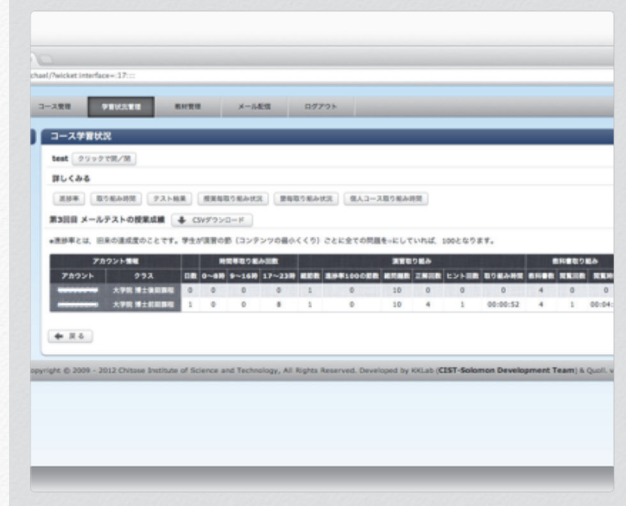


指定した授業の取り組み状況を確認する

(20) 【授業】の授業番号をクリックします。

(21) 指定した授業の取り組み状況を確認することができます。

画面イメージ 3.10



80

セクション 2

通常学習状況

メニュー

1. 通常学習状況

1. 通常学習状況を確認する

通常学習状況

通常の学習状況を確認することができます。

(1) ログイン後、画面上部のメニューから「学習状況管理」をクリックします。

画面イメージ 3.11



81

- (2) 左メニューから「カテゴリー一覧」をクリックします。



通常学習状況を確認する

- (3) 【クラス】を選択します。
(4) 【カテゴリ】を選択します。



82

- (5) 【カテゴリ】を選択すると表示される下位カテゴリをさらに選択する事によって、さらに細かいカテゴリを指定することができます。
(6) 【開始時刻】を選択します。
(7) 【終了時刻】を選択します。



- (8) 学習状況を確認する事ができます。



83

テスト学習状況

メニュー

1. テスト学習状況

1. テスト学習状況を確認する

テスト学習状況

通常の学習状況を確認することができます。

- (1) ログイン後、画面上部のメニューから「学習状況管理」をクリックします。

画面イメージ 3.16



84

セクション 3 テスト学習状況

- (2) 左メニューから「テスト一覧」をクリックします。

テスト学習状況を確認する

- (3) 確認したいテスト名をクリックします。

画面イメージ 3.17



画面イメージ 3.18



85

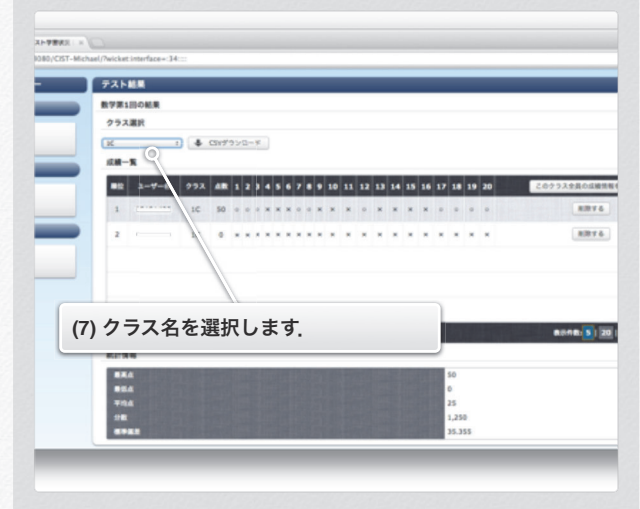
- (4) テスト学習状況を確認することができます。
- (5) 「CSVをダウンロード」をクリックすると、成績一覧のCSVファイルをダウンロードすることができます。
- (6) 「削除する」をクリックすると、そのユーザーの成績状況を削除することができます。

- (7) クラス名を選択すると、選択したクラスの成績一覧を閲覧する事ができます。

画面イメージ 3.19



画面イメージ 3.20



CIST-Solomon

平成11年度から本学で開発を行っている、自学自習型のeラーニングシステムである。CIST-Solomonの利用者は、本学の学生のみならず、全国の高校や大学で利用され利用者は延べ2万人を超えている。CIST-Solomonが保有する学習コンテンツは、高校初級から大学学部専門基礎までの数学・物理・化学・生物・英語・情報・電子・光等の様々な分野の教材群を整備し、総数は1万7千を超えている。また、2007年度の文部科学省先導的情報化推進プログラムを通じて、小中学生向けの理数系eラーニングの開発も着手している。この結果、理数系科目については、小学校から大学初級までを体系的に整備している。

関連用語

ここに関連用語をドラッグ

索引

用語を検索

CSV

データベースや表計算ソフトにおいて、データをテキストファイルとして保存する場合の一形式。項目やセルをカンマで区切っている。

関連用語

ここに関連用語をドラッグ

索引

用語を検索

Eラーニングシステム

eラーニングシステムとは、コンピュータネットワーク等の遠隔型情報技術を利用した教育システムである。特に近年ではWeb型学習支援システム(WBT:Web-based Training)が主流となっており、以下のような利点を持つ。

- 学習者が時間と空間の制約を受けずに自由に学習を行うことが可能
- Web技術を用いている為に双方向性のあるコミュニケーションが可能

関連用語

CIST-Solomon

索引

用語を検索

アカウント

ユーザに割り当てられたログインするための権利（ID、パスワード）。

関連用語

ここに関連用語をドラッグ

索引

用語を検索

クラス

学習者を一つの集合として扱うことが出来る機能です。学習者のプロフィールが作成されると、デフォルトで「学校」という集合の中に属されます。クラスは「学校」という集合の中から、さらに個々の学習者をグループ分けすることができます。「クラスごとに学習者の成績を参照する」といった使い方ができます。

関連用語

ここに関連用語をドラッグ

索引

用語を検索

コース

一般的にはカリキュラムとも呼ばれるもので、授業という学習計画の集まりの総称です。

関連用語

授業

索引

用語を検索

プロフィール

電子学習システム(以後 e-learning と呼ぶ)を利用する学習者が持つ、「アカウント」「クラス」「受講科目」情報の総称です。学習者のパスワードやメールアドレスもここに含まれます。

関連用語

アカウント、クラス

索引

用語を検索

授業

学習者に学んでほしい範囲の教科書、演習を期限付きで課することができる機能です。

関連用語

コース

索引

用語を検索